TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

26C3500／32C3500
37C3500／42C3500

準備編

：：必ず最初にこの「準備編」をお読みください。
：：本書では安全上のご注意、設置、接続、設定などについて説明しています。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「準備編」と別冊の「操作編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

準備（接続・設定）早わかり

● 以下は、テレビを視聴できるようになるまでの基本的な準備の流れです。
外部機器を接続して楽しむ場合の準備については、38ページの「本機に接続できる外部機器一覧」をご覧ください。

1 付属品を確認する　5ページ

2 「安全上のご注意」～「たいせつなお知らせ」を読む　6～15ページ

3 リモコンの準備をする　20ページ

4 テレビの設置、接続、設定をする　21～37ページ

※印の番号の説明は、下の「お知らせ」をご覧ください。

5 お客様登録をする

● 付属の「お客様登録のお願い」のハガキをご覧ください。

6 B-CAS（ビーキャス）カードの登録をする

● B-CASカードが貼ってある説明書をご覧ください。

7 受信契約をする

● 付属のBS・110度CSデジタル放送受信契約申込書をご覧ください。
※ B-CASカードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」を受信契約申込書に必ず貼ってください。

※1… B-CASカードは、地上アナログ放送だけを視聴する場合は不要ですが、デジタル放送を視聴する場合にそなえて本機に入れておくことをお勧めします。

※2… 「電話回線の接続」は、
- デジタル放送で、電話回線を使用した双方向サービスを利用する場合に必要です。（地上デジタル放送では、番組によってはダイヤルアップ通信が使われることがあります）
- ペイ・パー・ビュー番組（有料番組）を視聴する場合に必要です。（2007年8月現在、本機が対応している放送でペイ・パー・ビュー番組は放送されていません）

※3… 「LAN端子の接続」は、
- 地上アナログ放送の番組表を使う場合に必要です。
- デジタル放送で、イーサネット通信を使用した双方向サービスを利用する場合に必要です。

準備編もくじ

ご使用の前に

設置と基本の接続・設定

外部機器の接続と設定

個別に設定をするとき

その他

資料

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

お願い　取扱上のお願いを記載しています。

ご注意　取扱上のご注意を記載しています。

お知らせ　機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

● この取扱説明書は、26C3500、32C3500、37C3500、42C3500で共用です。記載しているイラストは32C3500のものです。他の機種はイメージが多少異なります。また、26C3500は一部の仕様が異なります。

別冊(操作編)もくじ

※ 以下は別冊の内容です。(一部省略しています。操作編もよくお読みください)

操作編(別冊)

付属品

● 本機には以下の付属品があります。お確かめください。

付属品/名称	付属数
リモコン(CT-90293)	1個
単四形乾電池(R-03)	2個
F型コネクター 緑色ラベル：5C用 青色ラベル：4C用 ● アンテナ線の端子が本機のアンテナ入力端子に合わない場合に使います。23	2組
クリップ ● 柱や丈夫な壁などに転倒防止の処置をする場合に使います。21	1個
BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書(ファーストステップガイド) ● 冊子名「ファーストステップガイド」は2007年8月現在のものです。将来は変更される可能性があります。	1式

付属品/名称	付属数
「お客様登録のお願い」のハガキ	1枚
取扱説明書 準備編(本書) 操作編	各1部
簡単接続・設定ガイド	1部
チャンネル設定ガイド	1部
B-CAS(ビーキャス)カード ● B-CASカードはカードの説明書に付いています。 ※ B-CASカードは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。(テレビ本体の背面に貼付された袋の中にあります)	1枚

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷*1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど・感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

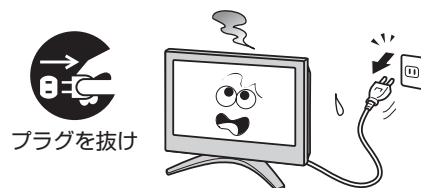
図記号	図記号の意味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

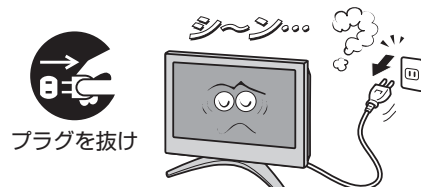
異常や故障のとき

■ **煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け

■ **画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

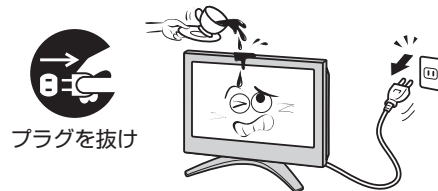
そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

プラグを抜け

⚠ 警告

異常や故障のとき　つづき

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

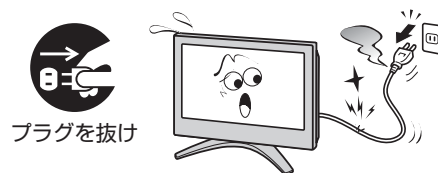
プラグを抜け

■ **落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

プラグを抜け

■ **電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜け

設置するとき

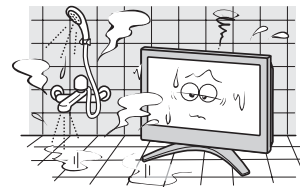
■ **本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する**

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

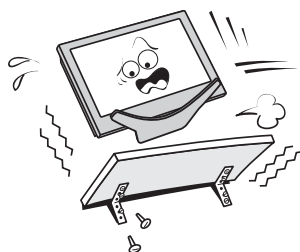
指　示

■ **屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない**

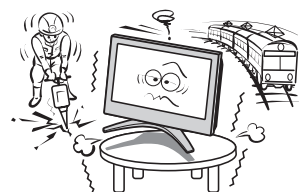
火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

■ **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない**

テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

禁　止

■ **振動のある場所に置かない**

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

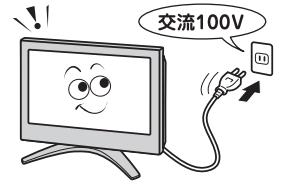
振動禁止

安全上のご注意 つづき

⚠警告

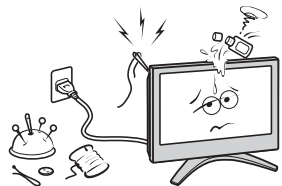
設置するとき つづき

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

● 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
● 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
● 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指　示

■ 上にものを置かない

● 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
● 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛け工事は、お買い上げの販売店に依頼する

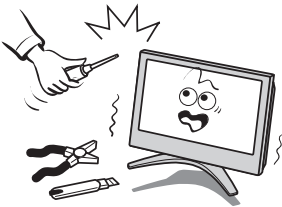
工事が不完全だと、けがの原因となります。

指　示

使用するとき

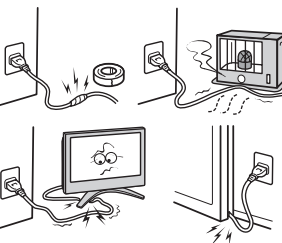
■ 修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

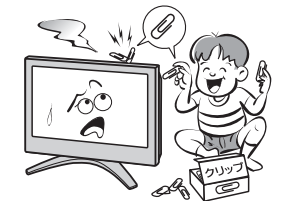
分解禁止

■ 電源コード・電源プラグは、

● **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない**
● **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
● **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

禁　止

■ 異物を入れない

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

異物挿入禁止

■ 雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線・電話機コード・LANケーブルに触れない

感電の原因となります。

禁　止

⚠警告

使用するとき つづき

■ **包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する**

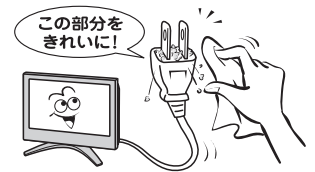
かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指 示

お手入れについて

■ **ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する**

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指 示

⚠注意

設置するとき

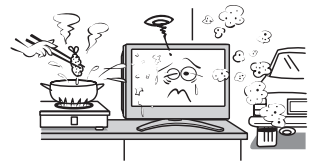
■ **温度の高い場所に置かない**

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

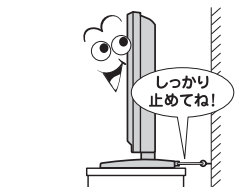
禁 止

■ **湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない**

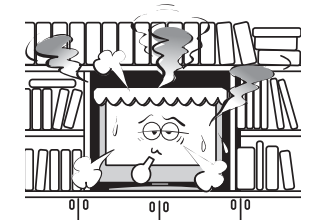
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

■ **転倒・落下防止の処置をする**

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなることがあります。
転倒防止のしかたは 21 ～ 22 をご覧ください。

指 示

■ **通風孔をふさがない**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。（10cm以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁 止

安全上のご注意 つづき

⚠注意

設置するとき つづき

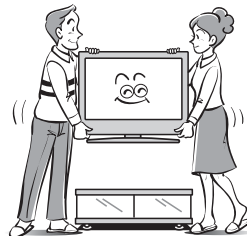
■ 移動したり持ち運んだりする場合は、

指　示

● **離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および電話機コードや転倒防止をはずす**
はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

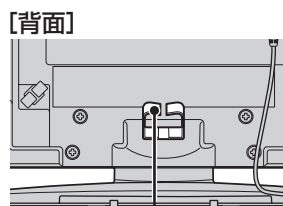
● **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う**
ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。

● **車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、テレビ台の受け皿を取り除いて、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。

● **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ **テレビを持つときは、コードクランパーを手かけとして使用しない**

コードクランパーを持つと、テレビが落下してけがの原因となることがあります。上のイラストを参考にして、本体部分を持ってください。
コードクランパーは配線の整理に使います。16をご覧ください。

禁　止

[背面]

■ **車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する**

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

指　示

⚠注意

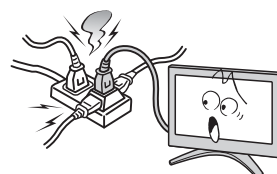
使用するとき

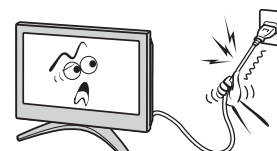
■ テレビ台を使用するときは、

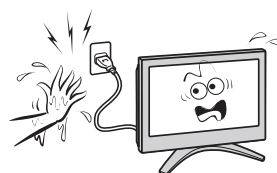
● 不安定な台を使わない
● 片寄った載せかたをしない
● テレビ台のトビラを開けたままにしない

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

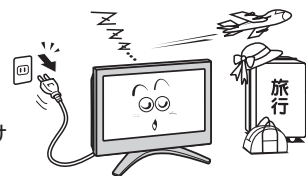
タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■ テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない

落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ ヘッドホーンやイヤホーンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

使用するとき つづき

■ **液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない**

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

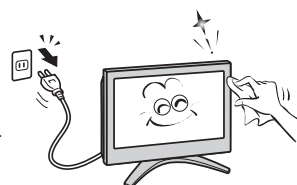
■ **リモコンに使用している乾電池は、**

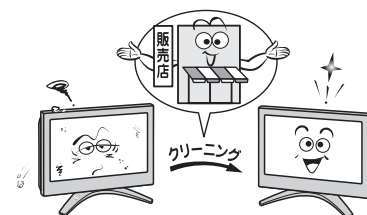
- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**

感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは操作編 65 をご覧ください。

■ **1年に一度くらいは内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください**

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

● ご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
● 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
● 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
● 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
● 液晶テレビではテレビゲームをお楽しみいただけますが、光線銃などを使って画面を標的にしたゲームでは、原理上使用できません。
また、外部入力（ビデオ入力1～3、HDMI入力1、2）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
- ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
- DVDやビデオなどの音声を、直接AVアンプなどの外部機器に接続して視聴する場合

蛍光管について

● 本機内部に使用している蛍光管には寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しなくなったりしたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

録画・録音について

● 本機に接続したビデオなどに録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
● 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は、録画をすることはできません。また、著作権保護のため1世代のみ録画が許された番組（コピーワンスプログラム）は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

● 「すべての初期化」71をして、暗証番号や双方向サービスの情報（お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数など）なども含めて、初期化することをお勧めします。
● B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。（カードが貼ってある説明書の表と裏をよくお読みください）
● **一般の廃棄物といっしょにしないでください。**
ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の内部で使用している蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

著作権について

● **あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、権利者の許諾なく、録画・録音したものを複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いませんので、ご理解のほどお願いします。**
なお、著作権法違反は刑事処罰を受けますので自己責任の下でご利用ください。
たとえば、以下の行為は違反になりますのでご注意ください。
・録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
・録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
また、以下の行為も著作権法違反となるおそれがありますのでご注意ください。
・番組を録画したビデオテープやDVDなどの媒体を友人に貸す。
● 本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。
この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造したりすることも禁じられています。

免責事項について

● 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 録画・録音機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 誤操作や静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
● 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

たいせつなお知らせ

■ デジタル放送の番組情報取得について

● **番組情報を取得するために、番組情報取得設定（操作編 46 ）を「取得する」にして、毎日2時間以上本機の電源を「待機」にしておくことをお勧めします。**（番組表の内容が表示されないときは、「番組情報の取得」（操作編 16 ）で情報を取得・更新することができます）

- デジタル放送では、番組情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中にはいって送られてきます。
  本機は、電源が「待機」のときに番組情報を自動的に取得して、番組表表示や番組検索、予約などに使用します。
  電源が「入」のときにも番組情報は取得しますが、視聴中のデジタル放送以外の放送の番組情報は取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のご使用状態によって、取得できる内容は異なります）
- 本体の電源ボタンで電源を「切」にした場合や、電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定（操作編 46 ）を「取得しない」に設定している場合には、番組情報は取得できません。番組情報が取得できていない場合には、番組表が正しく表示されなかったり、番組検索や録画予約などができなかったりすることがあります。

■ お問い合わせ先について

● 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。（付属の「ファーストステップガイド」をご覧ください。冊子名「ファーストステップガイド」は 2007年8月現在のものです。将来は変更される可能性があります）

■ 同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて

● B-CASカードは、常に本体に挿入しておいてください。 22
※ B-CASカードは、デジタル放送の受信に必要です。
B-CASカードの登録や取扱いの詳細は、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

● カードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要となった場合などは、（株）ビーエス·コンディショナルアクセスシステムズ（カードが貼ってある説明書を参照）にご連絡ください。

■ デジタル放送の録画について

● 地上デジタル／ BSデジタルテレビ放送局は、著作権保護のために電波に「1世代のみ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送しています。（2007年8月現在）
これによって、デジタル録画機器に録画した番組を他のデジタル録画機器にコピーすることはできなくなります。
詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

■ HDMI連動機能について

● 推奨機器以外の機器を本機のHDMI入力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動機能対応機器として認識し、一部の連動操作ができることありますが、その動作については保証いたしかねます。 44 46

■ 本機の現在時刻の表示（操作編 18 の図を参照）について

● デジタル放送を視聴していない場合は、現在時刻表示のずれが大きくなる場合があります。
本機は、デジタル放送から現在時刻を取得しています。
デジタル放送を受信していない場合は、補助的にインターネット（iNETサーバー）から時刻情報を取得します。

● デジタル放送を受信しない場合で、本機をインターネット回線に接続していない場合は、本機の現在時刻表示はできません。
- インターネット回線に接続するには、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネット回線が使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。

■ 地上アナログ放送の番組表や番組情報を使用した機能について

● 本機は、DEPG™（Dynamic Electronic Program Guide）システムによる地上アナログ放送の番組表機能を備えています。これによって、デジタル放送だけでなく地上アナログ放送でも以下の機能が使えます。
- 番組表をテレビ画面に表示させて、選局や視聴予約をする（操作編 13 、操作編 27 ）
- 番組情報や番組説明を見る（操作編 18 ）
- ジャンルなどを指定して番組を検索する（操作編 14 ）

● 地上アナログ放送の番組表を見るには、インターネットへの常時接続・設定 28 とチャンネル設定（ 33 または 53 ）が必要です。

取扱説明書（本書および別冊の操作編）について

- 記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- 受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
- 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- 画面に表示されるアイコン（絵文字や絵記号）については、「アイコン一覧」（操作編 64）をご覧ください。
- 本書および別冊の操作編、画面表示、リモコンの操作ボタン名などでは、以下の略語を使用しています。

略　語	意　味
デジタル放送	地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送
地上アナログ、地アナ	地上アナログ放送
地上デジタル、地デジ	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
110度CS、CS	110度CSデジタル放送
東芝RDシリーズ（東芝製ビデオレコーダー）、東芝RDシリーズ	東芝製HDD&DVDビデオレコーダー
東芝レコーダー	HDMI連動機能対応東芝レコーダー
LAN端子	LAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子

ソフトウェアの更新について

- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
  本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波で送られるソフトウェアを本機が受信し、自動的にソフトウェアを更新することができます。（お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています）
  ソフトウェアの更新や自動ダウンロードについては、操作編 47 をご覧ください。

インターネットで情報を・・・

- ホームページに最新の商品情報やサービス･サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご覧ください。

  ■ http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

  ※ 上記アドレスは予告なく変更する場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご覧ください。
- 東芝総合ホームページからもさまざまな情報を提供しています。

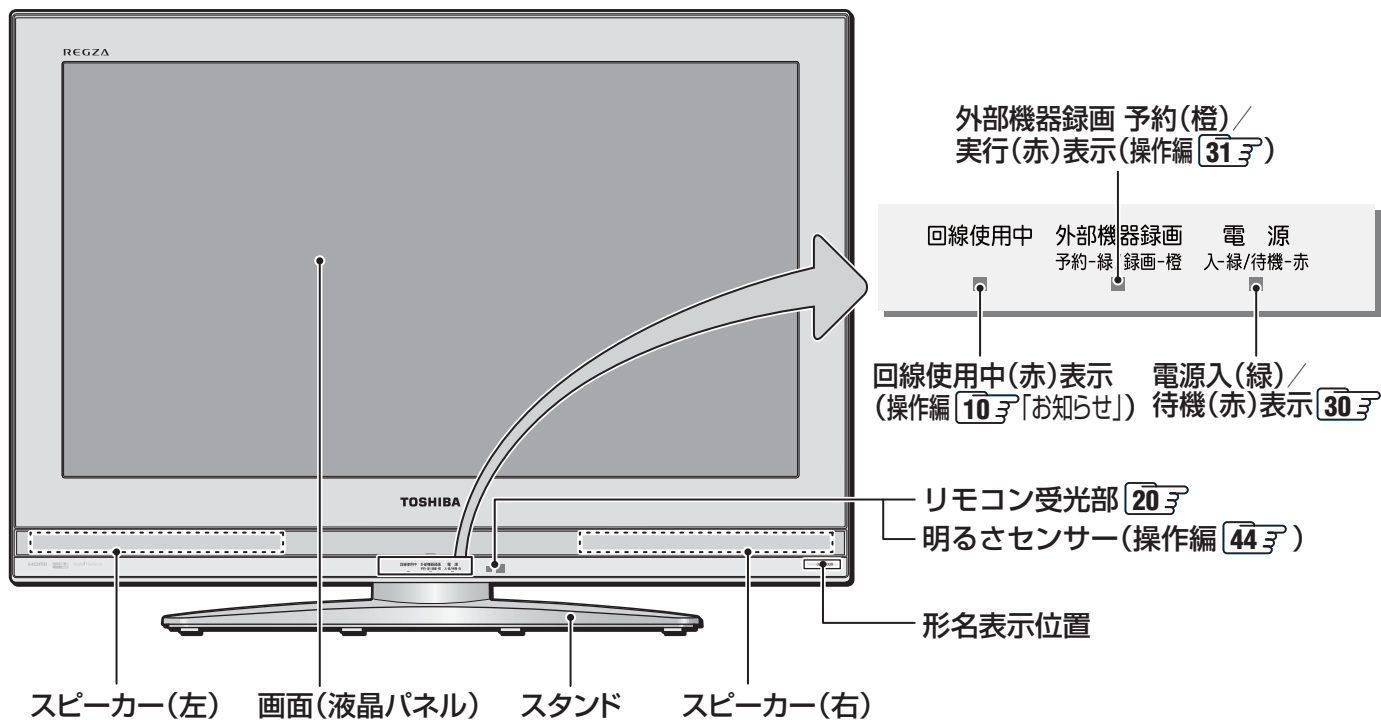
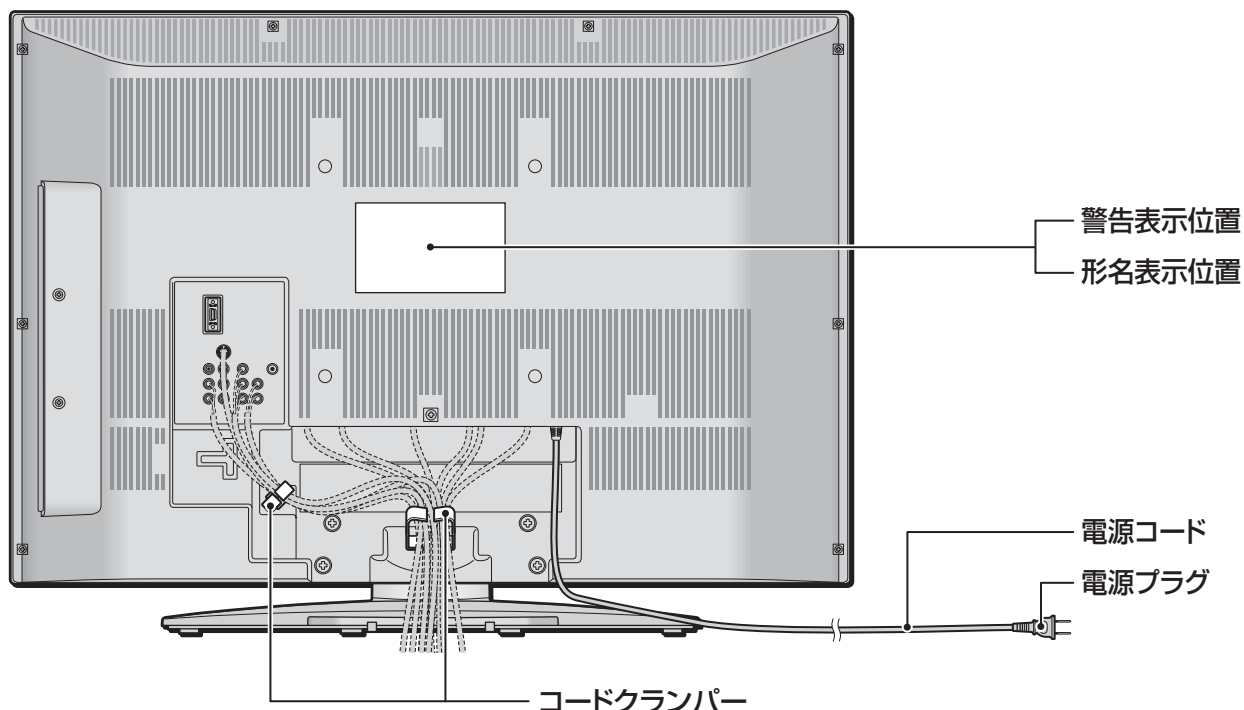
放送、通信サービスについて

- 放送や通信サービス（インターネットを利用した地上アナログ放送の番組表、その他の通信サービスなど）は、お客さまへの予告なしに、放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断したり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

各部のなまえ

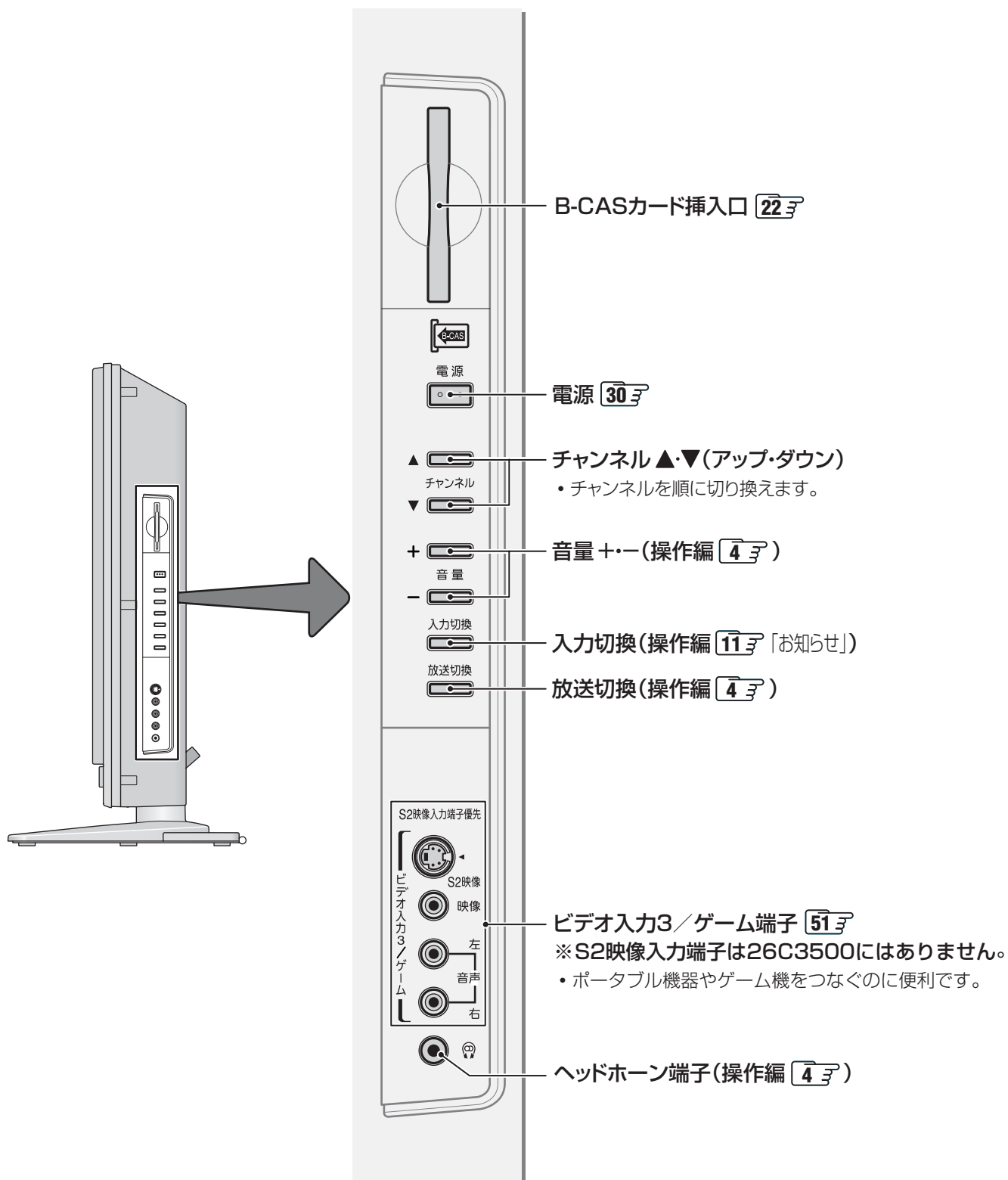
- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)
- 外部機器をつなぐ場合は、「本機に接続できる外部機器一覧」38 をご覧ください。

前面

背面

コードクランパー
- アンテナ線や外部機器との接続コードを整理するのに便利です。
(は配線の例を示します)

右側面

B-CAS
電 源
チャンネル
音 量
入力切換
放送切換
S2映像入力端子優先
S2映像
映像
左
音声
右
ビデオ入力3／ゲーム
B-CASカード挿入口 22
電源 30
チャンネル ▲·▼（アップ·ダウン）
• チャンネルを順に切り換えます。
音量 ＋·ー（操作編 4 ）
入力切換（操作編 11 「お知らせ」）
放送切換（操作編 4 ）
ビデオ入力3／ゲーム端子 51
※S2映像入力端子は26C3500にはありません。
• ポータブル機器やゲーム機をつなぐのに便利です。
ヘッドホーン端子（操作編 4 ）

各部のなまえ つづき

背面の入出力端子

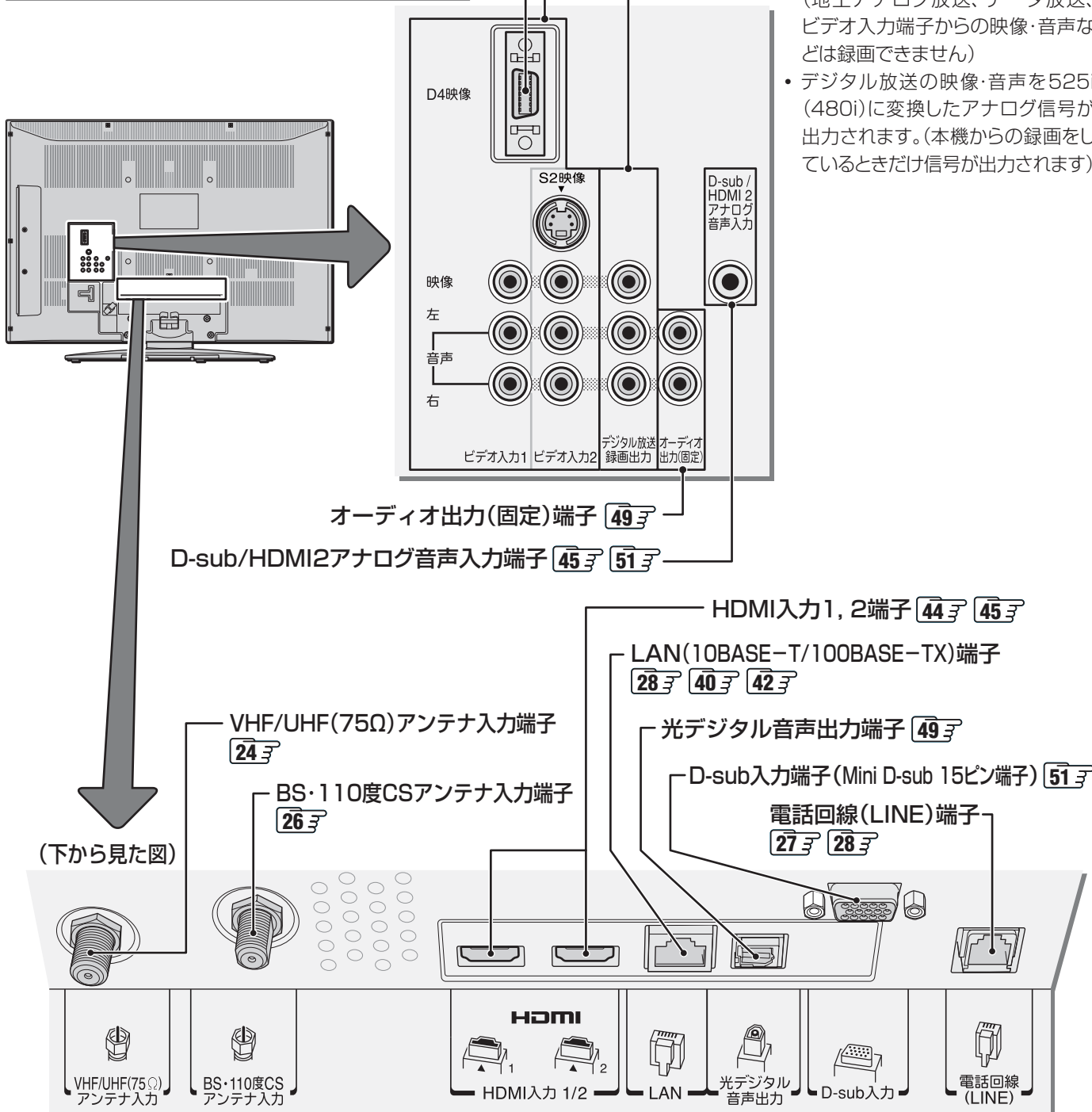
D4映像入力端子 39
（ビデオ入力1）

• 以下はD4映像入力端子に入力できる映像信号です。

映像信号	映像の走査線数	方式
525i（480i）	525本（有効480本）	インターレース
525p（480p）	525本（有効480本）	プログレッシブ
750p（720p）	750本（有効720本）	プログレッシブ
1125i（1080i）	1125本（有効1080本）	インターレース

ビデオ入力1，2端子 39 40 42

デジタル放送録画出力端子 39 40 42

• ビデオなどの録画機器をつないで、デジタル放送番組を録画できます。（地上アナログ放送、データ放送、ビデオ入力端子からの映像・音声などは録画できません）
• デジタル放送の映像・音声を525i（480i）に変換したアナログ信号が出力されます。（本機からの録画をしているときだけ信号が出力されます）

※ 本体の文字・絵表示と端子部は離れていますが、イラストは接近させて表記しています。

リモコン

- 準備編で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。（ボタンによっては、通常操作時と機能の異なるものがあります）
- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

リモコン発光部 20
- 操作するとき、本体のリモコン受光部に向けます。

電源 30
- 電源の「入」、「待機」を切り換えます。

CS 31
- 110度CSデジタル放送に切り換えます。

BS 31
- BSデジタル放送に切り換えます。

文字入力 34 41
- 文字、数字、記号の入力が必要な設定で使います。

チャンネル∧・∨ 31
- チャンネルを順に選びます。

決定 30
- メニューで選んだ項目を決定します。

終了 30
- 設定を終了してメニューを消します。

ふた
- 矢印の方向へスライドさせて開きます。

電池カバー 20
- 乾電池を入れるときに取りはずします。

«・»（ジャンプカーソル）56
- 地上アナログ放送チャンネルの手動設定で、微調整をするときに使います。

▲・▼・◀・▶（カーソル）33
- メニューなどで項目を選びます。

戻る 35
- 設定の途中で、前のメニュー画面に戻るときに使います。

設定メニュー 30
- 設定メニューを表示させます。

ラジオ/データ 60
- チャンネルスキップの設定で、放送の種類を切り換えるときに使います。

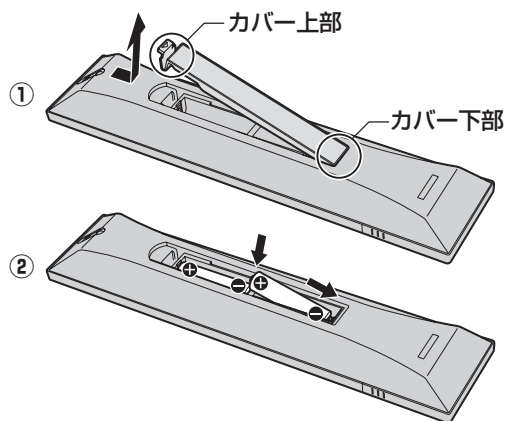
リモコンの準備

乾電池の入れかた

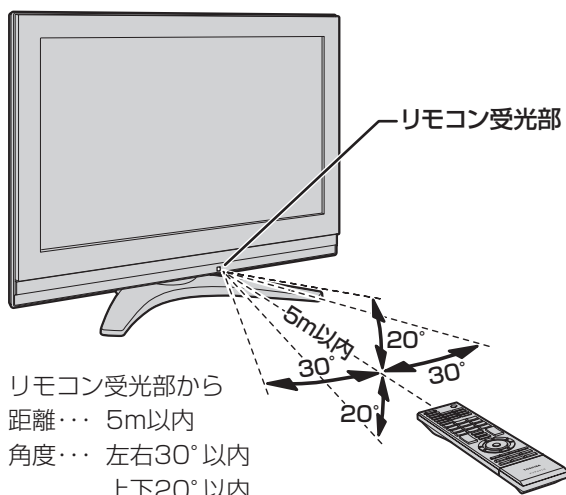
⚠注意	■ リモコンに使用している乾電池は、 ● 指定以外の乾電池は使用しない ● 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない ● 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない ● 火や直射日光などの過激な熱にさらさない ● 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない ● 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。 もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。

■カバーをはずし、乾電池を入れる

① カバーをはずすときは、カバー上部の▼部分を▼方向に押しながら、すくい上げます。
② 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。
● カバーを閉めるときは、カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

リモコンの使用範囲

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。（強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります）

リモコン受光部から
距離･･･ 5m以内
角度･･･ 左右30°以内
　　　　上下20°以内

※ リモコン発光部は二ヵ所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

ご注意

■リモコンについて
● 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
● 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
● 分解しないでください。
● 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

■ 乾電池について
● 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2個とも新しい乾電池と交換してください。

テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」 6 ～ 12 を必ずお読みください。

⚠警告	■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。
⚠注意	■ 転倒・落下防止の処置をする 地震などでのテレビの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

正しい置きかた

■ 丈夫で水平な安定した所に設置してください

■ テレビ台を使用する場合

● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

■ 周囲からはなして置いてください

● 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

転倒・落下防止のしかた

● 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

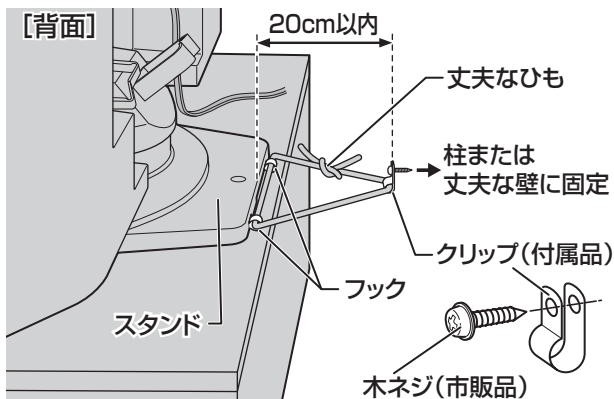
■ 壁または柱などに固定するとき

● アンテナや他の機器などとの接続が済んでから固定してください。

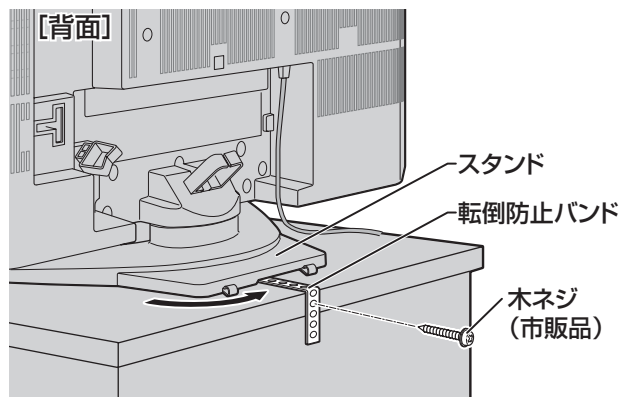
● スタンド背面のフックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで固定してください。

● クリップはスタンド背面のフックと同じくらいの高さの場所に木ネジ（市販品）で取り付けてください。

※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因となるので使用しないでください。

※ 移動するときは、ひもをはずしてください。

■ 転倒防止バンドを使用して固定するとき

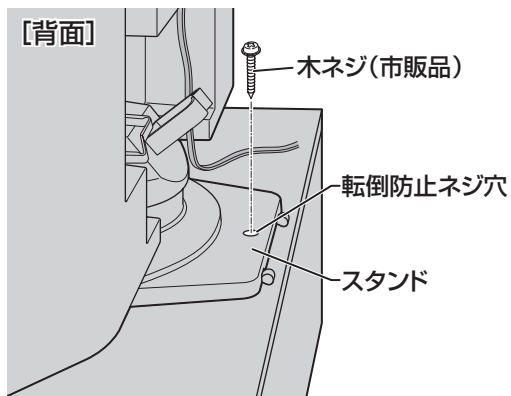
● スタンド底面の転倒防止バンドを後方に回転させて、設置する台の確実に支持できる背面に木ネジ（市販品）で固定してください。

※ 後方には倒れます。固定後は台を壁などに近づけて設置し、小さなお子様がはいれないようにしてください。

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

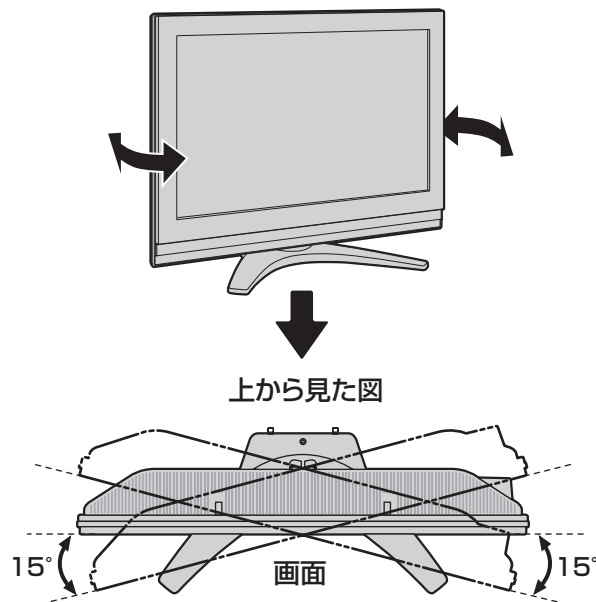
テレビを設置する つづき

転倒・落下防止のしかた つづき

■ 転倒防止ネジ穴を使用して固定するとき

- 転倒防止ネジ穴を使って木ネジ(市販品)でスタンドを設置面にしっかりと固定します。
- 材質のしっかりした、十分に厚い場所に固定してください。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

本機を見やすい角度に調整するとき

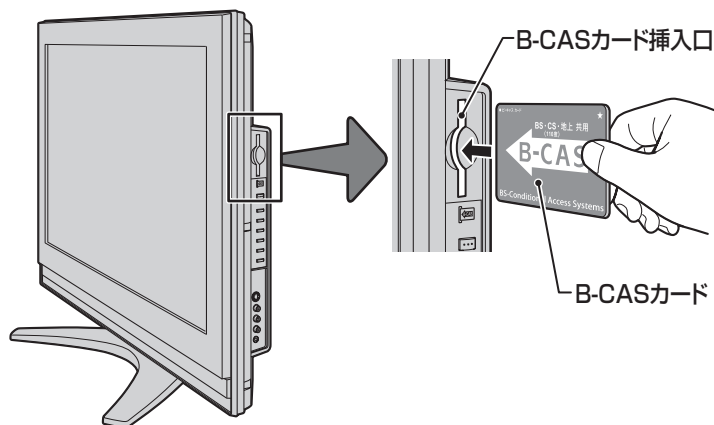
- 本体が左右方向に15°ずつ回転します。(前後方向には傾けられません)
- 見やすい角度に調整してお使いください。
  (本機がずれたり、倒れたりしないよう、スタンド部分をしっかり押さえて調整してください)

B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

- 同梱のB-CAS(ビーキャス)カードは、デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。
  常に本体に入れておいてください。

※ お買い上げ時、B-CAS(ビーキャス)カードは本体背面に貼付された袋の中にはいっています。

● B-CASカードの絵柄面を本体の前面側に向けて、奥まで差し込みます。

※ 取り出すときは、B-CASカードをつかんで抜きます。

- 同梱のB-CAS(ビーキャス)カードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に加入申込書に必ず貼ってください。
- 「同梱のB-CAS(ビーキャス)カードについて」14も必ずお読みください。
- 説明書は、よくお読みのうえ、のちのお問い合わせ先確認などにそなえて、たいせつに保管してください。

アンテナの接続

※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。また、アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

● 接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)は、機器の配置や端子の形状などにあわせて適切な市販品を別途お買い求めください。

VHF/UHF用アンテナ線の端子を加工するとき

● VHF/UHF用アンテナ線の端子形状が本機のアンテナ入力端子の形状と合わないときは、アンテナ線を加工してF型コネクターを取り付けてください。

アンテナ線とF型コネクターについて

● 本機には4Cタイプおよび5Cタイプのアンテナ線用F型コネクター 5 を付属しています。

4Cタイプ

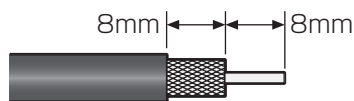
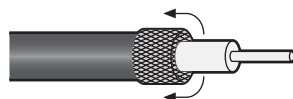
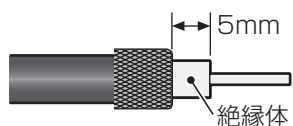
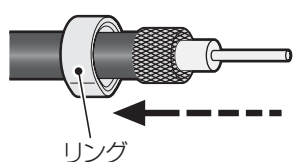
5Cタイプ

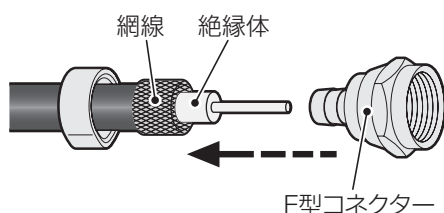
● ご使用のアンテナ線が4Cタイプまたは5Cタイプ以外の場合は、アンテナ線の太さに合った市販のF型コネクターを別途お買い求めください。

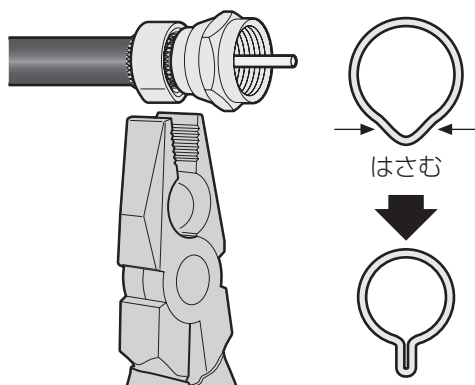
付属のF型コネクターの取り付けかた

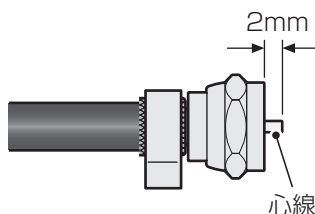
● アンテナ線の太さに応じたF型コネクターをご使用ください。

● 市販のF型コネクターを使用する場合の加工方法は、F型コネクターに付属の説明書をご覧ください。

❶ アンテナ線の先端を下図の寸法に加工する

❷ 網線を折り返す

❸ 絶縁体を下図の寸法に加工する

❹ アンテナ線にリングを通す

❺ F型コネクターを差し込む

F型コネクターの管状の部分が、網線と絶縁体の間にはいるようにします。

❻ リングをペンチなどではさんで、しめつける

リングを網線の部分に移動してからはさみます。

❼ 心線の長さを調整する

心線の出寸法が約2mmになるところで切断します。

● 心線が長かったり、曲がっていたりすると、破損やショートなどの原因になります。

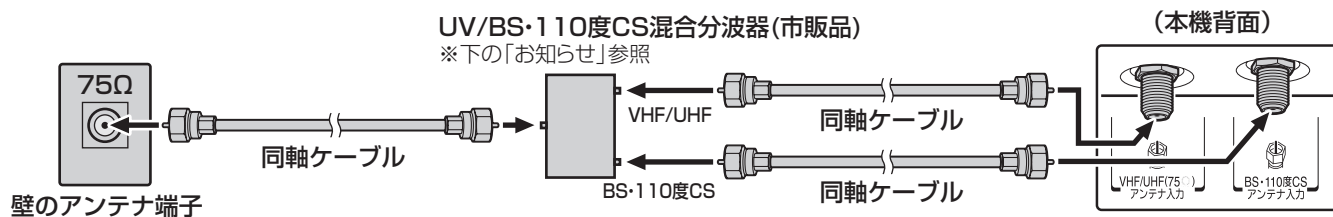
● 心線が短いと、接触不良の原因になります。

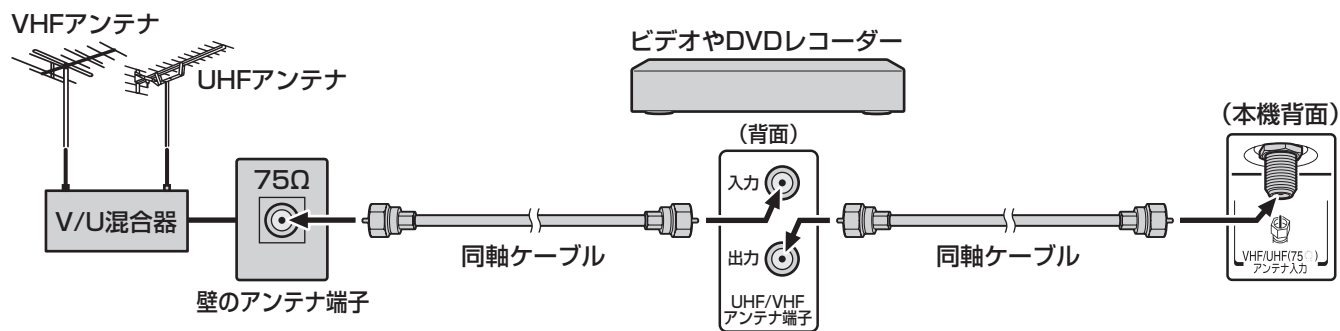
アンテナの接続 つづき

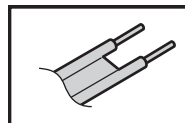
VHF/UHFアンテナ線のつなぎかた

- 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままでつなぐと、ショートすることがあります。
- 地上デジタル放送はUHFアンテナで受信します。UHFアンテナが設置されている場合はそのままで受信できることもありますが、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。

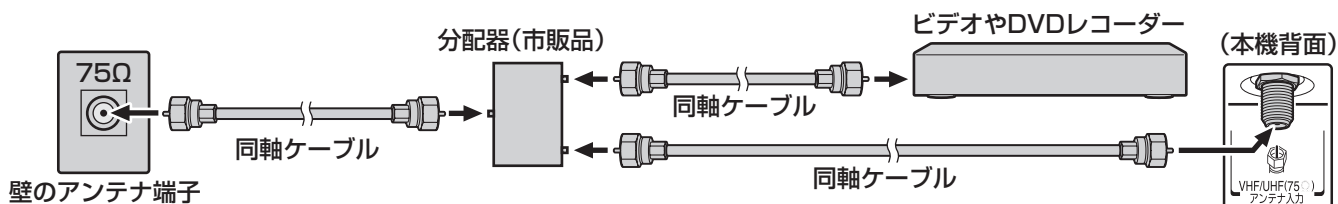
アンテナ線がVHF/UHF混合の場合（またはVHFだけ、またはUHFだけの場合）

マンションなどの共聴システムのとき（VHF/UHF/BS・110度CS混合のとき）

- 「BS・110度CSアンテナ電源供給」を「供給しない」に設定してください。詳しくは 31 をご覧ください。

ビデオやDVDレコーダーを経由したつなぎかた（壁の端子が75Ωでビデオなどの入力がV・U混合のとき）

- VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
  平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。
- やむをえず、平行フィーダー線を使用するときは、平行フィーダー線をBS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。（同軸ケーブルを使用する場合でも、妨害を受けるようであれば、BS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから離してみてください）
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- VHF、UHFアンテナは定期的な点検・交換をお勧めします。アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

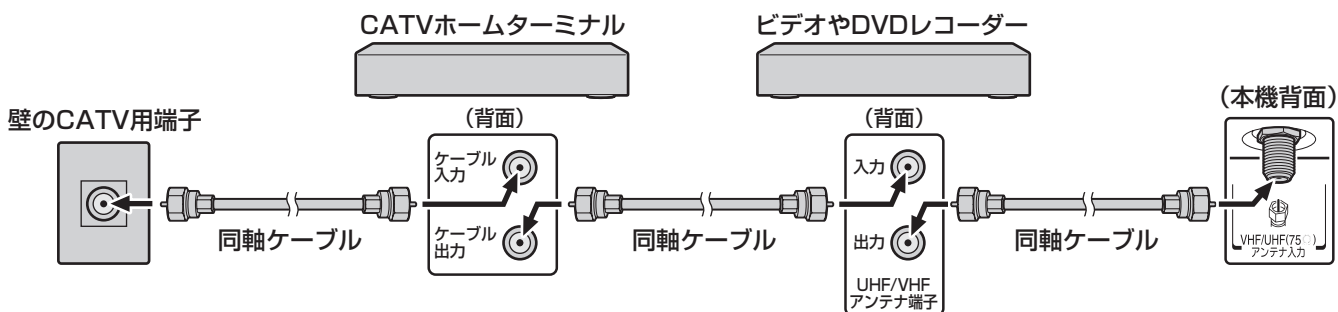
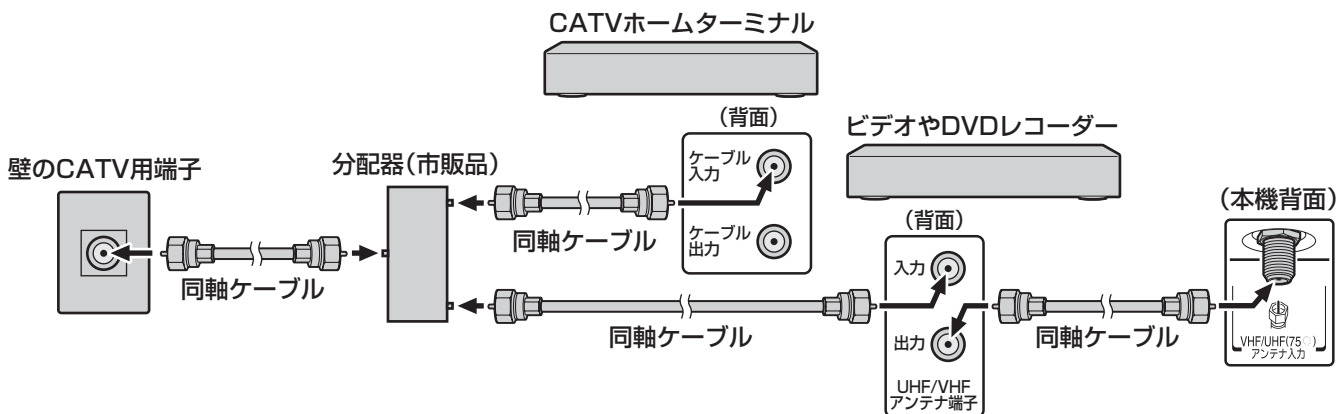
平行フィーダー線

■ 地上デジタル放送を受信する場合

- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものを選び、妨害波の影響などを防ぐために空き端子には終端抵抗器（75Ω）を接続してください。
- 一般的に地上デジタル放送はUHFアンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システム（VHF帯、またはUHF帯）で伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

分配器を使用したつなぎかた

VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

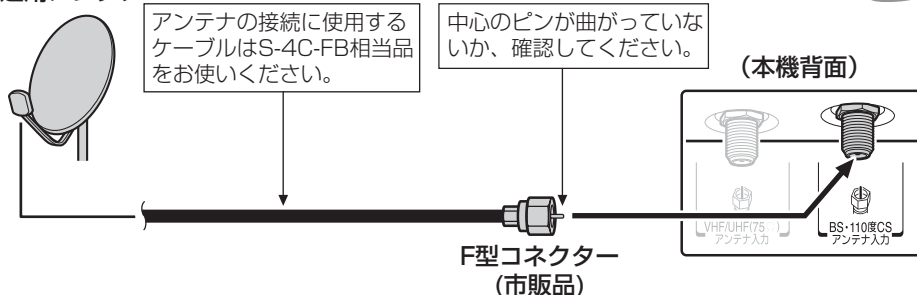
● V/U混合器、形名HMX-77(別売品)などが必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

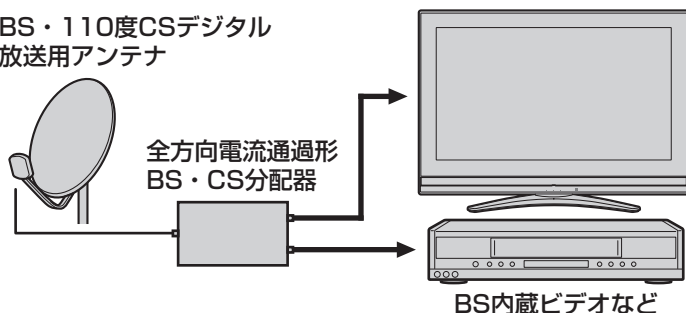
CATV(ケーブルテレビ)をご利用のとき

● CATVホームターミナルによっては端子の名称が異なる場合があります。接続方法や、地上デジタル放送の視聴についてなど、詳しくはご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。

● 地上デジタル放送のUHF電波が壁のCATV用端子に送られてきている場合でも、CATVホームターミナルによっては「ケーブル出力」端子にその電波が出力されないことがあります。その場合には、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

アンテナの接続 つづき

BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた

- 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- F型コネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままでつなぐと、ショートすることがあります。
- BSデジタル放送だけご覧になる場合はBSデジタル用アンテナを、110度CSデジタル放送も合わせてご覧になる場合は、BS・110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。(以下、これらのアンテナをBS・110度CSデジタル用アンテナと記載します)
- アンテナをつないだあとにアンテナの方向調整が必要です。31
- 本機とBS・110度CSデジタル用アンテナの接続には、BS・CSデジタル対応のケーブル(S-4C-FB相当)をご使用ください。
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

BS・110度CSデジタル用アンテナをつなぐとき

- BS・110度CSアンテナ入力端子からBS・110度CSアンテナに電源を供給します。
心線とアース線がショートしないようにしてください。

BS・110度CSデジタル用アンテナ1台で、本機などBSや110度CS機器を2台以上つなぐ場合

BS・CS分配器をご使用の場合は全方向電流通過形分配器で、周波数2150MHzに対応したものをご使用ください。

- 2分配 CSG-D2B(別売品)など
- 3分配 CSG-D3B(別売品)など
- 4分配 CSG-D4B(別売品)など

※ BSや110度CS機器をつなぐときは、BSや110度CS機器付属の取扱説明書をご覧ください。

※ 将来、110度CSデジタル放送でチャンネルがふえた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

アンテナ電源について

- BS・110度CSデジタル用アンテナは電源を必要とします。本機にはアンテナ電源を供給する機能がありますが、マンションなどの共聴システムや他の機器などから供給されている場合は、本機から供給する必要はありません。
お使いの条件に合わせて「BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給」31 の設定をしてください。

従来のBSアンテナについて

- 従来のBSアンテナでは110度CSデジタル放送は受信できません。また、多くのものはBSデジタル放送を受信できますが、一部には安定して受信できないものもあります。その際には、BSデジタル用、またはBS・110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。

マンションなどの共同受信の場合

- お住まいのマンションの共同受信設備でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかについては、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。
既存の設備で受信できない場合には、BS・110度CSデジタル用アンテナの設置・接続が必要です。

■BS・110度CSデジタル用アンテナの設置について

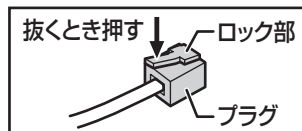
- マンションなど共同住宅の場合は、出入口や避難設備にはアンテナを設置できません。また、避難通路や消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また、建物の管理者にもご相談ください。

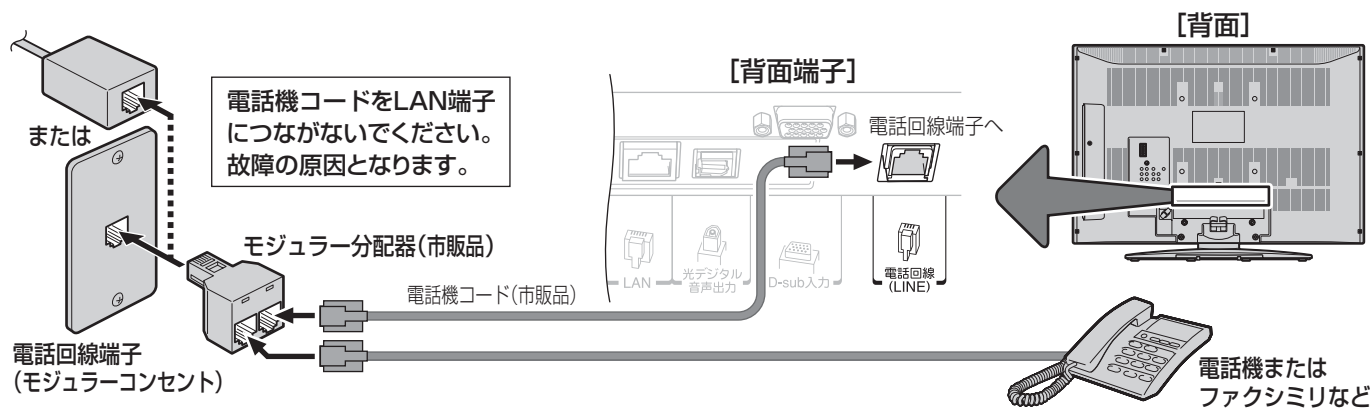
- 110度CSデジタル放送を受信する場合でブースターやBS・CS分配器を使用する場合は、110度CSデジタル放送(周波数2150MHz以上)に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110度CSデジタル放送を受信できません。
- スカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

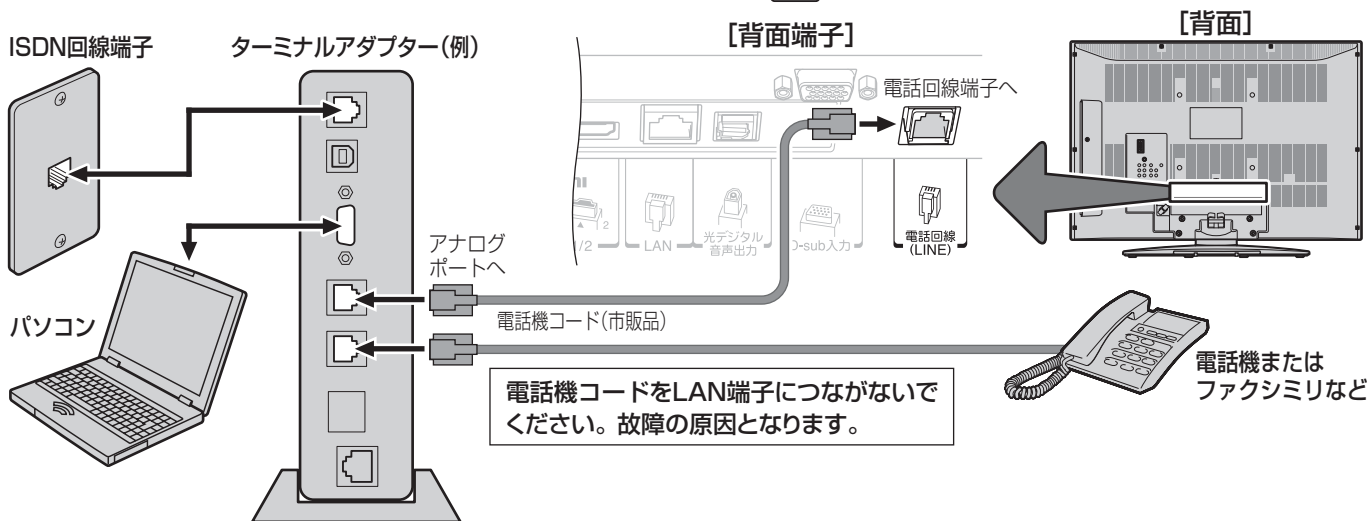
電話回線の接続

- 電話回線は、デジタル放送の双方向サービス（クイズ番組への参加、通販番組での商品購入など）を利用する場合や、有料番組（ペイ·パー·ビュー番組）を購入する場合に使用します。これらのサービスなどを利用しない場合は、電話回線につなぐ必要はありません。（地上デジタル放送では、番組によっては双方向サービスに電話回線によるダイヤルアップ通信を使用することがあります）
- **電話回線につないだ場合は、「はじめての設定」の中で「電話回線設定」34～35をしてください。**

※ ADSLモデムを電話回線につないでいる場合は次ページをご覧ください。

- 電話機コードを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機コードを抜き差しするときは、プラグを持ってください。抜くときは、コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（右図を参照）

モジュラーコンセントの場合

- **電話回線がモジュラーコンセントでない場合や、電話機の主装置、ターミナルボックス、ドアフォンなどが壁に埋め込まれている場合は専門業者による工事が必要です。ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。**

ISDN回線の場合

- ターミナルアダプターのアナログポートに本機を接続してください。（ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください）
- ご注意：ISDN回線端子に付属のモジュラー分配器を差し込まないでください。
- 「電話回線設定」の「ダイヤル方式」は、「トーン」に設定してください。35

- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、ビジネスホン、PHSなどの回線には接続できません。ホームテレホンの場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- 本機の通信中は電話機やファクシミリは使用できません。逆に、電話機やファクシミリを使用中は、本機の通信はできません。キャッチホン契約の場合、本機の通信中に電話がかかってくると、本機の通信は終了します（キャッチホンⅡ契約の場合は終了しません）。
- 一部のダイヤル式電話機では、本機が通信をしているときに電話機の呼出音が鳴ることがあります。呼出音が鳴らないようにしたい場合は、モジュラー分配器（市販品）ではなく電話回線切換器（市販品）をご使用ください。
- 電話回線に接続の際に工事が必要な場合は有料となります。電話工事には資格が必要です。無資格の方は工事できません。
- ノイズがはいると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

LAN端子の接続

- デジタル放送の双方向サービスを利用する場合や、地上アナログ放送の番組表機能などを利用する場合には、LAN端子からルーターとモデムを通して電話回線などを使ったインターネット回線に接続します。
- **LAN端子の接続についてのお問い合わせは、「テレビのネットワーク接続(LAN端子を使った接続)についてのご相談は」95 をご覧ください。**
- **次ページの「LAN端子についてのお知らせとお願い」もお読みください。**
- **LAN端子の接続をした場合は、必要に応じて「通信接続設定」の「LAN端子設定」65 ～ 66 をしてください。**

- LANケーブルや電話機コードを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルや電話機コードを抜き差しするときは、プラグを持ってください。抜くときは、コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。(右図を参照)

電話回線のADSLでインターネットを利用している場合

- 本機の電話回線端子への接続は、デジタル放送の双方向サービスを利用したり、ペイ・パー・ビュー番組を購入したりするためのものです。(前ページの「電話回線の接続」もお読みください。また、この接続をした場合は、「電話回線設定」63 もしてください)
- ADSLモデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

ケーブルテレビインターネットを利用している場合

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- ご利用のインターネットの契約によっては、本機やパソコンなどの複数の端末機器を接続できない場合があります。ご利用の回線事業者にご確認ください。

LAN端子についてのお知らせとお願い

● 前ページの「LAN端子の接続」および「東芝RDシリーズ(東芝ビデオレコーダー)をつなぐ」の「ルーターを通してつなぐ」42をする場合には、以下をお読みください。

■ 本機が接続できるルーターについて

● 以下の製品で、有線接続での正常動作を確認済です。無線接続の場合や、他の製品では本機が正常に動作しない場合があります。

メーカー名	プラネックスコミュニケーションズ(株)
形　　名	BLW-04FMG

■ お知らせ

● イーサネット通信機能は、本機が動作状態のときにだけ使用できます。
● プロバイダー(インターネット接続事業者、以下同じ)側の設定や制限によっては、LAN機能の一部が使用できない場合があります。
● ADSLを利用するには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによって、本機を使用できない場合や、同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります)
● 基本的には、カテゴリ5(CAT5)と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。ただし、接続機器がすべて10BASE-Tの場合は、カテゴリ3のケーブルも使用できます。
● ご使用のモデムなどによっては、正常に通信できない場合があります。
● 前ページおよび42で図示していない機器が接続されているときは、正常に通信できない場合があります。
● ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

■ お願い

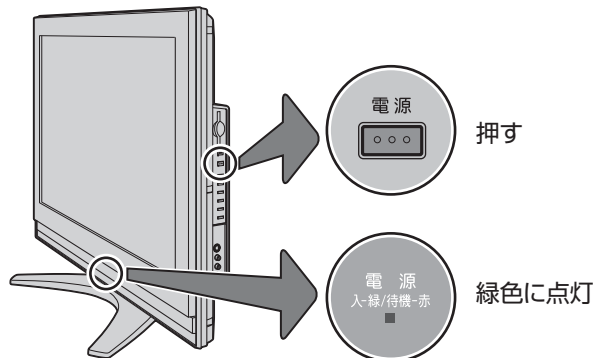
● 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、お客様ご自身でお支払いください。
● 以下の場合やご不明な点は、ご契約のADSL回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーにお問い合わせください。
- ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
- 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
- ADSL回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
- ADSLモデムやケーブルモデムについてご不明な点など。

電源を入れる

● アンテナなどの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

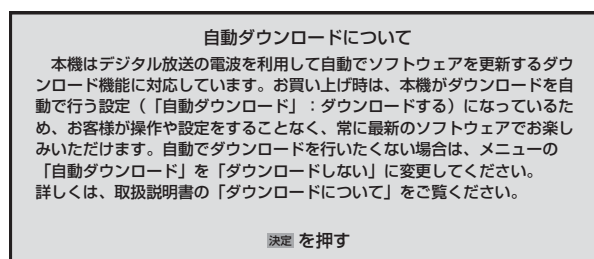
● 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
● 番組情報を取得するために、電源プラグは非常時と長期間使用しないとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

2 本体右側面の電源ボタンを押す

● 電源がはいり、本体前面の「電源入(緑)/待機(赤)」表示が緑色に点灯します。
● もう一度本体の電源ボタンを押すと、電源が切れます。

※ **はじめて電源を入れたときは、手順3の操作をします。**

3 「自動ダウンロードについて」の説明画面を読む

● 説明画面を消すには、リモコンの(決定)を押します。
● 自動ダウンロードについては操作編 47 をご覧ください。

自動ダウンロードについて
本機はデジタル放送の電波を利用して自動でソフトウェアを更新するダウンロード機能に対応しています。お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定（「自動ダウンロード」：ダウンロードする）になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新のソフトウェアでお楽しみいただけます。自動でダウンロードを行いたくない場合は、メニューの「自動ダウンロード」を「ダウンロードしない」に変更してください。
詳しくは、取扱説明書の「ダウンロードについて」をご覧ください。
決定 を押す

■ リモコンで電源を入/待機にするには

● 電源「入」の状態でリモコンの(電源)を押すと、「待機(赤)」が点灯し、待機状態になります。
● 「待機」のときにリモコンの(電源)を押すと、電源がはいり、「電源入(緑)」が点灯します。

■ 地上デジタル用アンテナの方向調整について
● 手順**3**の画面での「現在受信中のチャンネル」は、「初期スキャン」33 をする前の状態では表示されません。

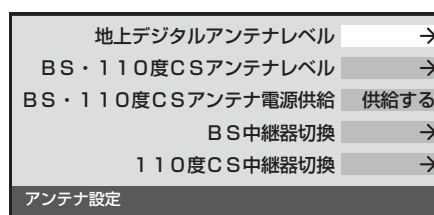
アンテナの設定と調整

地上デジタル用アンテナの方向調整

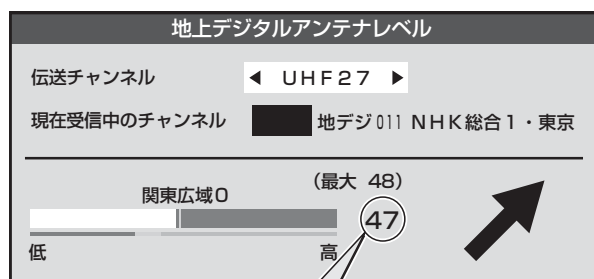
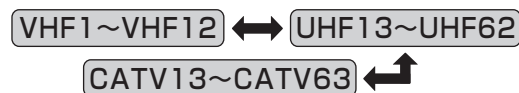
● **アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
● アンテナの取扱いについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶ (設定メニュー)(ふたの中)を押す
❷ ▲・▼で「初期設定」を選び、(決定)を押す
❸ ▲・▼で「アンテナ設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲・▼で「地上デジタルアンテナレベル」を選び、(決定)を押す

3 ◀・▶で「伝送チャンネル」を選ぶ

● お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。
● ◀・▶を押すたびに以下のように切り換わります。UHF13 ～ UHF62の範囲で選びます。

VHF1～VHF12 ⟷ UHF13～UHF62
CATV13～CATV63 ↵

受信できるアンテナレベルの目安は、43以上です。
(表示される数値は、受信C/Nを換算したものです)

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

● アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。
● 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

5 アンテナを固定して、(決定)を押す

6 (終了)を押して、メニューを消す

BS・110度CSデジタル用アンテナの設定と調整

BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定

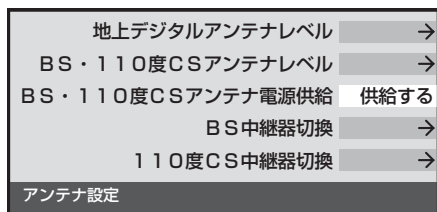
- アンテナに供給する電源をアンテナ電源といいます。
- お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。
  マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

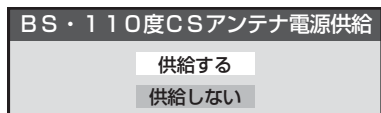
1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲・▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲・▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2 ▲・▼で「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「供給する」または「供給しない」を選び、決定を押す

- 項目を選ぶとその状態に設定されます。

4 終了を押して、メニューを消す

BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整

- **アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
- アンテナの調整方法や取扱いについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。(テレビが映るアンテナ方向は、VHF/UHFアンテナの場合よりも微妙です)

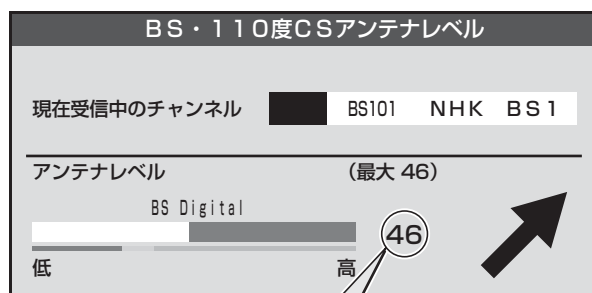
1 左の手順**1**の操作で「アンテナ設定」画面にする

2 ▲・▼で「BS・110度CSアンテナレベル」を選び、決定を押す

3 BS—CSを押して、放送の種類(BSまたは110度CS)を選ぶ

4 契約しているチャンネル、または無料チャンネルをチャンネル∧∨で選ぶ

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。(表示される数値は、受信C/Nを換算したものです)

6 アンテナを固定して、決定を押す

7 終了を押して、メニューを消す

■ アンテナ電源供給設定について

- 本体の電源ボタンで電源を「切」にしている場合は、アンテナ電源は供給されません。
- 「供給する」に設定した場合でも、本機の電源が「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外は、アンテナ電源が供給されません。
- 本機の電源を入れないで、BS内蔵ビデオ単独で録画するときなどは、本機以外からアンテナ電源を供給する必要があります。

■ アンテナ方向調整について

- アンテナ線がショートしていると、手順**5**の画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示されます。その場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、ショートの原因を取り除いてから、もう一度電源を入れて手順**1**からやり直してください。

はじめての設定をする

● 本機を使えるようにするための基本的な設定をまとめて行います。
● 設定項目は下表のとおりです。
「はじめての設定」は何度でもできますが、やり直した場合は、下表の各設定項目ごとにそれまでに設定していた内容（特に、地上アナログ放送や地上デジタル放送のチャンネルを手動で設定した内容）は消去されますのでご注意ください。双方向サービスの情報（お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数など）は消去されません。

設定項目	内　容
地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定	地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を同時に行います。 また、地域の設定もします。
↓	
郵便番号の設定	お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送を視聴したり、電話回線での通信をもよりのアクセスポイントで利用するための設定です。
↓	
電話回線設定	デジタル放送では電話回線を利用した双方向サービスが行われています。 それらのサービスを楽しむための設定です。 ※ 地上デジタル放送の場合には、LAN端子を使ったイーサネット通信でも双方向サービスを利用することができます（番組によっては、電話回線を使ったダイヤルアップ通信が行われることがあります）。
↓	
簡易確認テスト	地上デジタル受信テスト、BS・110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

■「地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定」について

● 地上アナログ放送の場合
入力された地方、地域に応じて、チャンネルがリモコンの地上ダイレクト選局ボタン［1］～［12］に自動的に設定されます。
自動設定される内容については「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（77ページ ～ 84ページ）をご覧ください。

● 地上デジタル放送の場合
「初期スキャン」33ページ（または54ページ）をすることで、本機が地上デジタル放送の受信できるチャンネルを探し、リモコンの地上ダイレクト選局ボタン［1］～［12］に自動設定します。
自動設定は、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
初期スキャンは（VHF1 ～ 12）→（UHF13 ～ 62）→（CATV13 ～ 63）の順で行われます。

※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」56ページで行ってください。
※ 初期スキャンによってチャンネルが設定されても、電波が弱い場合には正常に受信できないことがあります。

■ 地方と地域の設定について

● チャンネルの自動設定は、33ページの手順**4** ～ **6**で設定された地方、地域に基づいて行われます。
34ページの郵便番号でも地域を設定しますが、それは地域に密着したデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）を視聴したり、電話回線での通信をもよりのアクセスポイントで利用したりするための設定であり、33ページの手順**4** ～ **6**の設定とは別のものです。

■ 新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

● 地上デジタル放送の放送局が新たに開局した場合や、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえたなどの場合は、「自動設定」の「再スキャン」55ページをしてください。新たに受信できたチャンネルが追加設定されます。

地上アナログ／デジタル放送チャンネル設定

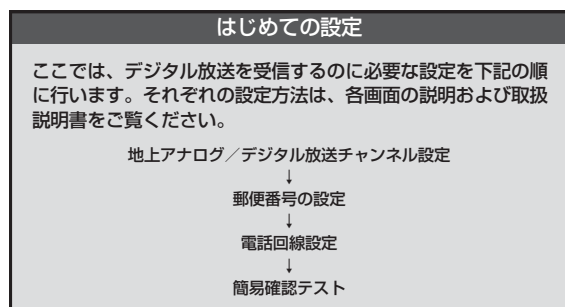
- 地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネルを同時に設定します。また、データ放送の地域も同時に設定します。
- 詳しい動作については前ページの「お知らせ」をご覧ください。

1 以下の操作で「はじめての設定」の説明画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲・▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲・▼で「はじめての設定」を選び、決定を押す

> **はじめての設定**
>
> ここでは、デジタル放送を受信するのに必要な設定を下記の順に行います。それぞれの設定方法は、各画面の説明および取扱説明書をご覧ください。
>
> 地上アナログ／デジタル放送チャンネル設定
> ↓
> 郵便番号の設定
> ↓
> 電話回線設定
> ↓
> 簡易確認テスト

2 画面の説明を読んで、決定を押す

- 「地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定」の説明画面が表示されます。

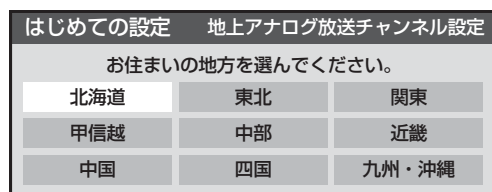
3 画面の説明を読んで、決定を押す

- 地方を選ぶ画面が表示されます。

4 お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定

お住まいの地方を選んでください。

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

5 お住まいの都道府県を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

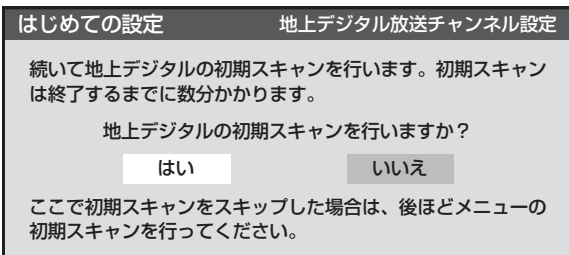
- 地域を選ぶ画面が表示されます。

6 お住まいの地域を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- お住まいの地域名が表示されないときは、近くの地域名を選びます。

7 表示された地上アナログチャンネル一覧の内容を確認後、決定を押す

8 画面の説明を読んで、以下の操作をする

> **はじめての設定**　地上デジタル放送チャンネル設定
>
> 続いて地上デジタルの初期スキャンを行います。初期スキャンは終了するまでに数分かかります。
>
> 地上デジタルの初期スキャンを行いますか？
>
> はい　いいえ
>
> ここで初期スキャンをスキップした場合は、後ほどメニューの初期スキャンを行ってください。

■ 地上デジタル放送の初期スキャンをする場合

❶ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

- 初期スキャンが自動的に始まります。
  終了するまでしばらくお待ちください。
- 初期スキャンが終わったら、次は手順**9**に進みます。
- 下の画面が表示された場合
  - 「データ放送用メモリーの割当て」37をしてください。
  - 「データ放送用メモリーの割当て」が終了すると、次は手順**9**に進みます。

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を９つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☑ 6	―――	×	あり
☑ 7	テレビ東京	○	あり
☑ 8	―――	×	あり
☑ 9	―――	×	あり
☑ 10	―――	×	あり

選択した放送局の数：１２

■ 地上デジタル放送の初期スキャンをあとでする場合

❶ ◀・▶で「いいえ」を選び、決定を押して「郵便番号の設定」(手順**10**)に進む

- あとで「自動設定」の「初期スキャン」54をしてください。

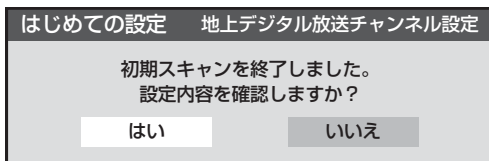
設置と基本の接続・設定

はじめての設定をする つづき

9 下図の画面が表示されたら、以下の操作をする

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

初期スキャンを終了しました。
設定内容を確認しますか？

はい　いいえ

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
- 設定内容の確認画面（下図例）が表示されます。

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK教育・東京
3	–––	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS

❷ 設定内容を確認し、決定を押して「郵便番号の設定」（手順10）に進む
- これで、地上デジタル放送チャンネルの自動設定が終了しました。
- チャンネルの欄が「–––」となった場合は、放送がないか、または受信できなかったことを示します。
- 設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」56で行ってください。

郵便番号の設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報･選挙速報など）の視聴や、電話回線を通しての双方向サービスを、もよりのアクセスポイント（接続中継点）で利用するための設定です。
- 郵便番号を設定することで、地域が指定されます。

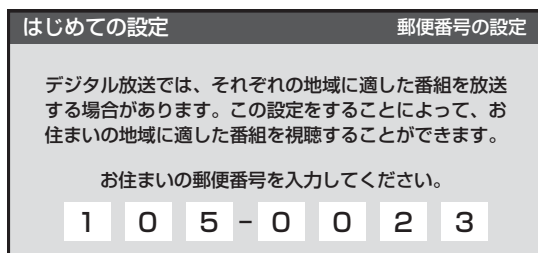
10 お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10 (0)で入力し、決定を押す

- 間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。

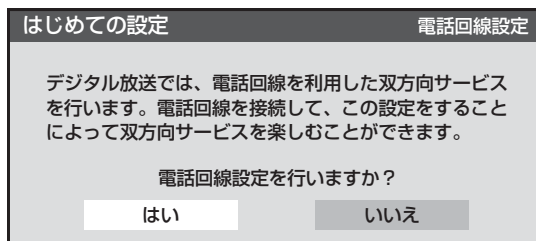
はじめての設定　郵便番号の設定

デジタル放送では、それぞれの地域に適した番組を放送する場合があります。この設定をすることによって、お住まいの地域に適した番組を視聴することができます。

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 0 5 - 0 0 2 3

電話回線設定

- 「電話回線の接続」27をした場合は、以下の手順で電話回線の設定をします。

11 画面の説明を読んで、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

電話回線の設定をしない場合

❶ ◀･▶で「いいえ」を選び、決定を押して手順16に進む

12 外線発信番号の有無によって以下をする

- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際に、電話番号の前に0や＃などを押すことがあります。これを外線発信番号といいます。

外線発信番号が必要な場合

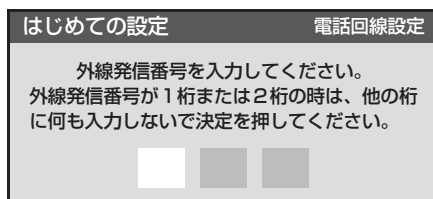
❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押して手順13に進む

外線発信番号が不要な場合

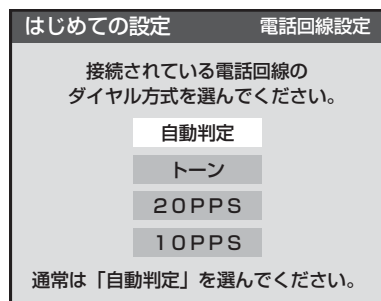
❶ ◀･▶で「いいえ」を選び、決定を押して手順14に進む

13 外線発信番号を入力して、決定を押す

- 1 ～ 10 (0)、※11 (＊)、※12 (＃)で入力します。（左詰めで入力してください）
- 最大3ケタまでの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、◀で前のケタに戻り、入力し直します。
- 1ケタ、または2ケタの設定をする場合は、左詰めで入力し、他のケタには何も入力しないで決定を押します。

※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。

- データ放送の視聴中に郵便番号の設定を変更した場合、設定を有効にするには設定終了後にデータ放送を選局し直してください。
- 郵便番号入力で、上3ケタを入力して決定を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。

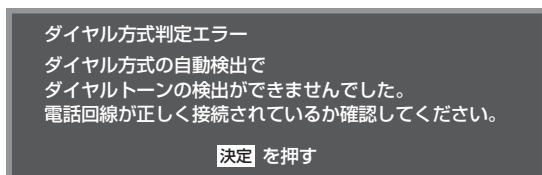
14 ▲·▼で電話回線のダイヤル方式を選び、決定を押す

● 通常は「自動判定」を選びます。自動判定以外を選んだ場合は、手順**16**に進みます。

■「自動判定」を選んだ場合

● 「判定中」の画面が表示されます。
● 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
● 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。次は手順**15**に進みます。

■ 自動判定中に「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

● 下図のメッセージの場合は、電話回線の接続 27 を確認してから、もう一度手順**14**を行ってください。

ダイヤル方式判定エラー
ダイヤル方式の自動検出で
ダイヤルトーンの検出ができませんでした。
電話回線が正しく接続されているか確認してください。
決定 を押す

● 電話回線の種類などによっては、自動判定ができない場合があります。自動判定ができない場合は、決定を押して手順**14**の画面にもどり、使用している電話回線のダイヤル方式(トーン、20PPS、10PPS)を選んで決定を押し、手順**16**に進みます。
● ダイヤル方式が不明の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。

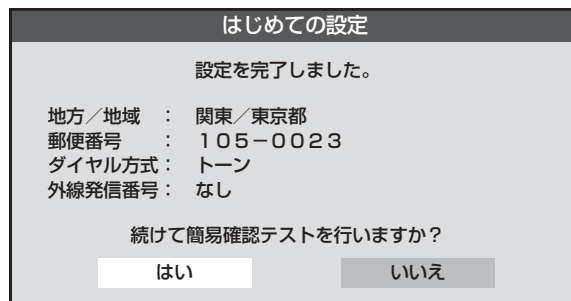
■ 自動判定が終了しない場合

● 3分以上たっても終了しない場合は、戻るを押して自動判定を中止し、電話回線と正しく接続されているか確認してください。27

15 判定結果を確認して、決定を押す

16 設定内容を確認する

● 設定内容を変更する場合は、戻るを押してください。戻るを押すたびに、「はじめての設定」の各項目の最初の画面に戻ります。

はじめての設定
設定を完了しました。
地方／地域 ： 関東／東京都
郵便番号 ： 105−0023
ダイヤル方式： トーン
外線発信番号： なし
続けて簡易確認テストを行いますか？
はい　いいえ

設定内容によって表示は異なります。

■ 簡易確認テストをする場合

● 手順**17**に進みます。

■ 簡易確認テストをしない場合

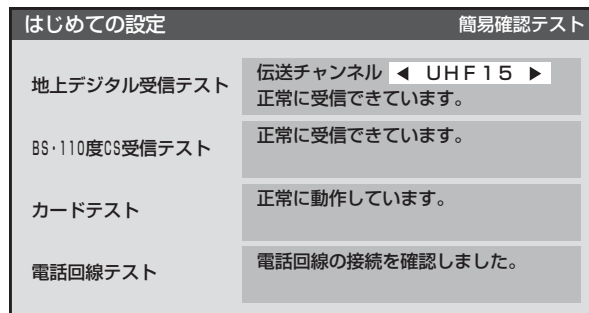
❶ ◀·▶で「いいえ」を選び、決定を押す
❷ 終了を押して、メニューを消す
● これで「はじめての設定」は終了です。

簡易確認テスト

17 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● 簡易確認テストが始まります。
● 受信テストは、BS→110度CS→地上デジタルの順に行われます。

はじめての設定　簡易確認テスト

地上デジタル受信テスト	伝送チャンネル ◀ UHF15 ▶ 正常に受信できています。
BS·110度CS受信テスト	正常に受信できています。
カードテスト	正常に動作しています。
電話回線テスト	電話回線の接続を確認しました。

■「地上デジタル受信テスト」の伝送チャンネルを切り換えるには

❶ ◀·▶で伝送チャンネルを選ぶ
● 受信テストが始まり、結果が表示されます。
❷ 他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順❶と同じ操作をする
※ お住まいの地域の地上デジタル放送で使用されている伝送チャンネルがわからない場合は、「地上デジタル受信テスト」を省略して、実際の放送が視聴できるか確認してください。

● 戻るを押すと、テストを中止して前の画面に戻ることができます。
● **テスト結果については、次ページをご覧ください。**

設置と基本の接続・設定

次のページにつづく

はじめての設定をする つづき

18 簡易確認テストが終了したら、(決定)を押す

- これで「はじめての設定」は終了です。
- (終了) を押して、メニューを消します。

簡易確認テスト結果について

テスト項目	テスト結果の表示	内容または対処のしかた
地上デジタル受信テスト [地上デジタル放送が受信できることをテストします。]	「正常に受信できています。」	――――
	「正しく受信できません。」	● アンテナの接続 24 と方向調整 30 を確認してください。
BS・110度CS受信テスト [BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。]	「正常に受信できています。」	――――
	「正しく受信できません。」 または「BS(110度CS)は受信できますが110度CS(BS)が受信できません。」	● アンテナの接続 26 と設定・調整 31 を確認してください。
カードテスト [本機で使えるB-CASカードかどうかテストします。]	「正常に動作しています。」	――――
	「B-CASカードを正しく挿入してください。」	● B-CASカードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」	
	「このB-CASカードはご使用になれません。」	● B-CASカードを確かめてください。 ● B-CASカードを交換してください。 ● カードに記載のB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
	「B-CASカードが故障しています。」	
電話回線テスト [電話回線が正しくつながることをテストします。]	「電話回線の接続を確認しました。」	――――
	「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」	● 電話回線が正しく接続されているか確認し、「電話回線設定」63 、64 で設定状態を再確認してください。
	「電話回線の接続を確認できませんでした。」	● ダイヤル方式の設定が正しくないことが考えられます。なお、ターミナルアダプターを使用している場合は、電話回線テストはできません。
	「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」	● 外線発信後の待ち時間 63 を数値で設定している場合は、電話回線テストはできません。この場合に電話回線の確認をするには、「電話回線テスト」の「センター接続テスト」64 をしてください。

「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」53 をしても地上アナログ放送を正しく受信できない場合

- アンテナの種類(チャンネル1～12はVHF、13～62はUHF)や向きが、設定した地域・都市名の条件に合っていることを確認してください。
- 複数の地域・都市名が隣接する地域にお住まいの場合は、地域・都市名を変えて設定すれば受信状態が改善されることがあります。

例：お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜・川崎」または「平塚・茅ケ崎」など。

このような場合は、次のようにして設定します。

❶ 近隣の別の地域・都市にアンテナの種類や向きを合わせる

- お買い上げの販売店にご相談ください。

❷「自動設定」の「地上アナログ放送の場合」53 の右側手順1～4の操作をする

❸ 手順5(54 上)で、アンテナを向けた地域・都市名を選び、(決定)を押す

左記をしても地上アナログ放送の一部のチャンネルが正しく受信できない場合

❶「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」56 の手順1～2の操作をする

❷ 手順3で、該当する「リモコンボタン」を選び、手順4の❶でほかに受信できる「チャンネル」を選んで、(決定)を押す

例：地域・都市名を「横浜・川崎」に設定した場合で、リモコンボタン7に割り当てられている「テレビ神奈川」「42CH」だけが正しく受信できないときは、隣接地域の「48CH」(横浜みなと)や「46CH」(小田原)などに変えてみて、正しく受信できるところを探します。

手動設定	地上アナログ
リモコンボタン	7
チャンネル	◀ 48 ▶
表示	地アナ42
放送局	TVKテレビ
受信地域	―――

データ放送用メモリーの割当て

● 33 の手順8や、「初期スキャン」54 の手順4などで、データ放送用メモリーの割当画面が表示されたときには、以下の手順で設定します。

■ 個人の情報とデータ放送用メモリーの割当てについて

● 地上デジタル放送では、放送局ごとに視聴者個人の情報（たとえば、視聴ポイント数など）を利用したサービスが行われる場合があり、本機はその情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリーに記憶しています。
通常、メモリーは足りていますが、たとえば、引越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリーの数を超えてしまうことがあります。
その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリーの割当画面（下の手順1の画面）が表示されますので、以下の操作でメモリーを割り当てる放送局を設定してください。
メモリーを割り当てなかった放送局については、個人の情報がすべて消去されますのでご注意ください。

1 メモリーを割り当てる放送局を▲･▼で選び、決定を押す

● 選んだ放送局にチェックマーク「✓」がつきます。
もう一度決定を押すと、指定が取り消されます。
● リモコンの 1 ～ 12 に設定されている放送局（放送局名表示の左側に1 ～ 12の数字が表示されています）については、メモリーが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。
● **このあと、手順2 ～ 4の操作をすると、メモリー割当ての指定をしなかった放送局の個人の情報はすべて消去されます。
消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。**

設定の場面によって名称が変わります。

初期スキャン

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を９つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
▲ ☑１１	テレビ埼玉	○	あり
☑１２	テレビ東京	○	あり
□－－	－－－	○	あり
□－－	－－－	○	あり
▼ □－－	－－－	○	あり

選択した放送局の数：12

2 手順1を繰り返し、九つの指定をする

● 1 ～ 12 については自動的に設定されます。それらを除いた九つを指定します。

3 ▶を押す

● 手順4の画面になります。（確認メッセージが表示されます）
● 九つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。
決定を押したあと、手順1 ～ 2の操作で九つの指定をしてください。

4 ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

● 指定した放送局についてデータ放送用メモリーが割り当てられ、このページの設定をする前の場面に自動的に戻ります。
指定以外の放送局の個人の情報はすべて消去されます。

初期スキャン

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
▲ 5	ＴＯＫＹＯ　ＭＸ	○	あり
6	ＴＢＳ	○	あり
▼ 7	ＴＶＫテレビ	○	あり

メモリーを割り当てる放送局は上記でよろしいですか？

はい　いいえ

メモリーを割り当てなかった放送局に関するデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻すことができませんのでご注意ください。

5 このページの設定をする前の操作を続ける

● 「はじめての設定」の中の「初期スキャン」の場合
34 の手順9へ

● 「初期スキャン」の場合
「初期スキャン」54 の手順5へ

● 「再スキャン」の場合
「再スキャン」55 の手順2または手順3へ

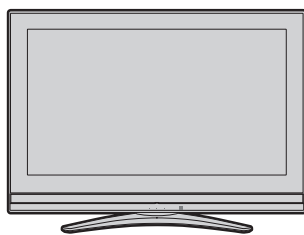
設置と基本の接続・設定

● 個人の情報を消去するには、「すべての初期化」をしてください。71

本機に接続できる外部機器一覧

● 本機に接続できるおもな外部機器は以下のとおりです。接続や設定のしかたはそれぞれの参照ページをご覧ください。

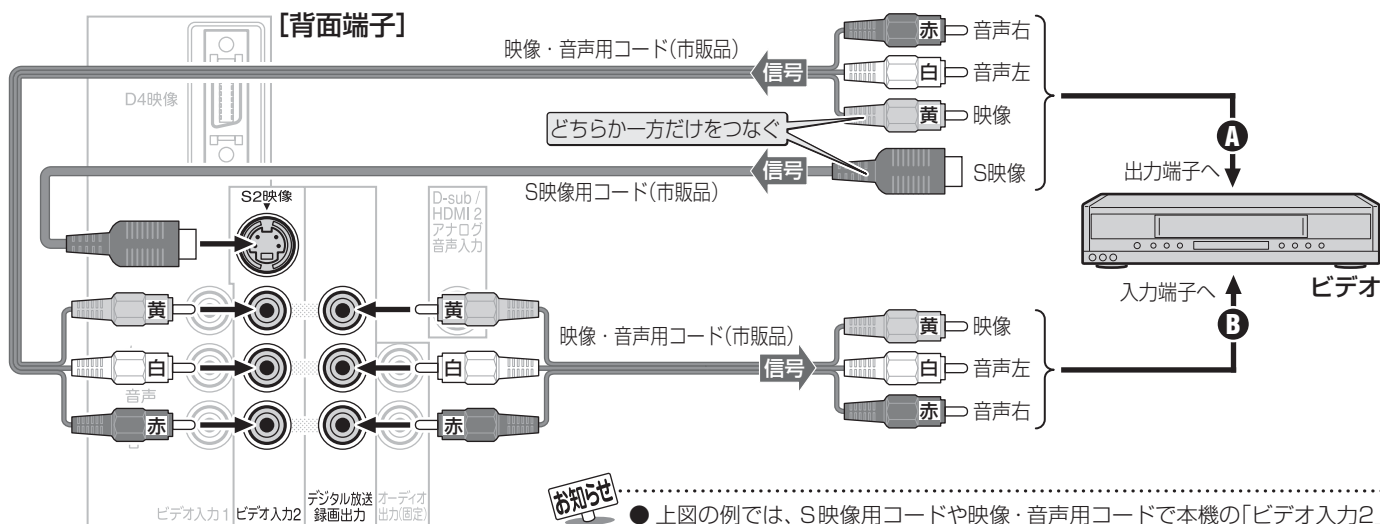
● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
● 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
● 録画または録音したものは個人的に楽しむほかは、著作権法によって権利者に無断で使用することはできません。
● DVDプレーヤーやデジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオやAVアンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合がありますので、HDMI連動機能対応機器を接続する場合(44)を除いて直接本機につないでください。

テレビ(本機)

接続できる外部機器	参照ページ
ビデオ	接続 39 設定 52
DVDプレーヤー	接続 39 設定 52
東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)	接続 40、42 設定 41、43、52
HDMI端子付機器	接続 44、45 設定 46〜48、52
ステレオ	接続 49 設定 50
ゲーム機	接続 51 設定 52
パソコン(PC)	接続 51 設定 47、52

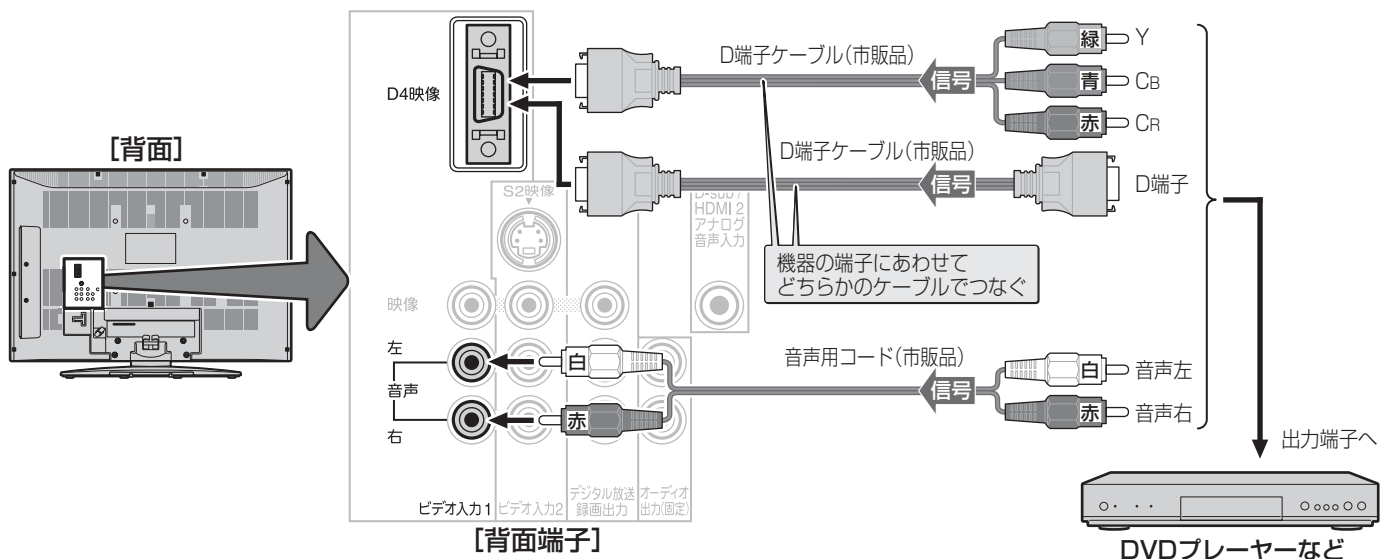
● 外部機器を接続するためのコードやケーブルは本機に付属していません。接続する機器や設置条件に合わせて、市販の適切なものを別途お買い求めください。
● 本機のビデオ入力1のD4映像入力端子と映像入力端子の両方につないだ場合は、D4映像入力端子が選択されます。
● 本機のビデオ入力2、ビデオ入力3のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだ場合は、S2映像入力端子が選択されます。(26C3500にはビデオ入力3のS2映像入力端子はありません)
● 接続機器の音声出力がモノラルのときは、市販のステレオ/モノラル変換コードをご使用ください。

ビデオやDVDプレーヤーをつなぐ

ビデオをつなぐ

● ビデオの再生映像を本機で見るには、Ⓐの接続をします。
● 本機で受信したデジタル放送をビデオで録画するには、Ⓑの接続もします。
● DVDプレーヤーやデジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオやAVアンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合がありますので、直接本機につないでください。

お知らせ
● 上図の例では、S映像用コードや映像・音声用コードで本機の「ビデオ入力2」につないでいますが、D端子付きの機種では、D端子ケーブルと音声用コードで「ビデオ入力1」につなぐこともできます。
● デジタル放送録画出力端子からは、本機からの録画をしているときにだけ、映像・音声の信号が出力されます。
● 自動録画機能(映像信号の入力を検出して自動録画をする機能)のあるビデオの場合には、本機の操作で録画することができます。
● 自動録画機能のないビデオの場合には、本機の操作のほかにビデオ側でも録画の操作や録画予約の設定をしてください。
● 録画や録画予約については、「録画・予約をする」(操作編 25ページ)をご覧ください。

DVD プレーヤーをつなぐ

● DVDプレーヤーやビデオなどで、D端子やコンポーネント映像(Y、C_B、C_R)出力端子のある機器は、下図のようにD端子ケーブルと音声用コードで本機の「ビデオ入力1」につなぎます。
● D端子やコンポーネント映像出力端子がない場合は、映像・音声用コードでつなぎます。S映像出力端子がある場合は、S映像用コードと音声用コードで「ビデオ入力2」につなぐこともできます。
● DVDプレーヤーやデジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオやAVアンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合がありますので、直接本機につないでください。

● ビデオ入力1のD4映像入力端子は、コンポーネント映像信号の525i(480i)、525p(480p)、750p(720p)、1125i(1080i)に対応しています。DVDプレーヤーやビデオなどのほかに、これらのフォーマットの映像信号を出力する機器をつなぐことができます。

外部機器の接続と設定

東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)をつなぐ

● 本機と東芝RDシリーズ(東芝製HDD&DVDビデオレコーダー)を使って「テレビdeナビ予約」(連動予約)をする場合のつなぎかたです。

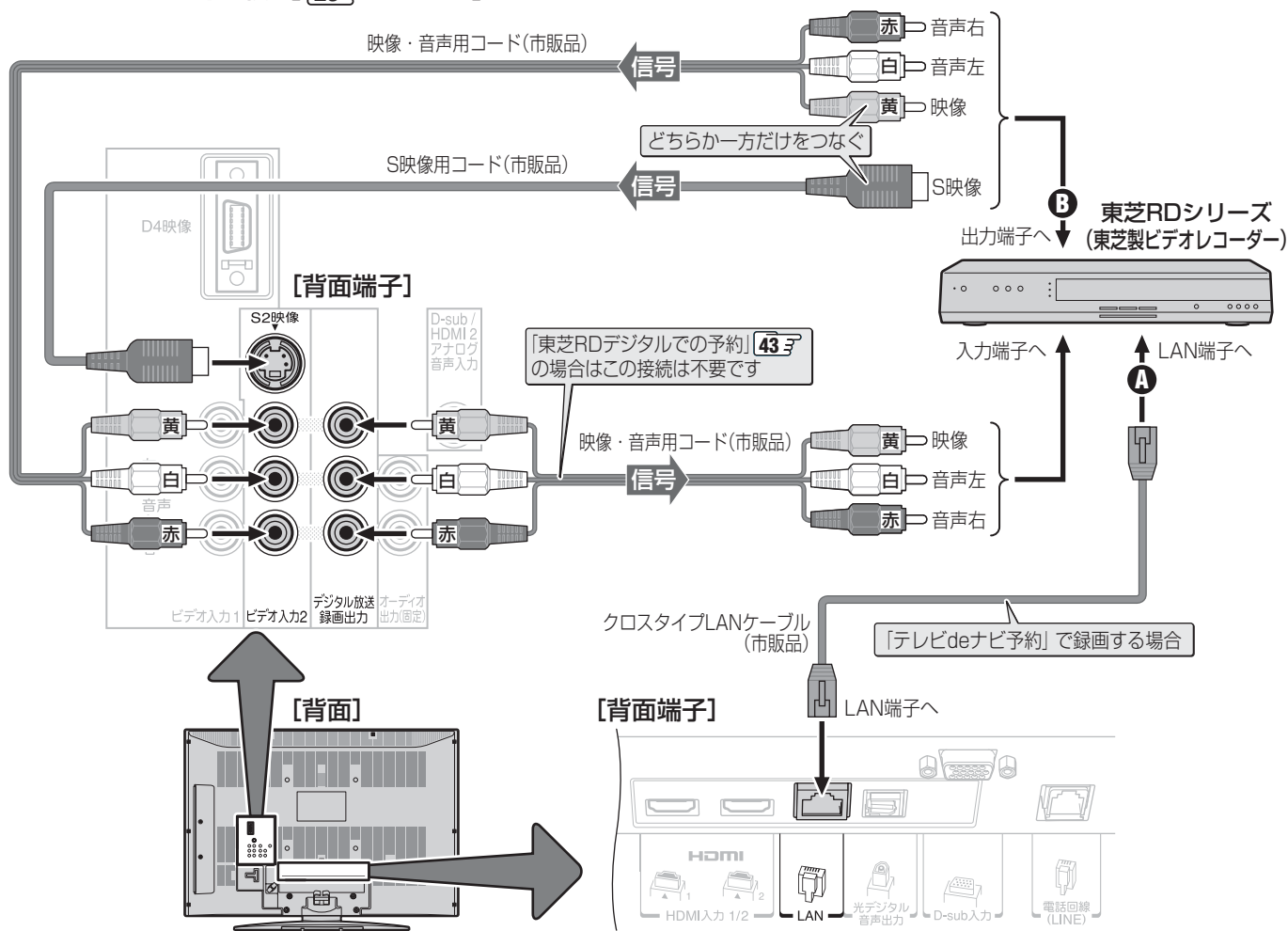
直接つなぐ

※ 本機と東芝RDシリーズのLAN端子を直接つなぐ場合の接続方法です。
(「LAN端子の接続」28 をしている場合や、東芝RDシリーズを複数台つなぐ場合は、42 をご覧ください)

● LANケーブルⒶの接続をすることで、本機の「録画・予約をする」(操作編 25)での予約内容が東芝RDシリーズに設定されます。本書や別冊「操作編」では、この機能を「テレビdeナビ予約」と記載しています。「テレビdeナビ予約」には、「東芝RDアナログでの予約」と「東芝RDデジタルでの予約」の二つの種類があります。(「テレビdeナビ予約について」43 をご覧ください)
● 下図の例(Ⓑ)では、S映像用コードや映像・音声用コードで本機の「ビデオ入力2」につないでいますが、機種によっては以下の接続もできます。
- D端子付の機種の場合 … D端子ケーブルと音声用コードで本機の「ビデオ入力1」につなぐことができます。39
- HDMI端子付の機種の場合 … HDMIケーブルで本機のHDMI入力端子につなぐことができます。44
- HDMI連動機能対応(44)の機種の場合 … 以下の図のすべての接続が不要になり、HDMIケーブルでつなぐだけです。

● **接続後は次ページの設定をしてください。**

● LANケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。本機と東芝RDシリーズを直接つなぐ場合には、クロスケーブルをご使用ください。
● 「LAN端子の接続」28 の「ご注意」もお読みください。

映像・音声用コード(市販品)
信号
赤 音声右
白 音声左
黄 映像
どちらか一方だけをつなぐ
S映像用コード(市販品)
S映像
Ⓑ 出力端子へ
東芝RDシリーズ
(東芝製ビデオレコーダー)
D4映像
[背面端子]
S2映像
D-sub / HDMI 2 アナログ音声入力
「東芝RDデジタルでの予約」43 の場合はこの接続は不要です
入力端子へ
LAN端子へ
Ⓐ
映像・音声用コード(市販品)
黄 映像
白 音声左
赤 音声右
音声
ビデオ入力1 ビデオ入力2 デジタル放送録画出力 オーディオ出力(固定)
クロスタイプLANケーブル(市販品)
「テレビdeナビ予約」で録画する場合
[背面]
[背面端子]
LAN端子へ
HDMI入力 1/2
LAN
光デジタル音声出力
D-sub入力
電話回線(LINE)

● 本機の「テレビdeナビ予約」で録画予約ができるビデオレコーダー(東芝RDシリーズ) −2007年8月現在−
形名:RD-X6、RD-XD71、RD-XD91、RD-XV81、RD-XD72D、RD-XD92D、RD-T1、RD-A1、RD-E300、RD-A300、RD-A600
※ RD-A300、RD-A600はHDMI連動機能(44)にバージョンアップで対応予定の機種です。
※ 以下の機種は「東芝RDアナログでの予約」のみができます。
形名:RD-XS24、RD-X3、RD-XS31、RD-XS34、RD-XS36、RD-XS37、RD-XS38、RD-X4、RD-X4EX、RD-XS40、RD-XS41、RD-XS43、RD-XS46、RD-X5、RD-XS53、RD-XS57、RD-XV34、RD-XV44、RD-H1、RD-H2、RD-XS48
● デジタル放送録画出力端子からは、本機からの録画をしているときにだけ、映像・音声の信号が出力されます。

直接つなぐ場合の設定をする

● 前ページの接続をした場合の設定です。本機と東芝RDシリーズを直接クロスタイプLANケーブルで接続して、「テレビdeナビ予約」の機能を使うための設定をします。東芝RDシリーズと本機の電源を入れて、以下の設定をしてください。

東芝RDシリーズの「ネットワーク設定」（または「イーサネット設定」）をする

● この手順は、東芝RDシリーズ側の設定です。
東芝RDシリーズの取扱説明書を参照して、以下の設定をしてください。

❶「ネットワーク設定」（または「イーサネット設定」）画面にする

❷以下を設定して保存する

項　目	設定内容
本体名	※ 設定内容を確認し、メモする メモした内容は、右の「テレビdeナビ設定」で使います。
本体ユーザー名	
本体パスワード	
本体ポート番号	
DHCP	使わない
IPアドレス	192. 168. 1. 15
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 1. 1
DNSサーバー	192. 168. 1. 1

本機の「LAN端子設定」をする

1 「LAN端子設定」65～66 を以下のように設定する

●「IPアドレス設定」

項　目	設定内容
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	192. 168. 1. 20
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 1. 1

●「DNS設定」

項　目	設定内容
DNSアドレス自動取得	しない
DNSアドレス(プライマリ)	192. 168. 1. 1

※ DNSアドレス(セカンダリ)の入力は不要です。

●「プロキシ設定」：「使用しない」に設定

2 [終了] を押して、メニューを消す

3 本体の電源ボタンで電源を切ってから、電源を入れ直す

● 設定した内容が有効になります。

本機の「テレビdeナビ設定」をする

1 以下の操作で「レグザリンク設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（ふたの中）を押す

❷ ▲･▼で「初期設定」を選び、[決定]を押す

❸ ▲･▼で「レグザリンク設定」を選び、[決定]を押す

2 ▲･▼で「テレビdeナビ設定」を選び、[決定]を押す

3 ▲･▼で設定の種類を選び、[決定]を押す

- 東芝RDアナログ ……… 「東芝RDアナログでの予約」用の設定をする場合に選びます。
- 東芝RDデジタル1～3… 「東芝RDデジタルでの予約」用の設定をする場合に、三つの中のどれかを選びます。

※「東芝RDアナログでの予約」と「東芝RDデジタルでの予約」については、「テレビdeナビ予約について」43をご覧ください。

4 設定する項目を▲･▼で選び、[決定]を押す

● 各項目を下表に従って設定してください。

設定項目	説明、および操作手順
RD本体名	●「ポート設定」以外の項目では文字入力画面になります。文字入力のしかたは、操作編の 23 をご覧ください。 ① 左上の手順❷でメモした、東芝RDシリーズの本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、本体ポート番号を入力する ② [決定]を押す
ユーザー名	
パスワード	
ポート設定	
連動ライン入力番号 ※	① 本機を接続した東芝RDシリーズのライン入力を◀･▶で選び、[決定]を押す

※「東芝RDアナログ」の場合に設定します。

5 [終了] を押して、メニューを消す

6 本体の電源ボタンで電源を切ってから、電源を入れ直す

● 設定した内容が有効になります。

東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)をつなぐ つづき

ルーターを通してつなぐ

※「LAN端子の接続」28 をしている場合のつなぎかたです。

● LANケーブルⒶの接続をすることで、本機の「録画・予約をする」(操作編 25)での予約内容が東芝RDシリーズに設定されます。本書や別冊「操作編」では、この機能を「テレビdeナビ予約」と記載しています。「テレビdeナビ予約」には、「東芝RDアナログでの予約」と「東芝RDデジタルでの予約」の二つの種類があります。(次ページの「テレビdeナビ予約について」をご覧ください)

● 下図の例(Ⓑ)では、S映像用コードや映像・音声用コードで本機の「ビデオ入力2」につないでいますが、機種によっては以下の接続もできます。
- D端子付きの機種の場合 … D端子ケーブルと音声用コードで本機の「ビデオ入力1」につなぐことができます。 39
- HDMI端子付きの機種の場合 … HDMIケーブルで本機のHDMI入力端子につなぐことができます。 44
- HDMI連動機能対応(44)の機種の場合 … 以下の図のすべての接続が不要になり、HDMIケーブルでつなぐだけです。

● 「東芝RDアナログでの予約」用として1台、「東芝RDデジタルでの予約」用として最大3台の東芝RDシリーズをつなぐことができます。(複数台の東芝RDシリーズをつなぐ場合も、下図と同じようにルーターのLAN端子、本機のビデオ入力端子につないでください)

● **接続後は次ページの設定をしてください。**

● LANケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。ルーターを通して本機と東芝RDシリーズをつなぐ場合には、ストレートケーブルをご使用ください。

● 「LAN端子の接続」28 の「ご注意」と、「LAN端子についてのお知らせとお願い」29 もお読みください。

映像・音声用コード(市販品)
信号
赤 音声右
白 音声左
黄 映像
どちらか一方だけをつなぐ
S映像用コード(市販品)
S映像
Ⓑ 東芝RDシリーズ (東芝製ビデオレコーダー)
出力端子へ
[背面端子]
S2映像
「東芝RDデジタルでの予約」43 の場合はこの接続は不要です
入力端子へ
LAN端子へ
Ⓐ
映像・音声用コード(市販品)
ビデオ入力1 ビデオ入力2 デジタル放送録画出力 オーディオ出力(固定)
ストレートタイプ LANケーブル (市販品)
ルーター
※ルーターは、29 に記載のものをご使用ください。
モデムへ
WAN端子へ
LAN端子へ
「テレビdeナビ予約」で録画する場合
ストレートタイプ LANケーブル(市販品)
[背面]
[背面端子]
HDMI入力 1/2 LAN 光デジタル音声出力 D-sub入力 電話回線(LINE)

お知らせ
● 40 の「お知らせ」をご覧ください。

ルーターを通してつなぐ場合の設定をする

- 前ページの接続をした場合の設定です。
- 最初にルーターの電源を入れ、続いて他の機器の電源を入れて、以下の設定をしてください。

ルーターのDHCP機能を確認する

- DHCP機能が「有効」になっていることを確認してください。出荷時点で「有効」の状態に設定されているのが一般的ですが、詳しくはルーターの取扱説明書をご覧ください。

東芝RDシリーズの「ネットワーク設定」(または「イーサネット設定」)をする

- この手順は、東芝RDシリーズ側の設定です。
東芝RDシリーズの取扱説明書を参照して、以下の設定をしてください。

❶「ネットワーク設定」(または「イーサネット設定」)画面にする

❷下表の項目を設定して保存する

※ ルーターを使って東芝RDシリーズを複数台つないでいる場合は、すべての東芝RDシリーズについて設定・保存します。その場合、「本体名」はそれぞれ異なる名称にします。(1文字変えるだけでもかまいません)

項　目	設定内容
本体名	※ 設定内容を確認し、メモする メモした内容は、右の「テレビdeナビ設定」で使います。
本体ユーザー名	
本体パスワード	
本体ポート番号	
DHCP	使う

本機の「LAN端子設定」をする

1 「LAN端子設定」65～66を以下のように設定する

- 「IPアドレス設定」

項　目	設定内容
IPアドレス自動取得	する(お買い上げ時の状態です)

- 「DNS設定」

項　目	設定内容
DNSアドレス自動取得	する(お買い上げ時の状態です)

2 終了を押して、メニューを消す

3 本体の電源ボタンで電源を切ってから、電源を入れ直す

- 設定した内容が有効になります。

本機の「テレビdeナビ設定」をする

- 手順の内容は41と同じです。
- ルーターを使って東芝RDシリーズを複数台つないでいる場合は、すべての東芝RDシリーズについて「テレビdeナビ設定」をしてください。(「東芝RDアナログでの予約」用として1台、「東芝RDデジタルでの予約」用として3台までの設定ができます)
- 1台の東芝RDシリーズを「東芝RDアナログでの予約」と「東芝RDデジタルでの予約」の両方で使用することもできます。その場合は、1台の東芝RDシリーズについて「東芝RDアナログ」と「東芝RDデジタル」の両方の設定をしてください。

「テレビdeナビ予約」について

- 本機(テレビ)で予約すれば、東芝RDシリーズに自動的に予約される機能です。本機で予約設定した情報は、LANケーブルを使って東芝RDシリーズに送られます。
以下の二つの種類があります。

■ **東芝RDアナログでの予約**
本機(テレビ)のデジタル放送録画出力端子からの信号を録画します。
(この場合、ハイビジョンでの録画はできません)

■ **東芝RDデジタルでの予約**
東芝RDシリーズで受信したデジタル放送(テレビ放送のみ)を録画します。
(デジタルチューナーを内蔵した東芝RDシリーズでのみできます)

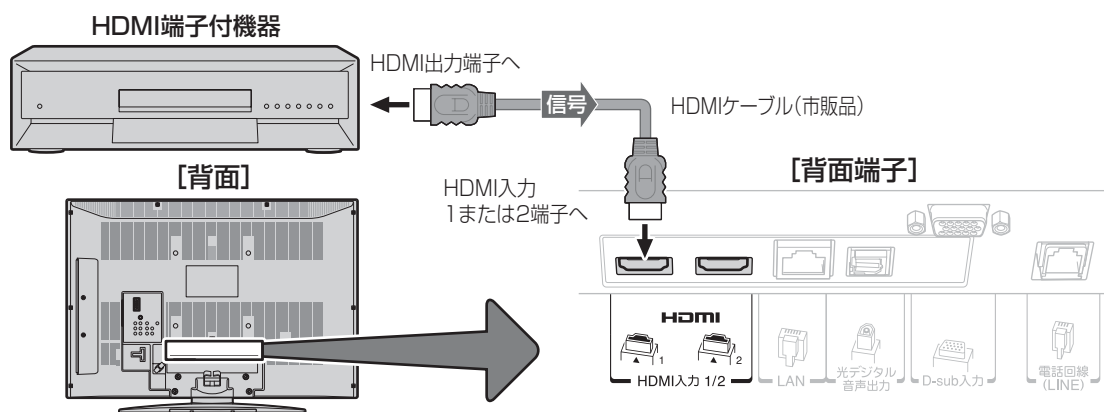
※ HDMI連動機能対応の東芝レコーダーの場合は、「テレビdeナビ予約」とは異なる方法で録画予約をすることができます。接続方法は次ページ、録画予約については「レグザリンクを使う」(操作編 32)をご覧ください。

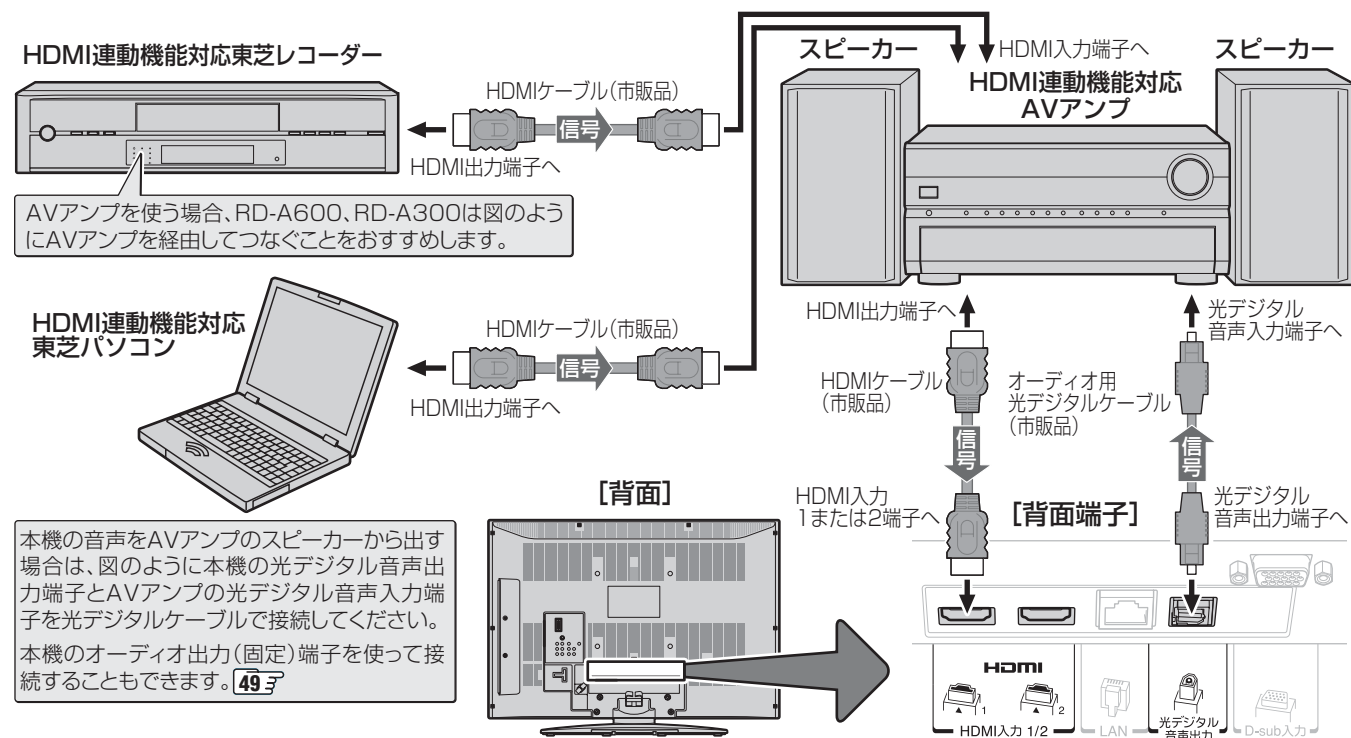
HDMI端子付の機器をつなぐ

● HDMIとは、テレビと接続機器をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス(接続システム)です。
● HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブル(市販品またはHDMI機器の付属品)をご使用ください。
1125p(1080p)の映像信号を入力する場合は、カテゴリ2のHDMIケーブルをご使用ください。(一般のHDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります)

※ **接続後は、必要に応じて 46～48 および 52 の設定をしてください。**

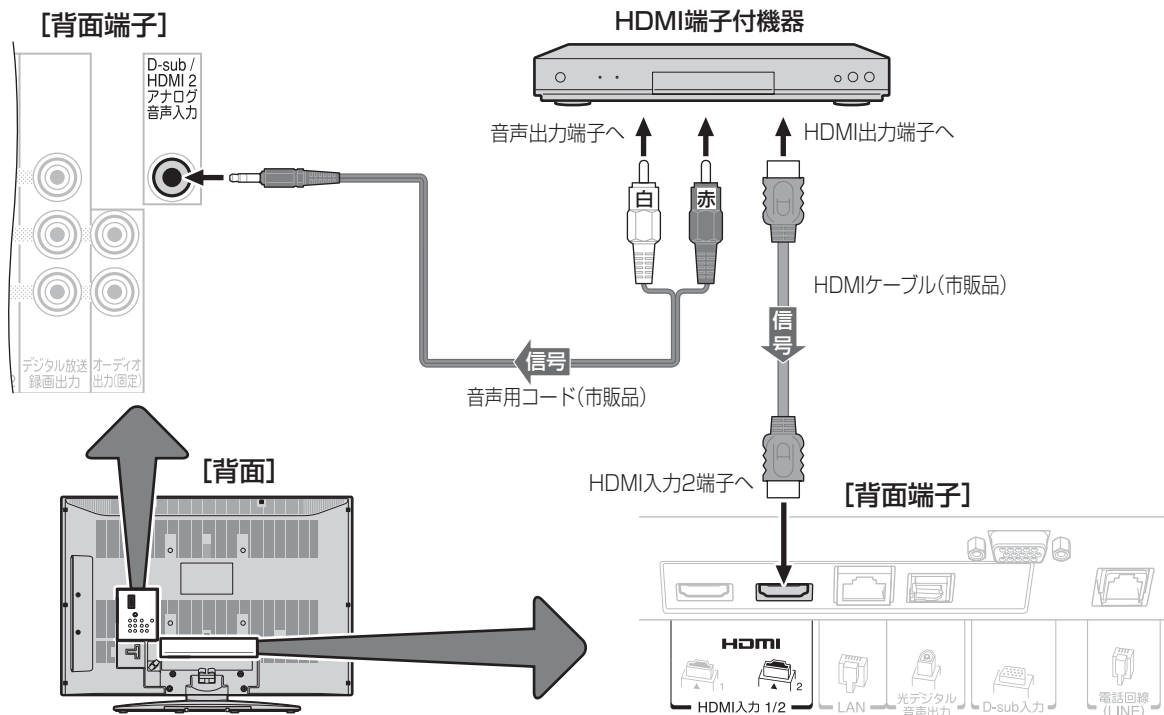
基本的なつなぎかた

● 機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子をHDMIケーブルでつなぎます。

HDMI連動機能対応機器をつなぐ場合

● HDMI連動機能は、接続されたHDMI機器間で制御信号をやり取りすることで、相互に制御ができるようにした機能です。
各種の連動機能 46 を使ったり、本機のリモコンで接続機器の基本操作をしたり、録画機器への録画予約をしたりすることができるようになります。詳しくは、「レグザリンクを使う」(操作編 32)をご覧ください。
● 上記の「基本的なつなぎかた」のほかに、下図の例のように、複数のHDMI入力端子を備えたHDMI連動機能対応のAVアンプなどを経由して、複数のHDMI連動機能対応機器を接続することができます。
本機が認識できる機器の台数は、経由するAVアンプ1台、東芝レコーダーは3台まで、東芝パソコンは1台です。推奨機器については、次ページ下の表をご覧ください。

● HDMI連動機能対応の推奨機器については、次ページのお知らせをご覧ください。

HDMIケーブルだけで音声が出ない機器をつなぐ場合

● 下図のようにHDMIケーブルをHDMI入力2端子につなぎ、D-sub/HDMI2アナログ音声入力端子に音声用コードもつないで、以下の設定をしてください。

- 「D-sub/HDMI2音声入力」47を「HDMI2」に設定します。
- 音声用コードを接続しても音声が出ない場合は、「HDMI2音声入力設定」47を「アナログ」に設定します。

DVI端子付の機器をつなぐ場合

● HDMIケーブルのかわりにHDMI-DVI変換ケーブルを使えば、DVI 端子付の機器をつなぐことができます。

● DVI端子付機器のDVI 端子から音声は出力されません。本機から音声を出したい場合は、上記の「HDMIケーブルだけで音声が出ない機器をつなぐ場合」の図のように本機のHDMI入力2端子とD-sub/HDMI2アナログ音声入力端子につなぎ、以下の設定をしてください。

- 「D-sub/HDMI2音声入力」47を「HDMI2」に設定します。
- 音声用コードを接続しても音声が出ない場合は、「HDMI2音声入力設定」47を「アナログ」に設定します。

● HDMI連動機能対応 推奨機器 −2007年8月現在− ※ 推奨機器以外での動作は保証いたしかねます。

機　器	形　　名	
東芝レコーダー	RD-A600、RD-A300 (どちらもバージョンアップで対応予定です。詳しくはhttp://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/index_j.htmlでご確認ください)	
東芝パソコン	Qosmio G40/97D	
AVアンプ	オンキヨー	TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8
	YAMAHA	YSP-4000

● 本機にはHDMIおよびDVI機器を接続できますが、接続する機器によっては映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
● HDMI入力端子にはDVDプレーヤーなどのAV機器のほか、パソコン(PC)をつなぐこともできます。
● 本機のHDMI端子が対応している映像信号については、「本機で対応しているHDMI入力／ D-sub入力の信号フォーマット」(操作編 68)をご覧ください。
● 接続機器側での出力フォーマット設定が必要になる場合があります。設定方法については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
● 本機のHDMI端子が対応している音声信号
種類：リニアPCM、 サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz

HDMI端子付の機器をつなぐ つづき

HDMI連動設定

● HDMI連動機能対応機器でレグザリンクの機能や各種の連動機能を使う場合は、以下の設定をする必要があります。

1 以下の操作で「レグザリンク設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「レグザリンク設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「HDMI連動設定」を選び、決定を押す

3 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す

● 各項目を表の説明に従って設定してください。

ＨＤＭＩ連動機能	使用する
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
ＰＣ映像連動	使用する
ＡＶアンプ連動	使用しない
優先スピーカー	テレビスピーカー

ＨＤＭＩ連動設定

4 終了を押して、メニューを消す

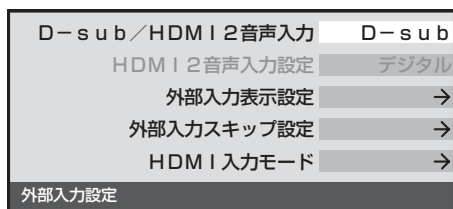
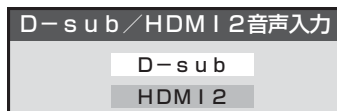
設定項目	説明、および操作手順
HDMI連動機能	レグザリンクや以下の連動機能を使う場合には、▲·▼ で「使用する」を選んで決定を押します。
連動機器→テレビ入力切換	連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。（本機の電源が「入」の場合） この機能を使う場合は、▲·▼ で「連動する」を選んで決定を押します。
連動機器→テレビ電源	連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。 この機能を使う場合は、▲·▼ で「連動する」を選んで決定を押します。 ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
テレビ→連動機器電源オフ	本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります） この機能を使う場合は、▲·▼ で「連動する」を選んで決定を押します。 ※「省エネ設定」（操作編 46）の「無操作自動電源オフ」、「オンエアー無信号オフ」、「外部入力無信号オフ」や、「オフタイマー」（操作編 22）の各機能によって本機の電源が「待機」になった場合も、連動機器の電源が「待機」になります。
PC映像連動	本機に接続した東芝パソコン 44 からの映像を見る場合に、パソコンの画面の形式や映像に応じて、本機が自動的に画面サイズや映像メニューの設定を切り換える機能です。 この機能を使う場合は、▲·▼ で「使用する」を選んで決定を押します。
AVアンプ連動	AVアンプとAVアンプ用のスピーカーを接続している場合に、本機のリモコンで以下のことができます。 • 音声をテレビから出すか、AVアンプから出すかの切換え • 音声をAVアンプから出す場合の音量調整 この機能を使う場合は、▲·▼ で「使用する」を選んで決定を押します。
優先スピーカー	「AVアンプ連動」を「使用する」に設定した場合に、優先するスピーカーを選択することができます。この機能は本機の電源が「入」のときに働きます。 ▲·▼ で以下から選んで決定を押します。 • **テレビスピーカー** 本機のスピーカーから音声が出ます。 • **AVアンプスピーカー** AVアンプの電源が「入」のときは、AVアンプのスピーカーから音声が出ます。 ※本機のヘッドホーン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。

● 「連動機器→テレビ入力切換」、「連動機器→テレビ電源」、「テレビ→連動機器電源オフ」の機能は、東芝レコーダーRD-A600、RD-A300（どちらもバージョンアップ後）では使用できません。

D-sub/HDMI2音声入力の設定

● D-sub/HDMI2アナログ音声入力端子を使用する場合の設定です。HDMI入力2端子につないだ機器 45 で使用するか、D-sub入力端子につないだパソコン 51 で使用するかの設定をします。
※ 設定が正しくないと、入力選択した機器の音声が出なかったり、他の機器の音声が出たりします。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする
❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す

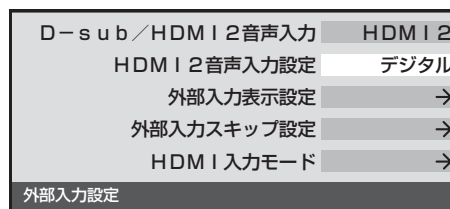
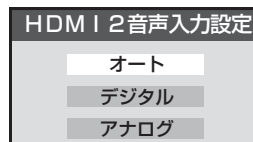
2 ▲·▼で「D-sub/HDMI2音声入力」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で以下の項目から選び、決定を押す

- **D-sub**……D-sub入力端子につないだパソコンの音声入力端子として使いたい場合に選びます。
- **HDMI2**……HDMI入力2端子につないだ機器の音声入力端子として使いたい場合に選びます。

4 終了を押して、メニューを消す

HDMI2音声入力設定

● 「D-sub/HDMI2音声入力」を「HDMI2」に設定した場合は、この設定を変えることができますが、通常は「オート」に設定されていて変える必要はありません。
● 「オート」で、45 に図示したHDMI2アナログ音声入力端子への音声用コードを接続しても音声が出ない場合は、以下の手順で「アナログ」に設定してください。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする
❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「HDMI2音声入力設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で以下の項目から選び、決定を押す

- **オート**………自動切換になります。
- **デジタル**……HDMI入力2端子からの音声が出ます。
- **アナログ**……HDMI2アナログ音声入力端子からの音声が出ます。

4 終了を押して、メニューを消す

外部機器の接続と設定

■ D-sub/HDMI2音声入力の設定について
● 「D-sub」に設定すると、「HDMI2音声入力設定」は「デジタル」に固定されます。
● 「HDMI2」に設定すると、「HDMI2音声入力設定」は「オート」になります。

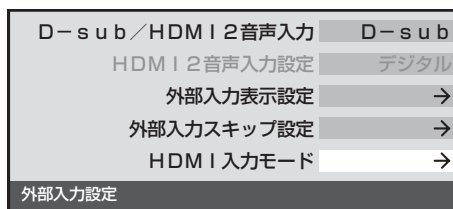
HDMI端子付の機器をつなぐ つづき

「HDMI入力モード」の設定について

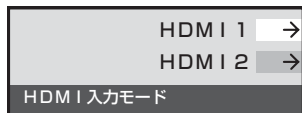
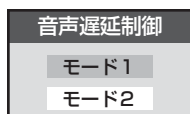
● 接続機器によっては、音声が出ない場合があります。その場合は以下の手順で「モード2」に設定してください。(「モード2」に設定した場合は一部の機能が使えなくなることがあります)
● HDMI入力1、2でそれぞれ設定が記憶されます。正しく動作しない機器が接続されているほうの入力を設定してください。
● 通常はこの設定を変えないでください。(「モード1」の設定でご使用ください)

音声遅延制御の設定

● 「モード2」に設定した場合は、映像と音声が合わないことがあります。

❶ 本機のHDMI入力端子に接続したHDMIケーブルを抜く
❷ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❸ ▲･▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❹ ▲･▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す
❺ ▲･▼で「HDMI入力モード」を選び、決定を押す

❺ 設定する入力(HDMI1またはHDMI2)を▲･▼で選び、決定を押す

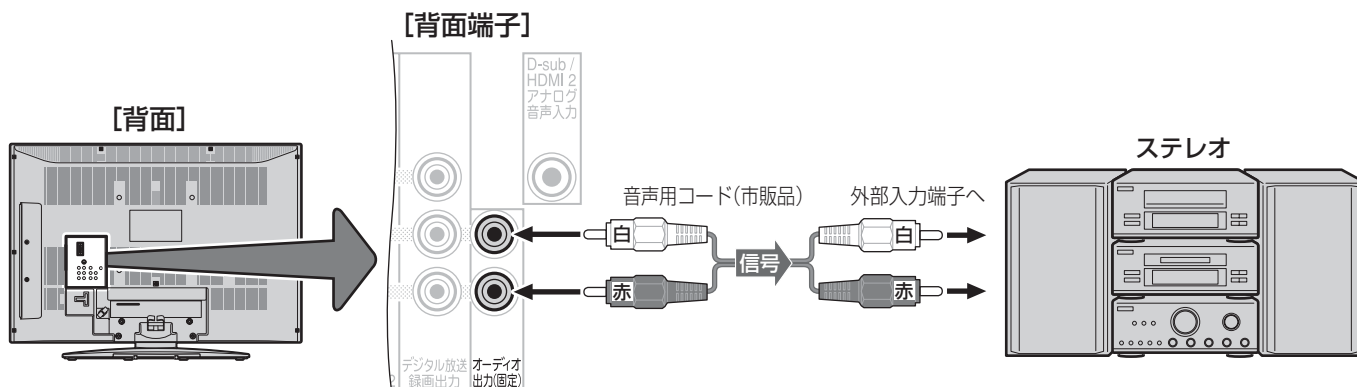
❼ ▲･▼で「音声遅延制御」を選び、決定を押す

❽ 決定を押す

❾ 終了を押してメニューを消し、HDMIケーブルをつなぐ

※ 接続した機器によっては、機器の電源の入れ直しが必要な場合があります。

ステレオにつなぐ

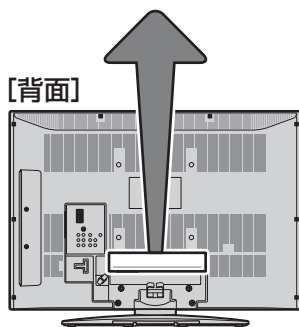
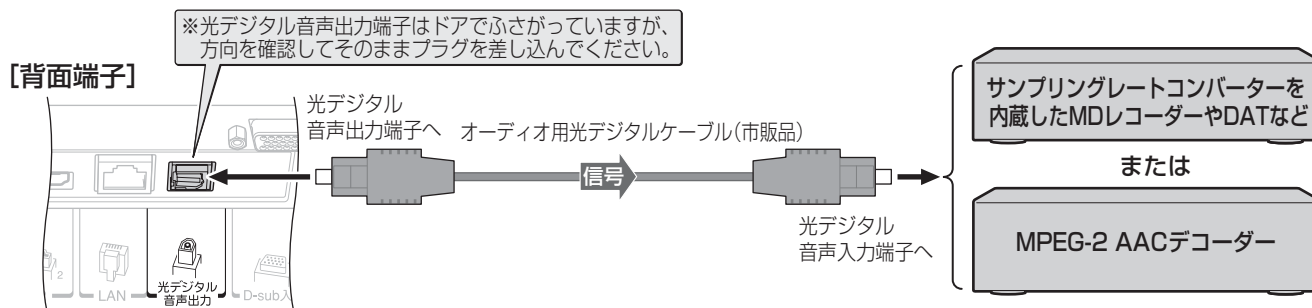
● 本機の音量を最小に調整し、ステレオ機器側で音量を調整してご使用ください。
※ HDMI連動機能対応のAVアンプを接続する場合は 44 をご覧ください。

オーディオ出力(固定)端子を使ってつなぐ場合

光デジタル出力端子を使ってつなぐ場合

■ サンプリングレートコンバーターを内蔵したMDレコーダーやDATにつなぐとき

● MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
● 次ページの「光デジタル音声出力設定」を「PCM」に設定します。

■ MPEG2 AACデコーダーにつなぐとき

● デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダーで楽しむことができます。
● 次ページの「光デジタル音声出力設定」を「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定します。

※ 光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。
接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、 です。

お知らせ

■ 光デジタル音声出力端子について
● 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、「PCM」(リニアPCM)の場合、48kHzまたは32kHzです。
● サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
● 光デジタル音声出力設定が「デジタルスルー」や「サラウンド優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が光デジタル音声出力端子から出力されないことがあります。
● MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
● HDMI入力の選択時に光デジタル音声出力端子から出力される信号を、他の機器に録音することはできません。

ステレオにつなぐ つづき

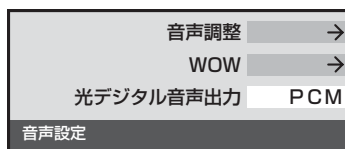
光デジタル音声出力の設定

- 光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。
- お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。
- MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプをつなぐときは、「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定してください。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「光デジタル音声出力」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で信号を選び、決定を押す

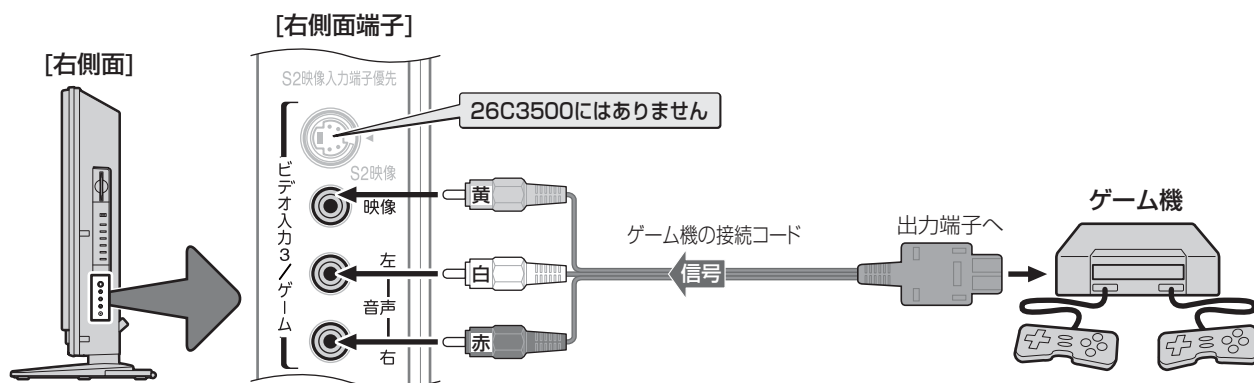
- PCM……………………リニアPCM信号が出力されます。
- デジタルスルー ……MPEG-2 AAC信号の場合、その信号が出力されます。
- サラウンド優先 ……MPEG-2 AAC信号で、サラウンド音声（5.1CHや4.1CHサラウンド音声など）の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニアPCM信号が出力されます。

4 終了を押して、メニューを消す

- クイックを押して、クイックメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。
- 背面の「光デジタル音声出力」からは、テレビのスピーカー音と同じ音が出力されます。ただし、音声調整（低音、高音、バランス）とWOWの効果は得られません。
- 光デジタル音声出力設定が「デジタルスルー」や「サラウンド優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声のときには、データ放送の一部の音声（効果音など）が、光デジタル音声出力端子からは出力されないことがあります。
- 地上アナログ放送の視聴時およびビデオ入力1 ～ 3またはD-sub入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力を選択しているときは、HDMI入力端子からリニアPCMの音声信号が入力されているときだけ、光デジタル音声出力端子からリニアPCM信号が出力されます。（HDMI入力端子にリニアPCM以外の音声信号を入力した場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子から信号は出力されません）

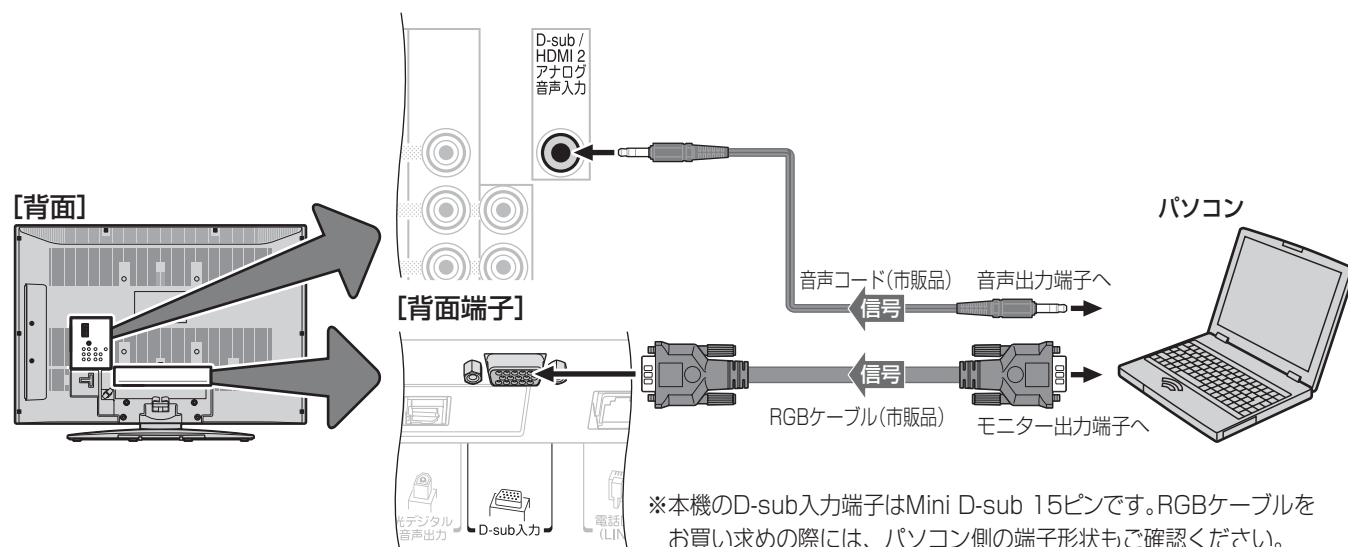
外部機器の接続と設定

ゲーム機をつなぐ

● ゲーム機は、本機右側面のビデオ入力3/ゲーム端子につなぎます。
● ビデオ入力3/ゲームにDVビデオカメラなどをつないで使うときは、入力切換で「ビデオ入力3/ゲーム」を選んでから、「映像設定」(操作編 39)の「映像メニュー」で「ゲーム」以外を選んでください。
● 常にゲーム機以外の機器をつなぐ場合は、次ページの「外部入力表示設定」で「ゲーム」以外に設定してください。
※ テレビ画面に向けて光線銃などを使うゲームは本機では使用できません。(原理上、正しく動作しません)
※ ビデオ入力1～3のどれにでも接続して楽しめます。ビデオ入力3以外につないだ場合は、「映像設定」の「映像メニュー」を「ゲーム」に設定してください。

外部機器の接続と設定

パソコンをつなぐ

● パソコンのモニター出力端子と本機のD-sub入力端子を市販のRGBケーブルでつなげば、パソコンの画像を本機の画面に映すことができます。
● 外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
● パソコンの音声を本機のスピーカーで聞きたい場合は、パソコンの音声出力端子と本機のD-sub/HDMI2アナログ音声入力端子を音声コードでつなぎ、「D-sub/HDMI2音声入力」 47 を「D-sub」に設定します。
※ HDMI連動機能対応のパソコンを接続する場合は、 44 をご覧ください。

※本機のD-sub入力端子はMini D-sub 15ピンです。RGBケーブルをお買い求めの際には、パソコン側の端子形状もご確認ください。

● パソコンから、本機が対応しているフォーマットの信号を入力してください。対応している信号フォーマットや条件などについては、操作編 68 をご覧ください。
● 本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります。
● パソコンによっては本機の画面表示位置がずれたり、映像がちらついたりすることがあります。画面調整メニュー(操作編 43)で調整してご覧ください。
● パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。
● パソコンのDVI出力端子を使ってつなぎたい場合は、 45 をご覧ください。

外部入力設定

外部入力表示設定

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ビデオ、DVDなど)を変更することができます。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「外部入力表示設定」を選び、決定を押す

3 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

4 設定する機器名を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

5 終了を押して、メニューを消す

■外部入力表示をお買い上げ時の状態に戻すには

❶ 上記手順3で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● お買い上げ時の状態(手順3のイラストの設定)に戻ります。

❸ 終了を押して、メニューを消す

外部入力スキップ設定

● 入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする(飛び越す)ことができます。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「外部入力スキップ設定」を選び、決定を押す

3 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに「スキップ」が「する」、「しない」に交互に切り換わります。

外部入力スキップ設定

ビデオ	スキップ
ビデオオート	する
HDMI 1	しない
HDMI 2	しない
D−sub	しない

■「ビデオオート」を選択しているとき

- する……… 入力切換時に、ビデオ入力1〜3の入力端子(映像、D4映像、S2映像)に何もつながっていない入力をスキップします。
- しない…. 入力切換時にスキップしません(ビデオ入力1〜3が順に切り換わります)。

■「ビデオオート」以外を選択しているとき

- する……… 入力切換時にスキップします。
- しない…. 入力切換時にスキップしません。

4 終了を押して、メニューを消す

アンテナ設定

チャンネル設定

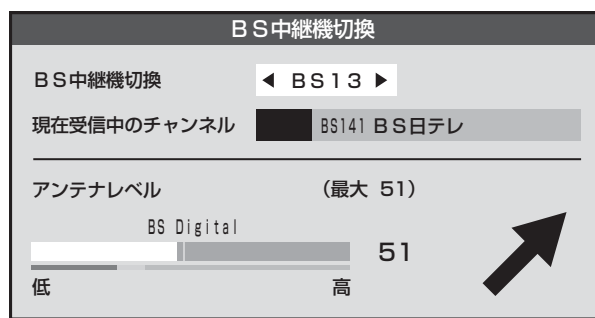
● アンテナ電源供給とアンテナレベルについては 30 ～ 31 をご覧ください。

BS中継器切換／110度CS中継器切換

● 衛星の中継器が故障してすべての放送が受信できなくなってしまったときに、他の中継器に切り換えると、故障した中継器以外の放送が受信できます。通常は切換えの必要はありません。
● そのほかにも、外部機器からの電波の妨害などで一部の中継器が受信できない場合も同様です。

1 以下の操作で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で中継器を切り換え、放送が受信できたら、決定を押す

（例）BS 中継器切換の場合

● 選択できる中継器は
- BSデジタル放送の場合：
  BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15
- 110度CSデジタル放送の場合：
  ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24

※ 中継器は2007年8月現在の状態です。

3 終了を押して、メニューを消す

● 「はじめての設定」 32 が済んでいて、特に変更の必要がない場合は「チャンネル設定」をする必要はありません。
● チャンネル設定には、「自動設定」と「手動設定」 56 があります。

自動設定

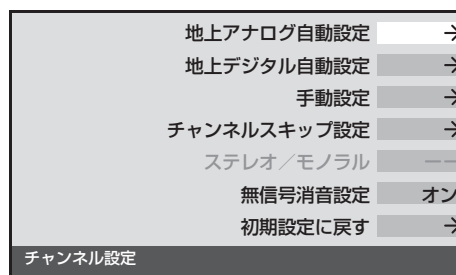
● 「自動設定」では、地上アナログ放送と地上デジタル放送が設定できます。
● BSデジタルチャンネルと、110度CSデジタルチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。（操作編 9 のお知らせをご覧ください）

地上アナログ放送の場合

● テレビをご覧になる地域で放送されているチャンネル（VHF/UHF）を自動で設定することができます。
● お買い上げ時は、リモコンのダイレクト選局ボタン 1 ～ 12 にはVHFの1 ～ 12チャンネルが番号と同じに設定されています。
● 地上アナログ自動設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（ 77 ～ 84 ）の内容で設定されますが、チャンネルが変更になり受信できなくなることがあります。受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」 56 で設定してください。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「地上アナログ自動設定」を選び、決定を押す

3 お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

4 お住まいの都道府県を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

次のページにつづく

■ 地上アナログ放送のチャンネル設定について
● お使いの地域・都市名で地上アナログ自動設定をしても正しく受信できない場合は、 36 をご覧ください。
● ダウンロード（操作編 47 ）によって、本機内に設定している「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（ 77 ～ 84 ）の内容が変わる場合があります。その結果、選択の手順**3** ～ **5**の項目が変わる場合もあります。
● 設定したチャンネルを一覧表示して確認する場合や、受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」 56 で設定してください。
● 地上アナログ放送の番組表を使用する場合で、上の手順**3**、**4**で設定した地域以外のチャンネルを受信する場合は、必要に応じて「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」で、該当するチャンネルの「受信地域」を変更してください。

チャンネル設定 つづき

自動設定 つづき

地上アナログ放送の場合 つづき

5 お住まいの地域・都市を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

- お住まいの地域や都市名が記載されていない場合は、アンテナが向いている近くの地域名を選びます。
- 自動で設定されるチャンネルについては、77～84の一覧表をご覧ください。
- 設定された内容を変更したい場合は「手動設定」56をしてください。

6 を押して、メニューを消す

地上デジタル放送の場合

- 地上デジタル放送の自動設定には、引越しなどで受信地域が変わったときにする「初期スキャン」と、放送チャンネルに変更があったときにする「再スキャン」があります。また、電源待機時に自動的に行う「自動スキャン」もあります。

初期スキャン

- 受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの1～12に放送の運用規定に基づいて設定します。
- 「初期スキャン」をするとこれまでに選局設定した内容は、すべて消去されて、設定し直されますのでご注意ください。ただし、各放送局ごとにお客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数などは消去されません。
- 「はじめての設定」終了後、新たに開局した地上デジタル放送チャンネルを登録する場合や中継局が新設、変更された場合は、次ページの「再スキャン」をしてください。
- 自動設定される内容は「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」（85～86）が目安となります。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❹ ▲･▼で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「初期スキャン」を選び、決定を押す

3 お住まいの地方を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

4 お住まいの都道府県または地域を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

- データ放送用のメモリー割当画面が表示された場合は37をご覧ください。

5 初期スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

設定された内容を確認する場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

❷ 設定内容を確認したら決定を押す

- 設定された内容を変更したい場合は、「初期スキャン」終了後に「手動設定」57をしてください。

設定された内容を確認しない場合

❶ ◀･▶で「いいえ」を選び、決定を押す

6 終了を押して、メニューを消す

- 「はじめての設定」32と「初期スキャン」では、地方･都道府県･地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

再スキャン

- 新たに放送局が開局したりしてチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすることによって、チャンネルを追加設定することができます。
- 「初期スキャン」（33 または 54）をしていないと「再スキャン」はできません。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「再スキャン」を選び、決定を押す

- データ放送用のメモリー割当画面が表示された場合は 37 をご覧ください。
- 再スキャンの結果、放送に変更があった場合は、1～12への設定方法を選ぶ画面が表示されます。
▲·▼でどちらかを選び、決定を押します。
  - **すべて設定し直す** …… 地上デジタル放送のすべての設定をし直します。
  - **現在の設定に追加する** … 1～12の未設定のボタンだけを新たに設定します。

3 再スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

設定された内容を確認する場合

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
❷ 設定内容を確認したら決定を押す

- 設定された内容を変更したい場合は「再スキャン」終了後「手動設定」57 をしてください。

設定された内容を確認しない場合

❶ ◀·▶で「いいえ」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

自動スキャン

- 「自動スキャン」は電源待機時に行われます。
- **「初期スキャン」（33 または 54）をしていないと、自動スキャンは実行されません。**
- 自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合は、本機のチャンネル設定の内容を自動で変更し、「本機に関するお知らせ」（操作編 23）でお知らせします。
- 変更後の受信できるチャンネルについては番組表（操作編 13）でご確認ください。（枝番（操作編 9）だけが変更されている場合もあります）
- お買い上げ時は「自動スキャンする」に設定されています。チャンネル設定した内容を自動で変更させたくない場合は、「自動スキャンしない」に設定してください。
- 自動スキャンは電源待機時に不定期に行われます。このため、「自動スキャンする」に設定していても、本機のチャンネル設定が最新になっていない場合があります。

※ 放送局の変更があった場合（もよりの放送局などから、そのような情報を得た場合）は、再スキャンをすることをお勧めします。また、録画予約などをしていた場合は、予約チャンネルをご確認ください。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「自動スキャン」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定を押す

- 「自動スキャンしない」を選ぶと、「再スキャン」をしないかぎり、新しいチャンネルや変更になったチャンネルが受信できません。

4 終了を押して、メニューを消す

■ **再スキャンの動作について**

- 前ページの「初期スキャン」の場合は、すでに地上ダイレクト選局ボタン1～12に設定されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を設定し直します。
再スキャンでは次のようになります。
  - すでに放送局が登録されている地上ダイレクト選局ボタンについて、再スキャンによって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます（手順2の操作）。（すべてのボタンについてまとめて選択します。個別の選択はできません。個別に設定を変えたい場合は、再スキャン終了後に「手動設定」57 で行ってください）
  - 新たな放送局が見つからなかった地上ダイレクト選局ボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 再スキャン後の各チャンネルの構成については、番組表で確認できます。（操作編 13）
- 再スキャンをしても、枝番（操作編 9）については、通常は変更されません。
- 電波が弱い場合には、再スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できないことがあります。

チャンネル設定 つづき

手動設定

● リモコンのボタンに設定されている内容を変更したいときに手動設定をします。

地上アナログ放送(VHF／UHF／CATV C13～C63)の場合

● 以下の場合にも手動設定をしてください。
- 自動設定で正しく受信できないとき
- 設定されたチャンネル表示を変えたいとき
- 地上アナログ放送用の番組表の地域設定を変更するとき
- CATVのチャンネルを[1]～[12]に設定したいとき

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❹ ▲･▼で「手動設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「地上アナログ」を選び、決定を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン([1]～[12])の番号を▲･▼で選び、決定を押す

手動設定　地上アナログ

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	地アナ1	NHK総合
2	2	地アナ2	
3	3	地アナ3	NHK教育
4	4	地アナ4	日本テレビ
5	16	地アナ16	放送大学
▼ 6	6	地アナ6	TBS

リモコンボタンの番号
※▼を押し続ければ、7～12が表示されます。

4 次の❶～❹の手順で、それぞれの項目を設定する

手動設定　地上アナログ

項目	設定
リモコンボタン	5
❶ チャンネル	◀ 14 ▶
❷ 表示	地アナ5
❸ 放送局	TOKYO MX
❹ 受信地域	23区

❶ ▲･▼で「チャンネル」を選び、◀･▶で地上アナログ放送のチャンネルを選ぶ
● ◀･▶を押すと次のように切り換わります。
（◀･▶を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）

地上アナログ放送(1～62) ⟷ CATV(C13～C63)

● 色が消えたり、映像が不安定になったりしたときに、«･»で微調整するとよくなる場合があります。
※ 調整前の状態に戻すには◀･▶でチャンネルを選び直してください。

❷ ▲･▼で「表示」を選び、画面に表示させるチャンネル番号を◀･▶で選ぶ
● ◀･▶を押すと次のように切り換わります。

地上アナログ放送(1～62) ⟷ CATV(C13～C63)
BSアナログ放送(BS1、BS3、…BS15)(CATVで放送されている場合)

❸ ▲･▼で「放送局」を選び、◀･▶で放送局名を選ぶ
●「表示しない」を選ぶこともできます。

❹ ▲･▼で「受信地域」を選び、◀･▶でアンテナを向けている放送局の地域を選ぶ
※ これは地上アナログ放送の番組表を使うための設定です。

5 決定を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順**3**～**5**を繰り返します。

6 終了を押して、メニューを消す

●「チャンネル設定」をした地上アナログチャンネルは、「チャンネルスキップ設定」60が自動的に「受信」に設定されます。
● 手動設定をしたあとで、「地上アナログ自動設定」53や「はじめての設定」32をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

■ CATV(ケーブルテレビ)について
● CATVの受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴、録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

地上デジタル放送の場合

● はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、「初期スキャン」54 をしてください。「初期スキャン」が行われていない状態では、「手動設定」はできません。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❹ ▲･▼で「手動設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「地上デジタル」を選び、決定を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン（1～12）の番号を▲･▼で選び、決定を押す

手動設定　地上デジタル

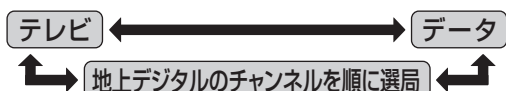
リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK教育・東京
3	–––	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
▼ 6	テレビ	TBS

リモコンボタンの番号
※▼を押し続ければ、7～12が表示されます。

4 ▲･▼で「チャンネル」を選び、◀･▶で地上デジタルのチャンネルを選ぶ

手動設定　地上デジタル

リモコンボタン	1
チャンネル	◀ テレビ ▶
放送局	NHK総合・東京
設定を削除する	

● ◀･▶を押すと次のように切り換わります。
（◀･▶を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）

● 「チャンネル」の欄に「–––」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

■「テレビ」または「データ」を選んだ場合

● 手順3で選んだ番号のボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネルまたは複数のデータ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ ▲･▼で「放送局」を選ぶ

❷ 設定したい放送局名を◀･▶で選ぶ

（例）手順3で「6」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で 6 を押すたびに、「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局できます。

■ 地上デジタルのチャンネルを選んだ場合

● 手順3で選んだ番号のボタンに、ここで選んだ地上デジタルのチャンネルだけが設定されます。
※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（これを変えることはできません）。

（例）手順3で「6」を選び、ここで「地デジ071」を選ぶと、視聴時の操作で 6 を押したときに071チャンネルだけが選局できます。

5 決定を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順3～5を繰り返します。

6 ▶を押して、設定を保存する

7 終了を押して、メニューを消す

● 手動設定をしたあとで、「初期スキャン」54 や「はじめての設定」32 をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

チャンネル設定 つづき

手動設定 つづき

BSデジタル放送の場合

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲・▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲・▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❹ ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す

2 ▲・▼で「BS」を選び、決定を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン(1 NHK1～12 TwellV)の番号を▲・▼で選び、決定を押す

4 ▲・▼で「チャンネル」を選び、◀・▶でBSデジタルのチャンネルを選ぶ

● ◀・▶を押すと次のように切り換わります。(◀・▶を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます)

テレビ ⟷ ラジオ ⟷ データ ⟷ BSデジタルのチャンネルを順に選局 ⟷ テレビ

● 「チャンネル」の欄に「－－－」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

■「テレビ」、「データ」、または「ラジオ」を選んだ場合

● 一つのボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネル、または複数データ放送のチャンネル、または複数のラジオ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ ▲・▼で「放送局」を選ぶ

❷ ◀・▶で設定したい放送局名を選ぶ

(例) 手順**3**で「4」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で 4 BS日テレ を押すたびに、「BS日テレ」のテレビ放送チャンネルが順次選局できます。

■BSデジタルのチャンネルを選んだ場合

● 手順**3**で選んだ番号のボタンに、ここで選んだBSデジタル放送のチャンネルだけが設定されます。

※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます(これを変えることはできません)。

(例) 手順**3**で「4」を選び、ここで「BS141」を選ぶと、視聴時の操作で 4 BS日テレ を押したときに141チャンネルだけが選局できます。

5 決定を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順**3**～**5**を繰り返します。

6 終了を押して、メニューを消す

お知らせ

● リモコンボタン 11 BS11、12 TwellV には、将来放送が予定されているBSチャンネルが設定されています。
放送開始前にこれらのボタンを手動設定で変更した場合、放送開始前には手動設定でもとの状態に戻すことはできません。
(放送開始後に手動設定で戻すことができます)

110度CSデジタル放送の場合

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「手動設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「110度CS」を選び、決定を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン（1 NHK1～12 TwellV）の番号を▲·▼で選び、決定を押す

4 ▲·▼で「チャンネル」を選び、◀·▶で110度CSデジタルのチャンネルを選んで、決定を押す

- ◀·▶を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。（◀·▶を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）
- 放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を指定することはできません。
- リモコンの1 NHK1～12 TwellVを押したときに、ここで選んだチャンネルが選局されます。
- 「チャンネル」の欄に「−−−」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。
- 「放送局」の欄には、選んだチャンネルの放送局名が表示されます。（放送局名を変えることはできません）

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順3、4を繰り返します。

5 終了を押して、メニューを消す

チャンネル設定の内容を削除する

- デジタル放送のチャンネル設定の内容を削除できます。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「手動設定」を選び、決定を押す

2 放送の種類（「地上デジタル」、「BS」、「110度CS」）を▲·▼で選び、決定を押す

3 設定内容を削除したい「リモコン」の番号を▲·▼で選び、決定を押す

4 ▲·▼で「設定を削除する」を選び、決定を押す

※ 他のボタンの設定も削除する場合は、手順3、4を繰り返します。

5 終了を押して、メニューを消す

チャンネル設定 つづき

チャンネルスキップ設定

● チャンネル で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越すことができます。

● CATVチャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください。

1 以下の操作で「チャンネルスキップ設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す

2 設定したい放送の種類を▲·▼で選び、決定を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲·▼で選び、決定を押す

地上アナログチャンネルスキップ設定			
リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1	NHK総合	受信
2	2		スキップ
3	3	NHK教育	受信
4	4	日本テレビ	受信
5	16	放送大学	受信
▼ 6	6	TBS	受信

（例）手順**2**で「地上アナログ」を選んだ場合

● 決定を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。

● デジタル放送の放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を変えるときは ラジオ/データ（ふたの中）を押します。

● あ1 〜 12 に割り当てたCATVチャンネル（C13 〜 C63）は、「リモコン」欄が1 〜 12よりも下のリストで「設定済み」として表示されます。

※ **他のチャンネルの設定をする場合は、手順3を繰り返します。**
（違う放送のチャンネルを設定する場合は、を押し、手順**2**の操作から行ってください）

4 **を押して、メニューを消す**

■ 受信・スキップの設定ができるチャンネル

● **地上アナログ放送**
あ1 〜 12 に割り当てられた地上アナログ放送とCATVチャンネル、その他のCATVチャンネル

● **デジタル放送**
受信可能なチャンネル

■ 自動設定をしたあとのチャンネルスキップ設定

● **地上アナログ放送**
あ1 〜 12 にチャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定されています。

● **地上デジタル放送**
スキップ設定はありません。

● **CATV/BS・110度CSデジタル放送**
自動設定前と同じです。

● 「手動設定」をしたチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。

● 放送局の代表チャンネルを「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップします。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

ステレオ／モノラルの設定

- 電波の弱いステレオ放送のときに、雑音が出ることがあります。その場合、「モノラル」に設定すれば聴きやすくなることがあります。
- 電波の弱いチャンネルの放送を視聴している状態で以下の設定をします。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ステレオ／モノラル」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

■「モノラル」に設定していてステレオ放送を受信したとき

- 音声はモノラルになります。
- チャンネル切換時には、「ステレオ」と表示されます。
- 画面表示を押したときは、「モノラル選択中」と表示されます。

無信号消音設定

- 無信号のとき(放送のないチャンネルを選択したり、放送が終わったりしたときなど)に、音声が出ないように設定することができます。
- 電波が極端に弱いチャンネルを選択したときにも、機能が働く場合があります。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「無信号消音設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

- **オン**·····無信号のときに音声を出さない。
- **オフ**·····無信号のときにも音声を出す。

4 終了を押して、メニューを消す

チャンネル設定を最初の状態に戻す

- すべてのチャンネル設定と、「ステレオ／モノラルの設定」、「無信号消音設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

個別に設定をするとき

■ ステレオ／モノラルの設定について

- ステレオ／モノラルの設定は、地上アナログ放送視聴時とアンテナ端子からのCATV放送視聴時にだけできます。

■ チャンネル設定を最初の状態に戻す場合について

- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと、地上デジタル放送は受信できません。「初期スキャン」54をしてください。(「データ放送用メモリーの割当て」37や、お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数などはそのままです)

データ放送設定

郵便番号と地域の設定

- 「はじめての設定」が済んでいる場合は、この設定は不要です。
- お住まいの地域に応じたデータ放送、緊急警報放送などの視聴や、ダイヤルアップ通信をする際に、もよりのアクセスポイントを利用するための設定で、地域は「初期スキャン」54とは別に設定できます。

1 以下の操作で「郵便番号と地域の設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「データ放送設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「郵便番号と地域の設定」を選び、決定を押す

2 お住まいの地域の郵便番号を あ1 〜 10 0で入力し、決定を押す

- 上3ケタを入力して決定を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

郵便番号と地域の設定

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 0 5 - 0 0 2 3

3 該当する地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 「設定しない」を選んだ場合は、手順5に進みます。

4 該当する地域を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

5 終了を押して、メニューを消す

文字スーパー表示の設定

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を選択することができます。お買い上げ時は日本語優先になっています。

1 以下の操作で「文字スーパー表示設定」画面にする

❶ 左の手順1の❶〜❸をする

❷ ▲·▼で「文字スーパー表示設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定を押す

- 「表示しない」を選んだ場合は、手順4に進みます。

3 ▲·▼·◀·▶で言語を選び、決定を押す

- 日本語／英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／ロシア語／中国語／韓国語／スペイン語から選ぶことができます。

4 終了を押して、メニューを消す

ルート証明書番号を確認する

- ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。
- ルート証明書は地上デジタル放送によって、放送局から送られます。本機内に記録された証明書番号を以下の手順で確認することができます。

1 以下の操作で「ルート証明書番号」画面にする

❶ 左の手順1の❶〜❸をする

❷ ▲·▼で「ルート証明書番号」を選び、決定を押す

2 ルート証明書番号を確認し、決定を押す

3 終了を押して、メニューを消す

■ 郵便番号と地域の設定について

- 「はじめての設定」32とここでの設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定」と同時にまとめて設定しているためです。
- データ放送を受信している状態で設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を受信し直してください。

■ 文字スーパー表示の設定について

- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示します。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。

通信設定

電話回線設定

● 電話回線設定は、デジタル放送で双方向サービスを利用する場合や、番組購入情報の送信をする場合などに必要です。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「通信設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定を押す

2 設定したい項目を▲·▼で選んで決定を押し、下表（次ページまで）の手順に従って設定する

3 終了を押して、メニューを消す

設定項目	説明および操作手順
ダイヤル方式	● 「はじめての設定」の「電話回線設定」35の手順**14**、**15**をご覧ください。 （「はじめての設定」の「電話回線設定」が終わっている場合は、ここでの設定は不要です）
外線発信番号	● 電話をかけるときに、電話番号の前に「0」や「＃」などの外線発信番号を付ける必要があるときに設定してください。 ❶ ▲·▼で「外線発信番号あり」を選び、決定を押す ❷ 「はじめての設定」の「電話回線設定」34の手順**13**の操作で外線発信番号を入力する ❸ 外線発信後の待ち時間を設定する（通常は「自動設定する」に設定してください） ▲·▼で「自動設定する」を選び、決定を押す ※ 「自動設定する」の設定で、次ページの「電話回線テスト」が失敗となる場合は、▲·▼で「時間を指定する」を選び、◀·▶で時間を選択して、決定を押します。 • 設定範囲は2秒～ 9秒（秒単位）です。
電話会社の設定	● 本機からの発信時に、マイラインやマイラインプラスを使いたい場合や、通常使用する電話会社以外の電話会社を使いたいときに設定します。 ❶ ▲·▼で「電話会社を設定する」を選び、決定を押す ❷ ▲·▼でマイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」または「加入している」を選び、決定を押す ❸ 1～10/0で電話会社を入力し、決定を押す • 最大8ケタまで設定できます。 • 間違って入力した場合は、◀で前のケタに戻り、もう一度入力してください。
電話番号通知設定	● 本機から電話の発信をしたときに、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 ❶ ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す • **通知しない**…… 本機は電話番号の最初に「184」をつけてダイヤルします。 • **通知する**……… 本機は電話番号の最初に「186」をつけてダイヤルします。 • **設定しない**…… 本機は何もつけずにダイヤルします。この場合は、NTTとの「ナンバーディスプレイ」の契約のとおりとなります。

次のページにつづく

■ **外線発信番号の設定について**

● 手順❸で「時間を指定する」に設定した場合には、ダイヤルトーン検出をしません。
ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、「時間を指定する」に設定してください。その場合、以下の自動判定やテストでは回線の接続と設定の確認はできません。次ページの「電話回線テスト」の「センター接続テスト」で確認してください。
- 「ダイヤル方式の設定」の自動判定（35）
- 「電話回線テスト」（次ページ）
- 「簡易確認テスト」（35、67）での電話回線テスト

■ **電話会社の設定について（マイラインプラスに加入している場合）**

● 手順❷で「加入している」に設定してください。手順❸で設定した電話会社での回線発信ができます。
● 手順❷で「加入していない」に設定すると、手順❸で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。
● 手順❸で電話会社番号が未入力の場合は、手順❶の「電話会社を設定しない」に自動的に設定されます。

通信設定 つづき

電話回線設定 つづき

設定項目	説明および操作手順
電話回線テスト	● 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。 ❶ ▲·▼で「電話回線テスト」または「センター接続テスト」を選ぶ • **電話回線テスト**………… 本機と電話回線の接続・設定が正しく行われているか確認します。テストの結果については 36 をご覧ください。 • **センター接続テスト**…… 本機とセンターの電話回線の接続が正しく行われているか確認します。テストの結果については下のお知らせをご覧ください。**（このテストは電話料金がかかります）** ❷ 電話回線の接続状態を確認して、決定を押す ❸ テストが終了したら、決定を押す
待ち時間の設定	● 本機から電話の発信をしたいときに、「電話番号通知」、「マイラインプラス解除番号」、「電話会社指定番号」のあとにダイヤルまでの待ち時間が必要な場合に設定してください。 ❶ ▲·▼で「電話番号通知」、「マイラインプラス解除番号」または「電話会社指定番号」の設定したいどれかを選び、決定を押す ❷ ◀·▶でダイヤル待ち時間を選択し、決定を押す • 設定できる内容は、「設定しない」、「1秒」～「9秒」です。

■ センター接続テストの結果

センター接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」	● 正しく接続されています。
「センターと通信できませんでした。」	● 「電話回線の接続」27 と、「電話回線設定」を確認してください。
「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。」	● しばらくしてから、もう一度センター接続テストをしてください。
「ただいまセンターと通信できません。」	

■ 待ち時間の設定について

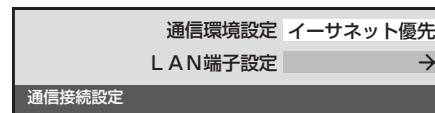
● 表示が「－－」になっている項目に対してダイヤルまでの待ち時間は設定できません。
各項目で「－－」表示になる場合は以下のとおりです。

- 電話番号通知設定で「設定しない」に設定した場合
- マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」に設定した場合
- 電話会社の設定で「電話会社を設定しない」に設定した場合

通信接続設定

- 「通信環境設定」は、「LAN端子の接続」 28 をした場合および、デジタル放送のダイヤルアップ通信による双方向サービスを利用する場合に設定します(ダイヤルアップ通信には、「電話回線の接続」 27 と「電話回線設定」 63 、 64 が必要です)。
- 「LAN端子設定」は、「LAN端子の接続」をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。(ダイヤルアップでのインターネット通信の設定はしないでください)

1 以下の操作で「通信接続設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「通信設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定を押す

2 設定したい項目を▲·▼で選んで決定を押し、下表(次ページまで)の手順に従って設定する

3 設定を有効にするには、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れる

設定項目		説明および操作手順
通信環境設定		● 番組(コンテンツ)によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合にダイヤルアップ通信を行うようにするか、しないかを設定します。 ❶ ▲·▼で「イーサネット」または「イーサネット優先」を選び、決定を押す • **イーサネット**…………ダイヤルアップ通信を使用しない場合に選びます。 • **イーサネット優先**……イーサネット通信を優先して接続しますが、データ放送でダイヤルアップ通信が指定された場合はダイヤルアップ通信に切り換わります。通常はこちらを選びます。
LAN端子設定	IPアドレス設定	● インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。 ※ 以下の手順で「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。 ❶ ▲·▼で「IPアドレス設定」を選び、決定を押す ❷ IPアドレスを自動取得できる場合は、◀·▶で「する」を選ぶ **■ IPアドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合** ① ◀·▶で「しない」を選ぶ ② ▲·▼で「IPアドレス」を選び、1～10/0で入力する ③ ▲·▼で「サブネットマスク」を選び、1～10/0で入力する ④ ▲·▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1～10/0で入力する • 手順②～④では、最大3ケタの数字(「0」～「255」を入力します。ただし、左端の欄には「0」は入力できません)を一組として、4箇所の欄に入力します。次の組(欄)に移動するには、▶を押します。間違って入力した場合は、◀を押してもう一度入力します。 ❸ 決定を押す

次のページにつづく

■ 通信環境設定について
- 「イーサネット優先」に設定した場合、何らかの原因(たとえばADSLモデムの故障など)でイーサネット通信ができないときには、ダイヤルアップ通信もできなくなることがあります。
- 実際に接続・設定している環境と異なる項目を選ぶと正常に働きません。

■ IPアドレス設定について
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「自動取得」を「しない」にして、手動で設定してください。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認してください。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

通信設定 つづき

通信接続設定 つづき

	設定項目	説明および操作手順
LAN端子設定	DNS設定	● ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。 ※「IPアドレス設定」で「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。DNSアドレスを手動で設定してください。 ❶ ▲・▼で「DNS設定」を選び、(決定)を押す ❷ DNSアドレスを自動取得できる場合は、◀・▶で「する」を選ぶ ■ DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合 ① ◀・▶で「しない」を選ぶ ② ▲・▼で「DNSアドレス(プライマリ)」を選び、1～10 0で入力する ③ ▲・▼で「DNSアドレス(セカンダリ)」を選び、1～10 0で入力する • 手順②と③では、最大3ケタの数字(「0」～「255」を入力します。ただし、左端の欄には「0」は入力できません)を一組として、4箇所に入力します。次の組(欄)に移動するには、▶を押します。 ❸ (決定)を押す
	プロキシ設定	● インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。 ● ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。 ● ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。 ❶ ▲・▼で「プロキシ設定」を選び、(決定)を押す ❷ ▲・▼で「使用する」を選び、(決定)を押す ❸ ▲・▼で「サーバー名」を選び、(決定)を押す ❹ サーバー名を入力する • 文字入力のしかたは操作編 23 をご覧ください。 • 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の!"#% &()*+,-.:;<=>@[¥]^{¦}˜?_/です。 ❺ ▲・▼で「ポート番号」を選び、1～10 0でポート番号を入力する ❻ ▲・▼で「設定完了」を選び、(決定)を押す
	MACアドレス	● ネットワーク上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。 ❶ ▲・▼で「MACアドレス」を選び、(決定)を押す ❷ MACアドレスを確認したら、(終了)を押す
	接続テスト	●「LAN端子設定」が正しく行われているかテストします。 ❶ ▲・▼で「接続テスト」を選び、(決定)を押す ❷ 接続テストをする場合は、(決定)を押す(テスト結果のメッセージについては下の「お知らせ」を参照) ❸ (終了)を押して、メニューを消す

■ DNS設定について

● 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)

● 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定してください。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■ LAN端子設定の接続テストについて

接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「接続を確認しました。」	● 正しく設定されています。
「接続できませんでした。通信設定をご確認ください。」	●「LAN端子の接続」 28 および前ページと上記の「LAN端子設定」で、接続・設定の状態を確認してください。 ● LAN端子の各設定を有効にするには、必ず設定後に本体の電源ボタンで電源を一度切って、もう一度入れ直してください。
「接続できませんでした。LANケーブルの接続をご確認ください。」	

● 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認してください。

(1)「LAN端子設定」を確認する

• 正しく設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

(2) ネットワーク環境の接続確認

• 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

❶ パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する

❷ URL欄に「http://www.toshiba.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する

• ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコン、ルーターの設定が正しいか確認してください(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

簡易確認テスト

接続確認メッセージ設定

- データ放送でのダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に、確認のメッセージを表示させることができます。
- お買い上げ時は、「表示する」に設定されています。

1 以下の操作で「通信設定」画面にする
❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「通信設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「接続確認メッセージ設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定を押す
- アクセスポイントにダイヤルアップ接続する場合やダイヤルアップ接続が切断される場合に、確認の画面を表示するかどうかが設定されます。
- 設定が完了して前画面に戻ります。

4 を押して、メニューを消す

通信エラー履歴

- 通信エラー履歴は、回線接続エラーが生じた場合に、一番新しい接続エラーを1件だけ記録して表示します。

※ **この通信エラー履歴は、放送局へのお問い合わせの際に必要になる場合があります。**

1 以下の操作で「通信設定」画面にする
❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「通信設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「通信エラー履歴」を選び、決定を押す
- エラー履歴があれば表示されます。

3 内容を確認し、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

- 引越しなどでチャンネル設定を変えた場合や、あとで電話回線の接続・設定をした場合などに、簡単な確認テストをすることができます。
- 地上デジタル受信テスト、BS・110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。
- 通信についてのテストは、前ページの「接続テスト」をしてください。

1 以下の操作で「初期設定」画面にする
❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「簡易確認テスト」を選び、決定を押す
- 受信テストは、BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタルの順に行います。

- 簡易確認テスト結果については、36 の表をご覧ください。

■「地上デジタル受信テスト」の伝送チャンネルを変えるには

❶ ◀·▶で伝送チャンネルを選ぶ
- 受信テストが始まり、結果が表示されます。

❷ 他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順❶と同じ操作をする

※ お住まいの地域の地上デジタル放送で使用されている伝送チャンネルがわからない場合は、「地上デジタル受信テスト」を省略して、実際の放送が視聴できるか確認してください。

3 簡易確認テストが終了したら、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

■ 接続確認メッセージ設定について
- 以下の場合は「表示する」に設定してもメッセージは表示されません。
  - 番組購入情報の送信時（操作編 12）

■ 通信エラー履歴について
- おもなエラーメッセージの対処のしかたは、操作編の 56 ～ 57 をご覧ください。

選局機能設定

キーワードを登録する

● 番組検索で指定するキーワードをあらかじめ登録することができます。

1 以下の操作で「選局機能設定」画面にする
❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「選局機能設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「キーワード登録」を選び、決定を押す

3 ▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、決定を押す

キーワード登録

新規登録するか、編集/削除するキーワードを選択してください。

旅行		新規登録
温泉		
釣り		
テニス		
ファッション		
和食		
中華		登録完了

4 登録したいキーワードを入力して、決定を押す

● 文字の入力については「文字入力をする」(操作編 23)をご覧ください。
● キーワードは14個登録できます。
● 一つのキーワードは最大で全角15文字まで入力できます。

■ キーワードを変更する場合

❶変更したいキーワードを選択して、決定を押す
❷ ▲·▼で「編集する」を選び、決定を押す
❸キーワードを修正して、決定を押す

■ キーワードを削除する場合

❶削除したいキーワードを選択して、決定を押す
❷ ▲·▼で「削除する」を選び、決定を押す
❸ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

5 ▲·▼·◀·▶で「登録完了」を選び、決定を押す

6 終了を押して、メニューを消す

地上アナログ番組表設定

● 地上アナログ放送の番組表を表示するかしないか設定します。お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 以下の操作で「選局機能設定」画面にする
❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「選局機能設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「地上アナログ番組表設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

• **オン**……地上アナログ放送の番組表を表示する。
• **オフ**……地上アナログ放送の番組表を表示しない。
※ 地上アナログ放送の番組表を使うにはインターネットの常時接続と設定が必要です。(「LAN端子の接続」28、「通信接続設定」65をご覧ください)

4 終了を押して、メニューを消す

番組表モードの設定

● 番組表に表示させる放送局数を6チャンネル表示または7チャンネル表示から選ぶことができます。

1 以下の操作で「選局機能設定」画面にする
❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「選局機能設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「番組表モード」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「6チャンネル表示」または「7チャンネル表示」を選び、決定を押す

番組表モード
- 7チャンネル表示
- 6チャンネル表示

4 終了を押して、メニューを消す

視聴制限設定

視聴年齢制限設定

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、視聴年齢制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に次ページの操作で暗証番号を設定してください。

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押す

❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

- 暗証番号の入力画面になります。

3 あ1～10小字0で暗証番号を入力する

4 ◀·▶で年齢を設定し、決定を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳（制限しない）」に設定してください。

視聴年齢制限設定
４～２０歳の間で、視聴を制限したい年齢を設定してください。
４歳 ▶
番組の視聴制限年齢がこの設定年齢よりも高い場合、その番組の視聴には暗証番号の入力が必要になります。視聴年齢制限を使わないときは「２０歳」にしてください。

5 終了を押して、メニューを消す

- 視聴時の動作および操作は以下のとおりです。

■ 番組の設定年齢が、設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- 決定を押し、あ1～10小字0で暗証番号を入力してください。

■ 本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- 決定を押し、設定が必要な項目を設定してください。

番組購入限度額設定

- ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定します。設定した限度額を超える番組を購入するには、暗証番号の入力が必要です。
- お買い上げ時には、「すべての購入を制限しない」に設定されています。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に次ページの操作で暗証番号を設定してください。

1 左の手順1の操作で「視聴制限設定」画面にする

2 ▲·▼で「番組購入限度額設定」を選び、決定を押す

- 暗証番号の入力画面になります。

3 あ1～10小字0で暗証番号を入力する

4 ▲·▼で制限モードを選ぶ

- **すべての購入を制限する**……ペイ・パー・ビュー番組を購入する場合に暗証番号の入力が必要です。
- **限度額を設定**……設定した限度額を超える番組の場合、暗証番号の入力が必要です。
- **すべての購入を制限しない**……購入制限はしません。

5 「限度額を設定」を選んだ場合、◀·▶で限度額を選ぶ

- 以下のように設定できます。
  - 100円～ 1,000円の範囲で100円単位
  - 1,000円～ 3,000円の範囲で500円単位
  - 3,000円～ 10,000円の範囲で1,000円単位

6 決定を押す

7 終了を押して、メニューを消す

■ 番組購入限度額設定について

- 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は、高いほうの金額にあわせて制限します。

視聴制限設定 つづき

暗証番号の設定・削除

● 暗証番号は、ペイ・パー・ビュー番組を購入するときや、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

● 暗証番号を忘れた場合の消去は有料になりますので、暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、東芝家電修理ご相談センター(裏表紙参照)にご連絡ください。

暗証番号の設定

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す

❷ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

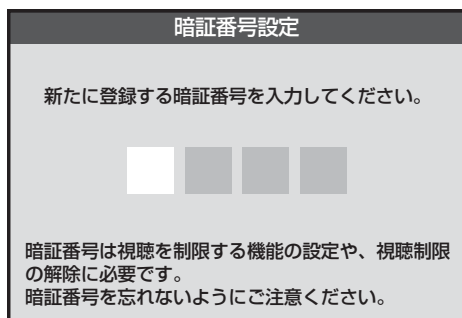
❸ ▲·▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

■ はじめて暗証番号を登録する場合

● 登録したい暗証番号(4ケタの数字)を 1 ～ 10 で入力してください。

● 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力してください。

※ 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。

■ 暗証番号を変更する場合

● 変更する前の暗証番号を 1 ～ 10 で入力してください。

3 1 ～ 10 でもう一度暗証番号を入力し、確認画面で決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

暗証番号の削除

1 左の手順**2**で「暗証番号削除」を選び、決定を押す

2 1 ～ 10 で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

お買い上げ時の状態に戻すには (設定内容を初期化するには)

● お買い上げの状態に戻す設定内容は3種類あります。目的に合わせて行ってください。

※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

設定項目	内　容
初期化1	以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 • チャンネル設定、視聴制限設定(暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定) お好みに設定した項目を設定し直すときに行うと便利です。
初期化2	「初期化1」の項目に加えてチャンネル設定が初期化されます。
すべての初期化	本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ **この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)についてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にのみ行ってください。**

1 以下の操作で「設定の初期化」画面にする

❶ 設定メニュー(ふたの中)を押す
❷ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「設定の初期化」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、決定を押す

● 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。

設定の初期化
初期化1
初期化2
すべての初期化
設定項目を初期化します。
ただし、チャンネル設定、暗証番号入力が必要な設定は初期化されません。

■ すべての初期化をする場合

● 暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。

3 初期化する場合は◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 初期化したあとに初期化前の状態に戻すことはできません。

すべての初期化
お買い上げ時の状態に戻しますか?
はい　いいえ
※お買い上げ時の状態に戻すとすべてのデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。
データ放送で登録した情報なども消去されます。

4 初期化終了の画面で決定を押す

5 終了を押して、メニューを消す

● 「HDMI入力モード」の「音声遅延制御」48を「モード2」に設定している場合は、HDMIケーブルを抜いてから初期化してください。

お買い上げ時の状態に戻すには つづき

お買い上げ時の状態

項目		設定内容		
映像メニュー		あざやか(入力によって異なります)		
ユニカラー		100(入力によって異なります)		
バックライト		100(入力によって異なります)		
黒レベル		00		
色の濃さ		00		
色あい		00		
シャープネス		00		
カラーイメージコントロール		オン		
ベースカラー調整		色あい	色の濃さ	明るさ
	レッド	00	00	00
	グリーン	00	+04	00
	ブルー	00	+04	00
	イエロー	00	00	00
	マゼンダ	00	00	00
	シアン	00	00	00
MPEG NR		弱		
ダイナミックNR		オート		
ヒストグラムバックライト制御		オン		
明るさセンサー		オン		
ファインシネマ		オート		
音声調整	バランス	中央		
	高音	0		
	低音	0		
WOW	SRS 3D	オフ		
	FOCUS	オフ		
	TruBass	弱		
光デジタル音声出力		PCM		
地上アナログ番組表設定		オン		
番組表モード		7チャンネル表示		
視聴年齢制限設定		未設定		
番組購入限度額設定		制限しない		
省エネ設定	消費電力	標準		
	番組情報取得設定	取得する		
	無操作自動電源オフ	動作しない		
	オンエアー無信号オフ	待機にする		
	外部入力無信号オフ	待機にする		
D-sub/HDMI2音声入力		D-sub		
HDMI2音声入力設定		デジタル		
外部入力表示設定	ビデオ1設定	DVD		
	ビデオ2設定	DVD		
	ビデオ3設定	ゲーム		
	HDMI1設定	HD DVD		
	HDMI2設定	DVD		
外部入力スキップ設定		「ビデオオート」のみスキップ「する」		

項目		設定内容
放送からの自動ダウンロード		ダウンロードする
放送からの任意ダウンロード予約		予約なし
ダウンロードの自動確認		確認しない
BS・110度CSアンテナ電源供給		供給する
自動スキャン		自動スキャンする
チャンネルスキップ設定		CATV:スキップ、その他の放送:受信
ステレオ/モノラル		ステレオ
無信号消音設定		オン
文字スーパー表示設定		表示する(言語:日本語)
ダイヤル方式		トーン
外線発信番号		設定なし
電話会社の設定		設定なし
電話番号通知設定		設定なし
待ち時間設定	電話番号通知	設定しない
	マイラインプラス解除番号	設定しない
	電話会社指定番号	設定しない
通信環境設定		イーサネット優先
LAN端子設定	IPアドレス設定	自動取得
	DNS設定	自動取得
	プロキシ設定	使用しない
接続確認メッセージ設定		表示する
HDMI連動設定	HDMI連動機能	使用する
	連動機器→テレビ入力切換	連動する
	連動機器→テレビ電源	連動する
	テレビ→連動機器電源オフ	連動する
	PC映像連動	使用する
	AVアンプ連動	使用する
	優先スピーカー	テレビスピーカー
テレビdeナビ設定※1	RD本体名	未設定
	ユーザー名	未設定
	パスワード	未設定
	ポート設定	80
	連動ライン入力番号(「東芝RDアナログ」のみ)	ライン入力3
番組表	文字サイズ変更	普通
	番組表色分け設定	青:映画、橙:スポーツ、緑:音楽
	スキップチャンネル表示設定	スキップチャンネル表示
オフタイマー		オフ
音多切換		主音声
字幕		字幕オフ
降雨対応放送		通常の放送
音量		30

※1:「テレビdeナビ」の設定状態は、「東芝RDアナログ」と「東芝RDデジタル1～3」で同じです。

メニュー 一覧

- 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「操作編」で説明している部分です)
「操作編」のメニュー 一覧は、操作編 58～59 をご覧ください。
- メニューで選択できる項目は接続機器などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

設定メニュー → お知らせ
- 放送局からのお知らせ
- 本機に関するお知らせ
- ボード

設定メニュー → 映像設定
- 映像メニュー
- 映像調整
  - ユニカラー
  - バックライト
  - 黒レベル
  - 色の濃さ
  - 色あい
  - シャープネス
  - 詳細調整
    - 色温度
      - 高→Gドライブ →Bドライブ
      - 中→Gドライブ →Bドライブ
      - 低→Gドライブ →Bドライブ
    - ダイナミックガンマ
    - ガンマ調整
    - Vエンハンサー
  - 初期設定に戻す
- 映像機能設定
  - カラーイメージコントロール
  - ベースカラー調整
    - レッド
    - グリーン
    - ブルー
    - イエロー
    - マゼンダ
    - シアン
    - 初期設定に戻す
  - ノイズリダクション設定
    - MPEG NR
    - ダイナミックNR
  - ヒストグラムバックライト制御
- 画面調整
  - スキャンサイズ切換
  - 上下振幅調整
  - 上下画面位置
  - 左右振幅調整
  - 左右画面位置
  - クロック位相
  - クロック周波数
  - 初期設定に戻す
- 明るさセンサー
- ファインシネマ

設定メニュー → 機能設定
- 選局機能設定 68
  - キーワード登録
  - 地上アナログ番組表設定
  - 番組表モード
- 視聴制限設定 69～70
  - 視聴年齢制限設定
  - 番組購入限度額設定
  - 暗証番号設定
  - 暗証番号削除
- 省エネ設定
  - 消費電力
  - 番組情報取得設定
  - 無操作自動電源オフ
  - オンエアー無信号オフ
  - 外部入力無信号オフ
- 外部入力設定
  - D-sub/HDMI2音声入力 47
  - HDMI2音声入力設定 47
  - 外部入力表示設定 52
    - ビデオ1 設定
    - ビデオ2 設定
    - ビデオ3 設定
    - HDMI1 設定
    - HDMI2 設定
    - 初期設定に戻す
  - 外部入力スキップ設定 52
    - ビデオオート
    - HDMI1
    - HDMI2
    - D-sub
  - HDMI入力モード 48
    - HDMI1 → 音声遅延制御
    - HDMI2 → 音声遅延制御
- 番組購入情報
  - 番組購入履歴
  - 番組購入情報の送信
- B-CASカード番号表示
- ソフトウェアのダウンロード
  - 放送からのダウンロード
    - 自動ダウンロード
    - ダウンロードの予約
  - サーバーからのダウンロード
    - ダウンロード開始
    - ダウンロードの自動確認
  - ソフトウェアバージョン

メニュー一覧 つづき

設定メニュー
初期設定
はじめての設定 32
アンテナ設定
地上デジタルアンテナレベル 30
BS・110度CSアンテナレベル 31
BS・110度CSアンテナ電源供給 31
BS中継器切換 53
110度CS中継器切換 53
チャンネル設定
地上アナログ自動設定 53～54
地上デジタル自動設定 54～55
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
手動設定 56～59
地上アナログ
地上デジタル
BS
110度CS
チャンネルスキップ設定 60
地上アナログ
地上デジタル
BS
110度CS
ステレオ/モノラル 61
無信号消音設定 61
初期設定に戻す 61
データ放送設定 62
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
電話回線設定 63～64
ダイヤル方式
外線発信番号
電話会社の設定
電話番号通知設定
電話回線テスト
待ち時間の設定
通信接続設定 65～66
通信環境設定
LAN端子設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
接続確認メッセージ設定 67
通信エラー履歴 67
レグザリンク設定
HDMI連動設定 46
HDMI連動機能
連動機器→テレビ入力切換
連動機器→テレビ電源
テレビ→連動機器電源オフ
PC映像連動
AVアンプ連動
優先スピーカー
テレビdeナビ設定 41
東芝RDアナログ
東芝RDデジタル1
東芝RDデジタル2
東芝RDデジタル3
簡易確認テスト 67
設定の初期化 71

デジタル放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）について

● デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載しています。
● デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができるので、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式）。さらに、5.1チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

● デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送(HD)		プログレッシブ放送(SD)	通常放送(SD)
放送フォーマット	1125i（1080i）放送	750p（720p）放送	525p（480p）放送	525i（480i）放送
走査線の数	1125本（有効1080本）	750本（有効720本）	525本（有効480本）	525本（有効480本）
走査の方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

● デジタルハイビジョン放送１番組と通常放送3番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。
※本機はすべての放送フォーマットをデジタル処理によって、液晶パネルの画素数に合わせて表示します。
● 1125i放送には1035iの放送信号もあります。1035iの放送信号を受信した場合は、画面上部が黒く表示されます。

ラジオ放送の特長

● ラジオ放送は、BSデジタル放送で行われています。
（ラジオ放送は110度CSデジタル放送でも行えますが、2007年8月現在は放送されていません）
● 地上デジタルテレビ放送にはラジオ放送はありません。
（試験段階の音声放送としては、「地上デジタル音声放送」がありますが、地上デジタルテレビ放送とは別団体の規格であり、本放送が開始されても本機では受信できません）
● 画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送もあります。

データ放送の特長

● テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の2種類があります。
● 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使いかたができます。
● 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がご覧になれます。

地上デジタル放送について

● 地上デジタル(テレビ)放送とは？

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送のことです。
(本書および別冊の「操作編」では、「地上デジタル放送」と記載しています)
現在行われているアナログ方式の地上放送(本書および別冊の「操作編」では、「地上アナログ放送」と記載しています)は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

● 地上デジタル放送の特長

これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。

(1) デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
(前ページの「テレビ放送の特長」をご覧ください)

(2) CD並みの高音質放送(MPEG-2 AAC方式)

(3) ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明

(4) データ放送や双方向通信サービス
通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送があります。
また、電話回線などを使った双方向サービスによるオンラインショッピングや、視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

(5) 移動体受信・部分受信サービス
車や電車などでの移動体受信サービスや、携帯電話などで受信できる部分受信サービス(ワンセグ)があります。
※本機は移動体受信サービスの放送は受信できますが、部分受信サービス(ワンセグ)の放送は受信できません。

● BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との違いは？

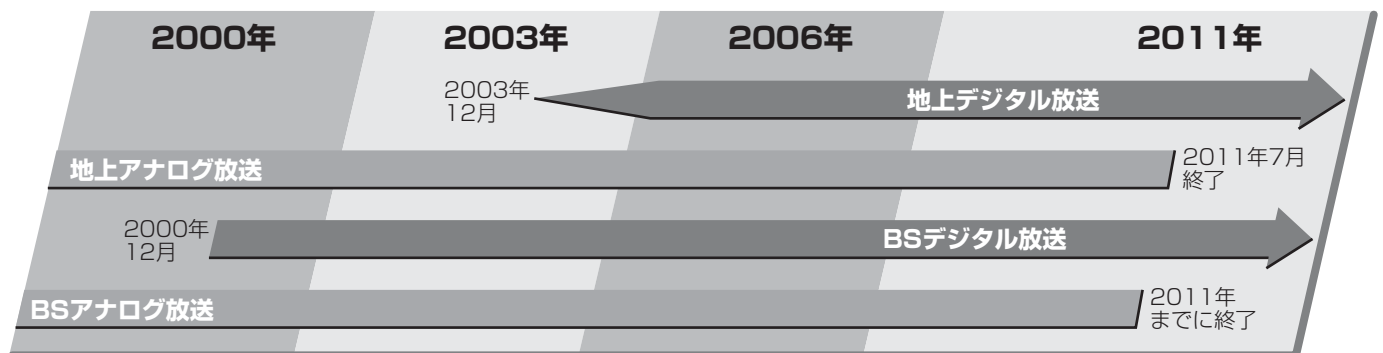
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の場合……………衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組を楽しめます。
地上デジタル放送の場合……………………………………………放送は各地域の放送局から送信されます。
地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

● 地上デジタル放送を受信するには

本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
(ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります)

アナログ放送からデジタル放送への移行について

● デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 「はじめての設定」32 や「地上アナログ自動設定」53 をすると、この表にある放送局がリモコンの地上ダイレクト選局ボタン[1]～[12]に自動設定されます。
- この表にない放送局を受信するとき（受信できる場合）は、「手動設定」56 で設定してください。
- お住まいの地域がこの表に記載されていない場合は、近くの地域・都市名で「地上アナログ自動設定」をして、正しく受信できないときは「手動設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」によって、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動設定」で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は 36 の下の説明をご覧ください。
- ダウンロード（操作編 47 ）によって、この表の内容（自動設定される内容）は、変わる場合があります。
- この表の内容は放送局側の運用変更によって、変わる場合があります。

2006年12月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道(TVh)	33	33
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
		釧路	2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			4	北海道文化放送(UHB)	41	41
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
		北見	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	59	59
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	53	53
		網走	1	北海道放送(HBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			9	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			12	NHK教育	12	12
		稚内	2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			4	NHK総合	28	28
			6	札幌テレビ放送(STV)	22	22
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			12	NHK教育	30	30
北海道	北海道・北部	名寄	2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	札幌テレビ放送(STV)	6	6
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		根室	2	NHK教育	2	2
			5	北海道文化放送(UHB)	62	62
			6	北海道テレビ放送(HTB)	60	60
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送(HBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道(TVh)	17	17
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			10	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送(UHB)	27	27
			3	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道(TVh)	21	21
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			10	NHK教育	10	10
			12	札幌テレビ放送(STV)	12	12
		帯広	1	北海道文化放送(UHB)	32	32
			3	北海道テレビ放送(HTB)	34	34
			4	NHK総合	4	4
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			10	札幌テレビ放送(STV)	10	10
			12	NHK教育	12	12
北海道	北海道・南部	苫小牧	2	NHK教育	49	49
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	53	53
			7	札幌テレビ放送(STV)	57	57
			9	NHK総合	51	51
			11	北海道放送(HBC)	55	55
			12	テレビ北海道(TVh)	47	47
		小樽	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送(HTB)	4	4
			5	北海道文化放送(UHB)	26	26
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	北海道放送(HBC)	9	9
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道(TVh)	24	24
		室蘭	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道(TVh)	29	29
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
東北	青森	青森	1	青森放送(RAB)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送(ABA)	34	34
			5	NHK教育	5	5
			12	青森テレビ(ATV)	38	38

次のページにつづく

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	青森	八戸	2	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK教育	7	7
			9	NHK総合	9	9
			10	青森朝日放送 (ABA)	31	31
			11	青森放送 (RAB)	11	11
			12	青森テレビ (ATV)	33	33
		むつ	4	NHK総合	4	4
			6	青森朝日放送 (ABA)	56	56
			8	青森テレビ (ATV)	58	58
			10	青森放送 (RAB)	10	10
			12	NHK教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			4	NHK総合	4	4
			6	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	2	NHK総合	2	2
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			8	テレビ岩手	58	58
			10	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		二戸	2	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	2	2
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK総合	5	5
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			10	テレビ岩手	37	37
			12	NHK教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送 (TBCテレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	東日本放送	32	32
			9	宮城テレビ放送 (ミヤギテレビ)	34	34
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送 (TBCテレビ)	59	59
			3	NHK総合	51	51
			5	NHK教育	49	49
			7	東日本放送	61	61
			9	宮城テレビ放送 (ミヤギテレビ)	55	55
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	2	NHK総合	2	2
			4	東北放送 (TBCテレビ)	4	4
			6	仙台放送	6	6
			8	東日本放送	43	43
			10	NHK教育	10	10
			12	宮城テレビ放送 (ミヤギテレビ)	37	37

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	秋田	秋田	2	NHK教育	2	2
			5	秋田朝日放送	31	31
			9	NHK総合	9	9
			11	秋田放送 (ABSテレビ)	11	11
			12	秋田テレビ (AKT)	37	37
		大館	1	青森放送 (RAB)	1	1
			4	NHK総合	4	4
			5	秋田朝日放送	59	59
			6	秋田放送 (ABSテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			12	秋田テレビ (AKT)	57	57
		大仙・横手	2	NHK教育	43	43
			5	秋田朝日放送	41	41
			9	NHK総合	45	45
			11	秋田放送 (ABSテレビ)	47	47
			12	秋田テレビ (AKT)	51	51
	山形	山形	4	NHK教育	4	4
			6	テレビユー山形 (TUY)	36	36
			8	NHK総合	8	8
			10	山形放送 (YBC山形放送)	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン (さくらんぼテレビ)	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送 (YBC山形放送)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	NHK教育	6	6
			8	テレビユー山形 (TUY)	22	22
			11	さくらんぼテレビジョン (さくらんぼテレビ)	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	2	さくらんぼテレビジョン (さくらんぼテレビ)	60	60
			4	NHK教育	50	50
			6	テレビユー山形 (TUY)	56	56
			8	NHK総合	52	52
			10	山形放送 (YBC山形放送)	54	54
			12	山形テレビ	58	58
		新庄	2	NHK教育	2	2
			4	さくらんぼテレビジョン (さくらんぼテレビ)	28	28
			6	テレビユー山形 (TUY)	26	26
			9	NHK総合	9	9
			11	山形放送 (YBC山形放送)	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	2	NHK教育	2	2
			4	テレビユー福島	31	31
			6	福島中央テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			10	福島放送 (KFB)	35	35
			11	福島テレビ (FTV)	11	11

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	福島	いわき	4	NHK総合	4	4
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビユー福島	62	62
			8	福島テレビ (FTV)	8	8
			10	NHK教育	10	10
			12	福島放送 (KFB)	60	60
		会津若松	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	テレビユー福島	47	47
			6	福島テレビ (FTV)	6	6
			8	福島中央テレビ	37	37
			10	福島放送 (KFB)	41	41
関東	茨城	水戸	1	NHK総合	44	1
			3	NHK教育	46	3
			4	日本テレビ放送網 (日本テレビ)	42	4
			6	東京放送 (TBS)	40	6
			8	フジテレビジョン (フジテレビ)	38	8
			10	テレビ朝日	36	10
			12	テレビ東京	32	12
		日立	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網 (日本テレビ)	54	4
			6	東京放送 (TBS)	56	6
			8	フジテレビジョン (フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網 (日本テレビ)	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送 (TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン (フジテレビ)	57	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	NHK総合	40	1
			3	NHK教育	30	3
			4	日本テレビ放送網 (日本テレビ)	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送 (TBS)	42	6
			8	フジテレビジョン (フジテレビ)	45	8
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網 (日本テレビ)	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送 (TBS)	56	6
			7	テレビ埼玉 (テレ玉)	38	38
			8	フジテレビジョン (フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	群馬	桐生	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	57	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	35	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	61	12
	埼玉	さいたま	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	35	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）	30	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	NHK総合	14	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	16	4
			6	東京放送（TBS）	18	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）	47	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	29	8
			10	テレビ朝日	38	10
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	NHK総合	1	1
			2	TOKYO MX	14	14
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		銚子	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（TBS）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
関東	東京	23区	1	NHK総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	TOKYO MX	14	14
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉（テレ玉）	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	NHK総合	33	1
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5	TOKYO MX	40	14
			6	東京放送（TBS）	37	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	31	8
			10	テレビ朝日	45	10
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	NHK総合	49	1
			3	NHK教育	47	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5	TOKYO MX	61	14
			6	東京放送（TBS）	53	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
	神奈川	横浜・川崎	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	48	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
関東	神奈川	平塚・茅ヶ崎	1	NHK総合	33	1
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			6	東京放送（TBS）	37	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	31	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	39	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	46	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		秦野	1	NHK総合	47	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			6	東京放送（TBS）	53	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	61	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	3	UX 新潟テレビ21（UXTV）	21	21
			4	テレビ新潟放送網（TeNY）	29	29
			5	新潟放送（BSN新潟放送）	5	5
			8	NHK総合	8	8
			10	新潟総合テレビ	35	35
			12	NHK教育	12	12
		上越	1	NHK教育	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	UX 新潟テレビ21（UXTV）	37	37
			8	テレビ新潟放送網（TeNY）	27	27
			10	新潟放送（BSN新潟放送）	10	10
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			5	山梨放送（YBS）	5	5
			6	テレビ山梨（UTY）	37	37
	長野	長野（美ヶ原）	2	NHK総合	2	2
			4	長野朝日放送（ABN）	20	20
			6	テレビ信州	30	30
			9	NHK教育	9	9
			10	長野放送（NBS）	38	38
			11	信越放送	11	11

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

資料

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	長野(善光寺平)	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送(ABN)	50	50
			6	テレビ信州	40	40
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送(NBS)	42	42
			11	信越放送	48	48
		松本	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送(ABN)	50	50
			6	テレビ信州	48	48
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送(NBS)	42	42
			11	信越放送	40	40
		飯田	3	NHK教育	3	3
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	テレビ信州	42	42
			10	長野放送(NBS)	40	40
			12	長野朝日放送(ABN)	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送(ABN)	61	61
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ信州	59	59
			12	長野放送(NBS)	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	チューリップテレビ	32	32
			10	NHK教育	10	10
			12	富山テレビ放送(BBT)	34	34
		高岡	1	北日本放送	50	1
			3	NHK総合	48	3
			6	チューリップテレビ	42	32
			10	NHK教育	46	10
			12	富山テレビ放送(BBT)	44	34
	石川	金沢	4	NHK総合	4	4
			6	北陸放送(MRO)	6	6
			7	北陸朝日放送(HAB)	25	25
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ金沢	33	33
			12	石川テレビ放送(石川テレビ)	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			3	北陸朝日放送(HAB)	59	59
			5	NHK教育	5	5
			7	石川テレビ放送(石川テレビ)	55	55
			9	NHK総合	9	9
			11	北陸放送(MRO)	11	11
	福井	福井	3	NHK教育	3	3
			9	NHK総合	9	9
			11	福井放送(FBCテレビ)	11	11
			12	福井テレビジョン放送(福井テレビ)	39	39
		敦賀	6	NHK総合	6	6
			8	福井放送(FBCテレビ)	8	8
			10	福井テレビジョン放送(福井テレビ)	38	38
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		長良	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	57
			3	NHK総合	53	53
			5	中部日本放送(CBC)	55	55
			9	NHK教育	49	49
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	61	61
			11	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	59	59
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	47	47
		高山	2	NHK教育	2	2
			3	中京テレビ放送(中京テレビ)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	中部日本放送(CBC)	6	6
			8	東海テレビ放送(東海テレビ)	8	8
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	38	38
			12	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	12	12
		各務原	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		中津川	3	中京テレビ放送(中京テレビ)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	6	6
			8	中部日本放送(CBC)	8	8
			10	東海テレビ放送(東海テレビ)	10	10
			11	岐阜放送(岐阜テレビ)	28	28
			12	NHK教育	12	12
	静岡	静岡	2	NHK教育	2	2
			4	静岡第一テレビ	31	31
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			11	静岡放送(SBSテレビ)	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	2	静岡第一テレビ	30	30
			4	NHK総合	4	4
			6	静岡放送(SBSテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			12	テレビ静岡	34	34

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	静岡	三島・沼津	2	NHK教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			7	テレビ静岡	59	59
			9	NHK総合	53	53
			11	静岡放送(SBSテレビ)	55	55
		島田	1	NHK総合	56	56
			3	NHK教育	54	54
			5	静岡放送(SBSテレビ)	62	62
			7	静岡第一テレビ	48	48
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			12	テレビ静岡	58	58
		富士	2	NHK教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			7	テレビ静岡	39	39
			9	NHK総合	52	52
			11	静岡放送(SBSテレビ)	41	41
		藤枝	1	NHK総合	42	42
			3	NHK教育	44	44
			5	静岡放送(SBSテレビ)	40	40
			7	静岡第一テレビ	24	24
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	56	1
			3	NHK総合	54	3
			5	中部日本放送(CBC)	62	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	60	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	58	35
		豊田	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送(CBC)	55	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			9	NHK教育	51	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ～テレ)	61	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	59	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	三重	津	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	49	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	35
		名張	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	62	1
			3	NHK総合	52	3
			5	中部日本放送（CBC）	60	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	56	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	54	35
近畿	滋賀	大津	2	NHK総合	28	2
			4	毎日放送	36	4
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	30	30
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	NHK教育	46	12
		彦根	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK教育	50	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	京都	2	NHK総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		山科	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			7	京都放送（KBS京都）	62	62
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	NHK教育	50	12
		福知山	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7	京都放送（KBS京都）	56	56
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK教育	52	12
		舞鶴	2	NHK総合	51	2
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ABC）	55	6
			7	京都放送（KBS京都）	57	57
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK教育	49	12
	大阪	※	2	NHK総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	NHK教育	12	12
	兵庫	神戸	2	NHK総合	28	28
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	41	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	43	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	47	10
			12	NHK教育	45	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	姫路	2	NHK総合	50	50
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK教育	52	12
		明石	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK教育	49	12
		川西	2	NHK総合	29	29
			4	毎日放送	35	4
			6	朝日放送（ABC）	37	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	39	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	33	33
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	41	10
			12	NHK教育	31	12
		灘	2	NHK総合	52	52
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	毎日放送（ABC）	56	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	62	62
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	NHK教育	50	12
		長田	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	38	4
			6	朝日放送（ABC）	40	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	42	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	34	34
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	NHK教育	46	12
		北淡・垂水	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK教育	49	12

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	三木	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	34	4
			6	朝日放送 (ABC)	38	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	40	8
			9	サンテレビジョン (サンテレビ)	36	36
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
	奈良	奈良	2	NHK総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送 (KBS京都)	34	34
			6	朝日放送 (ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	NHK教育	12	12
		生駒	2	NHK総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送 (ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	NHK教育	22	12
		五條	2	NHK総合	43	2
			4	毎日放送	33	4
			6	朝日放送 (ABC)	35	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	37	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	NHK教育	45	12
	和歌山	和歌山	2	NHK総合	32	2
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	毎日放送 (ABC)	44	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	46	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	48	10
			12	NHK教育	25	12
		海南・田辺	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送 (ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	60	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12
		新宮	2	NHK総合	44	2
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	毎日放送 (ABC)	38	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	40	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送 (日本海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			10	山陰放送 (BSSテレビ)	22	22
			12	山陰中央テレビジョン放送 (TSK)	24	24
		米子	3	NHK総合	42	42
			5	NHK教育	5	5
			8	日本海テレビジョン放送 (日本海テレビ)	8	8
			10	山陰放送 (BSSテレビ)	10	10
			12	山陰中央テレビジョン放送 (TSK)	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送 (日本海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			8	山陰中央テレビジョン放送 (TSK)	58	58
			10	山陰放送 (BSSテレビ)	56	56
	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送 (日本海テレビ)	30	30
			6	NHK総合	6	6
			8	山陰中央テレビジョン放送 (TSK)	34	34
			10	山陰放送 (BSSテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		浜田	2	NHK総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送 (日本海テレビ)	54	54
			5	山陰放送 (BSSテレビ)	5	5
			8	山陰中央テレビジョン放送 (TSK)	58	58
			9	NHK教育	9	9
	岡山	岡山	3	NHK教育	3	3
			5	NHK総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			9	西日本放送	9	9
			11	山陽放送 (RSK)	11	11
			12	岡山放送 (OHK)	35	35
		津山	2	NHK総合	2	2
			4	テレビせとうち	56	56
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送 (RSK)	7	7
			9	西日本放送	58	58
			11	岡山放送 (OHK)	60	60
			12	NHK教育	12	12
		笠岡	2	NHK総合	2	2
			4	NHK教育	4	4
			5	テレビせとうち	22	22
			6	山陽放送 (RSK)	6	6
			9	西日本放送	34	34
			10	瀬戸内海放送	55	55
			11	岡山放送 (OHK)	60	60

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	広島	広島	1	テレビ新広島 (TSS)	31	31
			3	NHK総合	3	3
			4	中国放送 (RCC)	4	4
			7	NHK教育	7	7
			9	広島ホームテレビ	35	35
			12	広島テレビ放送 (広島テレビ)	12	12
		福山	1	テレビ新広島 (TSS)	54	54
			3	NHK教育	3	3
			5	NHK総合	5	5
			7	中国放送 (RCC)	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送 (広島テレビ)	11	11
		呉	1	NHK教育	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	広島テレビ放送 (広島テレビ)	5	5
			7	テレビ新広島 (TSS)	26	26
			9	中国放送 (RCC)	9	9
			11	NHK総合	11	11
		尾道	1	NHK総合	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	テレビ新広島 (TSS)	26	26
			7	NHK教育	7	7
			10	中国放送 (RCC)	10	10
			12	広島テレビ放送 (広島テレビ)	12	12
	山口	山口	1	NHK教育	42	42
			6	山口朝日放送 (YAB山口朝日放送)	52	52
			7	テレビ山口 (TYS)	49	49
			9	NHK総合	44	44
			11	山口放送 (KRY山口放送)	46	46
		下関	1	NHK教育	41	41
			3	TVQ九州放送	23	23
			4	山口放送 (KRY山口放送)	4	4
			6	山口朝日放送 (YAB山口朝日放送)	21	21
			7	テレビ山口 (TYS)	33	33
			9	NHK総合	39	39
			10	テレビ西日本 (TNC)	10	10
			12	福岡放送 (FBS)	35	35
		宇部	1	NHK教育	55	55
			6	山口朝日放送 (YAB山口朝日放送)	24	24
			7	テレビ山口 (TYS)	44	44
			9	NHK総合	58	58
			10	テレビ西日本 (TNC)	10	10
			11	山口放送 (KRY山口放送)	61	61

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	岩国	1	NHK教育	1	1
			6	山口朝日放送 (YAB山口朝日放送)	28	28
			7	テレビ山口 (TYS)	62	62
			9	NHK総合	9	9
			11	山口放送 (KRY山口放送)	11	11
		防府	1	NHK教育	1	1
			6	山口朝日放送 (YAB山口朝日放送)	28	28
			7	テレビ山口 (TYS)	38	38
			9	NHK総合	9	9
			11	山口放送 (KRY山口放送)	11	11
四国	徳島	※	1	四国放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送 (ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送 (関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送 (よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	38	12
	香川	高松	3	NHK教育	39	39
			5	NHK総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			9	西日本放送	41	41
			11	山陽放送 (RSK)	29	29
			12	岡山放送 (OHK)	31	31
		丸亀	3	NHK教育	40	40
			5	NHK総合	44	44
			6	テレビせとうち	46	46
			7	瀬戸内海放送	42	42
			9	西日本放送	50	50
			11	山陽放送 (RSK)	48	48
			12	岡山放送 (OHK)	52	52
	愛媛	松山	2	NHK教育	2	2
			6	NHK総合	6	6
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ (EAT)	25	25
			10	南海放送 (RNB)	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	テレビ愛媛	37	37
		今治	2	NHK教育	30	30
			6	NHK総合	32	32
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ (EAT)	17	17
			10	南海放送 (RNB)	34	34
			12	テレビ愛媛	36	36
		新居浜	2	NHK総合	2	2
			4	NHK教育	4	4
			6	南海放送 (RNB)	6	6
			7	愛媛朝日テレビ (EAT)	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			12	テレビ愛媛	36	36

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	愛媛	宇和島	1	NHK教育	1	1
			6	NHK総合	6	6
			8	あいテレビ	25	25
			9	愛媛朝日テレビ (EAT)	16	16
			10	南海放送 (RNB)	10	10
			12	テレビ愛媛	27	27
	高知	高知	4	NHK総合	4	4
			6	NHK教育	6	6
			8	高知放送 (RKC)	8	8
			10	テレビ高知 (KUTV)	38	38
			12	高知さんさんテレビ (さんさんテレビ)	40	40
		四万十	1	NHK総合	1	1
			3	高知放送 (RKC)	3	3
			6	テレビ高知 (KUTV)	32	32
			8	高知さんさんテレビ (さんさんテレビ)	14	14
			11	NHK教育	11	11
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送 (KBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	4	4
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK教育	6	6
			9	テレビ西日本 (TNC)	9	9
			12	福岡放送 (FBS)	37	37
		北九州	2	九州朝日放送 (KBC)	2	2
			3	福岡放送 (FBS)	35	35
			5	TVQ九州放送	23	23
			6	NHK総合	6	6
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	8	8
			10	テレビ西日本 (TNC)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送 (KBC)	57	57
			3	NHK総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	48	48
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	NHK教育	54	54
			9	テレビ西日本 (TNC)	60	60
			12	福岡放送 (FBS)	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送 (KBC)	58	58
			3	NHK総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	61	61
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK教育	50	50
			9	テレビ西日本 (TNC)	55	55
			12	福岡放送 (FBS)	43	43

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	行橋	2	九州朝日放送 (KBC)	57	57
			3	福岡放送 (FBS)	43	43
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK総合	49	49
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	60	60
			10	テレビ西日本 (TNC)	54	54
			12	NHK教育	46	46
	佐賀	佐賀	2	NHK教育	40	40
			3	福岡放送 (FBS)	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	九州朝日放送 (KBC)	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	48	48
			9	NHK総合	38	38
			10	テレビ西日本 (TNC)	60	60
			11	熊本放送 (RKK)	11	11
		伊万里	1	NHK教育	44	44
			3	福岡放送 (FBS)	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	九州朝日放送 (KBC)	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 (RKB)	48	48
			9	NHK総合	51	51
			10	テレビ西日本 (TNC)	60	60
			11	熊本放送 (RKK)	11	11
	長崎	長崎	1	NHK教育	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	長崎放送 (NBC)	5	5
			7	テレビ長崎 (KTN)	37	37
			9	長崎文化放送 (NCC)	27	27
			11	長崎国際テレビ	25	25
		佐世保	2	NHK教育	2	2
			6	長崎文化放送 (NCC)	31	31
			7	テレビ長崎 (KTN)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	長崎放送 (NBC)	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
		諫早	1	NHK教育	51	51
			3	NHK総合	59	59
			5	長崎放送 (NBC)	62	62
			7	テレビ長崎 (KTN)	39	39
			9	長崎文化放送 (NCC)	56	56
			11	長崎国際テレビ	32	32

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	熊本	熊本	2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送（KAB）	16	16
			4	熊本県民テレビ（KKT）	22	22
			6	テレビ熊本（TKU）	34	34
			9	NHK総合	9	9
			11	熊本放送（RKK）	11	11
		水俣	1	NHK教育	1	1
			3	熊本朝日放送（KAB）	32	32
			4	NHK総合	4	4
			6	熊本放送（RKK）	6	6
			8	熊本県民テレビ（KKT）	36	36
			10	テレビ熊本（TKU）	38	38
	大分	大分	3	NHK総合	3	3
			5	大分放送（OBS）	5	5
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	24	24
			7	テレビ大分（TOS）	36	36
			12	NHK教育	12	12
		中津	3	NHK総合	48	48
			5	大分放送（OBS）	51	51
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	17	17
			7	テレビ大分（TOS）	37	37
			12	NHK教育	45	45
九州・沖縄	大分	佐伯	1	NHK教育	1	1
			5	テレビ大分（TOS）	49	49
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	31	31
			7	NHK総合	7	7
			9	大分放送（OBS）	9	9
	宮崎	宮崎	3	テレビ宮崎（UMK）	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	宮崎放送（MRT）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		延岡	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	宮崎放送（MRT）	6	6
			8	テレビ宮崎（UMK）	39	39
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送（MBC）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	32	32
			9	鹿児島テレビ放送（KTS）	38	38
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	30	30
九州・沖縄	鹿児島	鹿屋	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	南日本放送（MBC）	6	6
			8	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	31	31
			10	鹿児島テレビ放送（KTS）	33	33
			12	鹿児島読売テレビ（KYT）	25	25
		阿久根	4	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	23	23
			6	鹿児島テレビ放送（KTS）	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	南日本放送（MBC）	10	10
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	17	17
			12	NHK教育	12	12
	沖縄	※	2	NHK総合	2	2
			6	琉球朝日放送（QAB）	28	28
			8	沖縄テレビ放送（OTV）	8	8
			10	琉球放送（RBC）	10	10
			12	NHK教育	12	12

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表

- この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
  同時に、以下についても記載しています。
  (1) 域内(お住まいの地域)の放送がリモコンボタンに自動設定される目安
    - 「はじめての設定」32 や「地上デジタル自動設定」(54 ～ 55)をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンの地上ダイレクト選局ボタン 1 ～ 12 に放送の運用規定に基づいて自動設定をします。
      この表では、その際に域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。
  (2) 番組表に表示される域内の放送局の順番(目安)
- この表をご覧の際には、次ページの「お知らせ」もよくお読みください。
- 放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり(上記のとおり)にならない場合があります。

2006年12月12日現在

地方名	都道府県名または地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域(区域放送開始前)	1	HBC北海道放送	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		5	STV札幌テレビ	4
		6	HTB北海道テレビ	5
		7	TVH	7
		8	UHB	6
	旭川(区域放送開始後)	1	HBC旭川	3
		2	NHK教育・旭川	2
		3	NHK総合・旭川	1
		5	STV旭川	4
		6	HTB旭川	5
		7	TVH旭川	7
		8	UHB旭川	6
	釧路(区域放送開始後)	1	HBC釧路	3
		2	NHK教育・釧路	2
		3	NHK総合・釧路	1
		5	STV釧路	4
		6	HTB釧路	5
		7	TVH釧路	7
		8	UHB釧路	6
	北見(区域放送開始後)	1	HBC北見	3
		2	NHK教育・北見	2
		3	NHK総合・北見	1
		5	STV北見	4
		6	HTB北見	5
		7	TVH北見	7
		8	UHB北見	6
	帯広(区域放送開始後)	1	HBC帯広	3
		2	NHK教育・帯広	2
		3	NHK総合・帯広	1
		5	STV帯広	4
		6	HTB帯広	5
		7	TVH帯広	7
		8	UHB帯広	6
	札幌(区域放送開始後)	1	HBC札幌	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		5	STV札幌	4
		6	HTB札幌	5
		7	TVH札幌	7
		8	UHB札幌	6
	函館(区域放送開始後)	1	HBC函館	3
		2	NHK教育・函館	2
		3	NHK総合・函館	1
		5	STV函館	4
		6	HTB函館	5
		7	TVH函館	7
		8	UHB函館	6
	室蘭(区域放送開始後)	1	HBC室蘭	3
		2	NHK教育・室蘭	2
		3	NHK総合・室蘭	1
		5	STV室蘭	4
		6	HTB室蘭	5
		7	TVH室蘭	7
		8	UHB室蘭	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	RAB青森放送	3
		2	NHK教育・青森	2
		3	NHK総合・青森	1
		5	青森朝日放送	5
		6	ATV青森テレビ	4
	岩手	1	NHK総合・盛岡　※3	1
		2	NHK教育・盛岡　※3	2
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	IBCテレビ	3
		8	めんこいテレビ	5
	宮城	1	TBCテレビ	3
		2	NHK教育・仙台	2
		3	NHK総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	KHB東日本放送	6
		8	仙台放送	4
	秋田	1	NHK総合・秋田	1
		2	NHK教育・秋田	2
		4	ABS秋田放送	3
		5	AAB秋田朝日放送	5
		8	AKT秋田テレビ	4
	山形	1	NHK総合・山形	1
		2	NHK教育・山形	2
		4	YBC山形放送	3
		5	YTS山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		8	さくらんぼテレビ	6
	福島	1	NHK総合・福島　※3	1
		2	NHK教育・福島　※3	2
		4	福島中央テレビ	4
		5	KFB福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		8	福島テレビ	3
関東	茨城	1	NHK総合・水戸　※3	1
		2	NHK教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	8
	栃木	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	群馬	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	埼玉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	テレ玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	千葉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	チバテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	東京	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	東京MXテレビ	8
		12	放送大学	9
	神奈川	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	tvk	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表 つづき

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
甲信越	新潟	1	NHK総合・新潟	1
		2	NHK教育・新潟	2
		4	TeNYテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ21	6
		6	BSN	3
		8	NST	4
	山梨	1	NHK総合・甲府 ※3	1
		2	NHK教育・甲府 ※3	2
		4	YBS山梨放送	3
		6	UTY	4
	長野	1	NHK総合・長野	1
		2	NHK教育・長野	2
		4	テレビ信州	3
		5	abn長野朝日放送	4
		6	SBC信越放送	5
		8	NBS長野放送	6
中部	富山	1	KNB北日本放送	3
		2	NHK教育・富山 ※3	2
		3	NHK総合・富山 ※3	1
		6	チューリップテレビ	5
		8	BBT富山テレビ	4
	石川	1	NHK総合・金沢 ※3	1
		2	NHK教育・金沢 ※3	2
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	MRO	5
		8	石川テレビ	6
	福井	1	NHK総合・福井 ※3	1
		2	NHK教育・福井 ※3	2
		7	FBCテレビ	3
		8	福井テレビ	4
	静岡	1	NHK総合・静岡	1
		2	NHK教育・静岡	2
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		8	テレビ静岡	4
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		10	テレビ愛知	7
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		7	三重テレビ	7
	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		8	岐阜テレビ	7
近畿	滋賀	1	NHK総合・大津 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	BBCびわ湖放送	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	京都	1	NHK総合・京都 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	KBS京都	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	大阪	1	NHK総合・大阪	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	兵庫	1	NHK総合・神戸 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	奈良	1	NHK総合・奈良 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	よみうりテレビ	6
	和歌山	1	NHK総合・和歌山 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・鳥取 ※3	2
		3	NHK総合・鳥取 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・松江 ※3	2
		3	NHK総合・松江 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	岡山	1	NHK総合・岡山 ※3	1
		2	NHK教育・岡山 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	広島	1	NHK総合・広島	1
		2	NHK教育・広島	2
		3	RCCテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		8	TSS	6
	山口	1	NHK総合・山口 ※3	1
		2	NHK教育・山口 ※3	2
		3	tysテレビ山口	4
		4	KRY山口放送	3
		5	yab山口朝日	5

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	NHK教育・徳島 ※3	2
		3	NHK総合・徳島 ※3	1
	香川	1	NHK総合・高松 ※3	1
		2	NHK教育・高松 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	愛媛	1	NHK総合・松山	1
		2	NHK教育・松山	2
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		8	テレビ愛媛	6
	高知	1	NHK総合・高知	1
		2	NHK教育・高知	2
		4	高知放送	3
		6	テレビ高知	4
		8	さんさんテレビ	5
九州・沖縄	福岡	1	KBC九州朝日放送	3
		2	NHK教育・福岡 NHK教育・北九州 ※2	2
		3	NHK総合・福岡 NHK総合・北九州 ※2	1
		4	RKB毎日放送	4
		5	FBS福岡放送	5
		7	TVQ九州放送	6
		8	TNCテレビ西日本	7
	佐賀	1	NHK総合・佐賀 ※3	1
		2	NHK教育・佐賀 ※3	2
		3	STSサガテレビ	3
	長崎	1	NHK総合・長崎 ※3	1
		2	NHK教育・長崎 ※3	2
		3	NBC長崎放送	3
		4	NIB長崎国際テレビ	6
		5	NCC長崎文化放送	5
		8	KTNテレビ長崎	4
	熊本	1	NHK総合・熊本 ※3	1
		2	NHK教育・熊本 ※3	2
		3	RKK熊本放送	3
		4	KKTくまもと県民	5
		5	KAB熊本朝日放送	6
		8	TKUテレビ熊本	4
	大分	1	NHK総合・大分 ※3	1
		2	NHK教育・大分 ※3	2
		3	OBS大分放送	3
		4	TOSテレビ大分	4
		5	OAB大分朝日放送	5
	宮崎	1	NHK総合・宮崎 ※3	1
		2	NHK教育・宮崎 ※3	2
		3	UMKテレビ宮崎	4
		6	MRT宮崎放送	3
	鹿児島	1	MBC南日本放送	3
		2	NHK教育・鹿児島 ※3	2
		3	NHK総合・鹿児島 ※3	1
		4	KYT鹿児島読売TV	6
		5	KKB鹿児島放送	5
		8	KTS鹿児島テレビ	4
	沖縄	1	NHK総合・那覇	1
		2	NHK教育・那覇	2
		3	RBCテレビ	3
		5	QAB琉球朝日放送	4
		8	沖縄テレビ(OTV)	5

■ 表中の「リモコンボタン※１」の項目について
- 初期スキャンや再スキャンをしたときに、その放送局がリモコンのどの地上ダイレクト選局ボタンに設定されるかを表します。

■ 表中の「※2」が記載されている放送局の放送について
- 初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高いほうの放送を地上ダイレクト選局ボタンに設定します。
  (これは、放送の運用規定によるものです)

■ 表中の「※3」が記載されている放送局(NHK)の放送について
- 初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた域外(お住まいの地域以外)のNHK放送を地上ダイレクト選局ボタンに設定します。(設定される放送は、地域によって決められています)
  その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。(これは、放送の運用規定によるものです)

用語について

● ☞は該当の用語を使用している代表的なページです。
● 用語によっては、他の分野で別の意味で使用している場合があります。

■ABC順

DNSサーバー（66☞）
ドメイン名（×××.co.jpなど）をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します。
（例：111.112.xxx.xxx）
※ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

IPアドレス（65☞）
インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。（例：111.112.xxx.xxx）

MACアドレス（66☞）
イーサネット回線上につながっている機器の識別のために、各機器ごとに割り当てられる固有の番号です。本機の値を確認する必要がある場合は、表示することができます。

SSL(Secure Socket Layer)
（操作編10☞）
米国Netscape社が考案した暗号通信方式。伝送するデータを暗号化することで、第三者によるデータの盗聴を困難にします。

■アイウエオ順

ア行

アイコン（操作編64☞）
各種情報の機能などを、簡単な図・マークなどで表示したものです。

カ行

ご案内チャンネル（操作編55☞）
放送についての説明や、契約のしかたなどを説明しているチャンネルのことです。未契約の有料放送チャンネルを選局した場合には、このご案内チャンネルを簡単な操作で見ることができます。

サ行

サブネットマスク（65☞）
ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。
（例：255.255.xxx.xxx）

ジャンル（操作編14☞）
洋画、邦画、音楽などのような、番組の分野のことです。

タ行

ダウンロード（操作編47☞）
放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末に転送することです。

デフォルトゲートウェイ（65☞）
ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。（例：111.112.xxx.xxx）

ナ行

（放送の）ネットワーク（操作編16☞「番組情報の取得」）
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

ハ行

プロキシ（66☞）
ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。
（例：proxy.xxx.xxx.xxx）
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

ラ行

ルート証明書（62☞）
サーバーを認証する第三者機関（認証局）を証明するものです。この証明書をもとにして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

東芝デジタルテレビC3500で使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝デジタルテレビ26/32/37/42C3500（C3500と略して記載します）に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝デジタルテレビC3500は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。ホームページアドレス　http://www.toshiba.co.jp/product/tv/LZ1/eula/
また、**東芝デジタルテレビC3500**のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた**東芝デジタルテレビC3500**は、製品として、弊社所定の保証をいたします。
ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝デジタルテレビC3500に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

東芝デジタルテレビC3500で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　**原文(英文)**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
malloc	Exhibit C
PPxP	Exhibit D

ExhibitA

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ExhibitB

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b)You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d)If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a)Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b)Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d)If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e)Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a)Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b)Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

ExhibitC

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints,

performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

ExhibitD

●利用と配布
Copyright (c) 1997, 1998, 1999 The PPxP Development Team. All rights reserved.

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します:

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。
バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。
このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい:
この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責
PPxP開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによりよって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。

テレビのネットワーク接続（LAN端子を使った接続）についてのご相談は

東芝テレビ　ネットワークご相談センター

フリーダイヤル 0120−97（クナン）−9674（クローナシ）
※携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

携帯電話からのご利用は
ナビダイヤル（通話料有料） 0570−05−5100
※PHSなど一部の機種ではご利用になれません。

FAX 03−3258−0470

●受付時間（月曜日〜土曜日）10：00〜20：00　日曜・祝祭日および年末年始など当社休業日を除きます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

※電話受付：365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
※フリーダイヤル以外への通話やFAXには電話料金がかかります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。

http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

- 「操作編」49ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	26C3500、32C3500、37C3500、42C3500
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
便利メモ お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時のお願い

- **一般の廃棄物といっしょにしないでください。** ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際 このような症状はありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

- 有機物質を含んだ廃液が少ない、水なし印刷方式で作成しました。

- この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
- この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

TD/T1 VX1A000665B0